

GR

RICOH

GR II

使用説明書

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

準備編

お使いになる前に必ずお読みください。

カメラの各部の名称や準備について説明しています。

基本編

はじめてお使いになるときは必ずお読みください。

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも基本的な操作ができるようになります。

応用編

目的に応じて必要なときにお読みください。

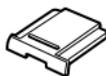
いろいろな撮影や再生機能のほか、カメラのカスタマイズ、パソコンを利用する方法など、すべての機能が記載されています。

同梱品を確認する

パッケージを開いたら同梱品を確認してください。



GR II



ホットシュー
カバー
(カメラ装着)



リチャージャ
ブルバッテリー
(DB-65)



USB 電源
アダプター
(AC-U1)



電源プラグ

- USB ケーブル
- ハンドストラップ
- CD-ROM
- 使用説明書 (本書)

お客様登録のお願い

このたびは、リコーイメージング製品をお買い求めいただきありがとうございます。

ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願いいたします。

<http://www.ricoh-imaging.com/registration/>

なお、ご登録いただいた方には、Eメール(ファームウェアなどのサポート情報)の配信を行っております。

はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。

本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときにすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。

リコーイメージング株式会社

| | |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全上のご注意について | 安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。 |
| テスト撮影について | 必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。 |
| 著作権について | 著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準する限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変などすることは禁じられています。 |
| ご使用に際して | 万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。 |
| 保証書について | 本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。 |
| 電波障害について | 他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようになさってください。 <ul style="list-style-type: none">・テレビやラジオなどからできるだけ離す・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える・コンセントを別にする 〈電波障害自主規制について〉 この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 |

VCCI-B

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© RICOH IMAGING COMPANY, LTD. 2015

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧ください。

無線 LAN 機能について

- ・電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなる場合があります。
- ・テレビ、ラジオなどの近くに使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- ・データはおお客様の責任において管理してください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを画面に表示することができます。



認証マークの表示方法

[セットアップ] メニューの [認証マーク] で、電波法ならびに電気通信事業法に基づく基準適合マークを表示できます。メニューの操作については、「メニューで設定する」(p.133) を参照してください。

商標について

- ・Microsoft、Windows、Windows 7[®]、Windows 8[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・Macintosh、Mac OS、OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
 - ・iOS の商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
 - ・Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・この製品は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の許可のもと、DNG 技術を取り入れています。
 - DNG ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
 - ・SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
 - ・HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI ライセンシングの商標または登録商標です。
 - ・SILKYPIX は、株式会社山川ソフトウェアラボラトリーの登録商標です。
 - ・Google、Google Play、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
 - ・Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
 - ・N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
 - ・Facebook は、Facebook, Inc. の登録商標です。
 - ・Twitter は、Twitter, Inc. の登録商標です。
 - ・Tumblr は、Tumblr, Inc. の登録商標です。
- 会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

AVC Patent Portfolio License について

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合
に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものを AVC ビデオといえます）
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することにつ
いてライセンスを受けている供給者から入手した AVC ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLC から取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

BSD ライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部に BSD ライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSD ライセン
スとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が
許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示される
ものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (c) T.Teranishi.

Copyright (c) TeraTerm Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted
provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and
the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions
and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this
software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR
ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF
USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF
LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE
POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------|
|  | 危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。 |
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

表示の例



① 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



② 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

③ の中に具体的な禁止内容が描かれています。

● 表示例

④ 意味：接触禁止 ⑤ 意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

危険



● カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。



● 電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。



● 電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。



● 電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。



● 外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。



● 電池の(+)と(-)を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないでください。



● 電池は、弊社専用充電器で充電してください。また、弊社の DB-65 対応デジタルカメラ以外にはご使用にならないでください。



● 異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください。修理は、お買い上げ店または修理受付センターにご依頼ください。



● 電池が漏液して液が目に入ったときには、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

警告



● 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。



● 万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。



● 画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- ・ 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- ・ 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。



● 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

- ・ この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- ・ 金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- ・ 電子レンジや高压容器に入れないでください。
- ・ 使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、直ちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。 ・ 表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。 ・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。 ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ・ 布などに包んで使用しないでください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● この製品で使用している電池やメモリーカードを誤って飲み込むことがないように、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。直ちに医師と相談してください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店または修理受付センターに連絡してください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。 ● 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。 ● 家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用の AC アダプターをご利用ください。指定以外の AC アダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器や AC アダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードをいため、火災や感電の原因になります。 |



●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理受付センターに連絡してください。火災や感電の原因になります。
●使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店または修理受付センターまで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。



●自分で分解しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。



●風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



●電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。



●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。



●電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。



●電池が漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。

注意



●電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください）
また、液漏れが起こったときは、液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。



●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 布などに包んで使用しないでください。火災の原因になります。
- 端子部や電源コードの金属部をショートさせないでください。火災の原因になります。
- 台所などの油煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

別売り品について

別売り品をお使いになるときには、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。

もくじ

| | |
|------------|---|
| はじめに | 1 |
| もくじ | 9 |

準備編 13

| | |
|--------------------|----|
| 各部の名称 | 14 |
| ダイヤル／レバーの使い方 | 16 |
| 画像モニターの表示 | 18 |
| 準備する | 23 |

基本編 31

| | |
|--------------------|----|
| 撮影する | 32 |
| オート設定で撮影する | 32 |
| セルフタイマーで撮影する | 34 |
| カメラの傾きを確認する | 36 |
| 再生する | 38 |
| メニューの操作方法 | 39 |

応用編 41

1 いろいろな撮影 42

| | |
|---------------------------------------------|----|
| 露出を設定して撮影する | 42 |
| 露出を補正する | 48 |
| ISO 感度を設定する | 49 |
| ダイナミックレンジを補正する | 51 |
| 測光方法を選択する | 52 |
| ND フィルターを利用する | 53 |
| 静止画のフォーマットを設定する | 54 |
| フォーカスを設定する | 56 |
| フォーカス方法を選択する | 56 |
| 接写する（マクロ撮影） | 59 |
| AF ボタンを利用する | 60 |
| フォーカスアシスト／AE・AF ターゲットを設定する | 63 |
| シャッターボタンをいっきに押し込んで撮影する （フルプレススナップ） | 66 |

| | |
|-------------------------------|----|
| ホワイトバランスを設定する | 67 |
| 色温度で設定する | 70 |
| ホワイトバランスを手動設定する | 70 |
| 連続して撮影する..... | 71 |
| 連写で撮影する | 72 |
| 設定を変化させて連続撮影する（オートブラケット）..... | 73 |
| 画像を合成しながら撮影する（多重露光撮影）..... | 74 |
| 一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）..... | 76 |
| 星の光跡などを記録する（インターバル合成）..... | 77 |
| フラッシュを使用する | 79 |
| フラッシュモードを設定する | 79 |
| フラッシュの光量を調整する..... | 81 |
| マニュアル発光の発光量を設定する | 82 |
| フラッシュ発光のタイミングを設定する | 82 |
| 写真の雰囲気を変えて撮影する | 83 |
| エフェクト | 83 |
| 画像設定..... | 88 |
| 周辺光量を変更する | 89 |
| その他の撮影機能..... | 90 |
| 静止画に日付を入れる | 90 |
| 動画を撮影する..... | 91 |
| 動画のフォーマットを設定する..... | 91 |
| 動画を撮影する | 92 |
| 動画を再生する..... | 93 |
| 動画を切り出す | 94 |

2 いろいろな再生 95

| | |
|--------------------------|-----|
| 一覧表示する | 95 |
| スライドショーで表示する | 95 |
| 拡大表示する | 96 |
| ファイルを整理する..... | 97 |
| 削除する..... | 97 |
| プロテクトを設定する | 99 |
| 内蔵メモリーの画像をカードへコピーする..... | 101 |

| | |
|--------------------------------------|------------|
| 補正・加工する..... | 102 |
| 画像サイズを縮小する | 102 |
| トリミングする | 102 |
| 斜めから撮影した画像を補正する | 103 |
| 明度・コントラストを補正する（レベル補正）..... | 104 |
| ホワイトバランスを補正する..... | 106 |
| 色モアレを補正する | 107 |
| RAW 画像を現像する | 108 |
| AV 機器で再生する | 110 |
| DPOF を設定する | 112 |
| 複数の静止画に DPOF を設定する | 113 |
| 3 カメラの設定を変更する | 114 |
| カメラをカスタマイズする | 114 |
| 撮影設定を登録する（マイセッティング）..... | 114 |
| マイセッティングモードで撮影する | 117 |
| マイセッティングを編集する | 118 |
| ADJ. レバーに機能を登録する | 120 |
| Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに機能を登録する | 122 |
| その他の設定を変更する | 124 |
| 画像モニターの明るさを調節する | 124 |
| 撮影モードの表示内容を設定する | 125 |
| 操作音を設定する | 126 |
| ファイル名 / フォルダ名を設定する | 126 |
| 著作権情報を設定する | 129 |
| ファームウェアのバージョンを確認する | 129 |
| 4 画像を活用する | 130 |
| 画像をパソコンで利用する | 130 |
| 画像をパソコンに保存する | 131 |
| 通信端末で操作する..... | 132 |
| Wi-Fi を有効にする | 132 |
| 通信端末で操作する | 136 |
| 設定を変更する | 143 |

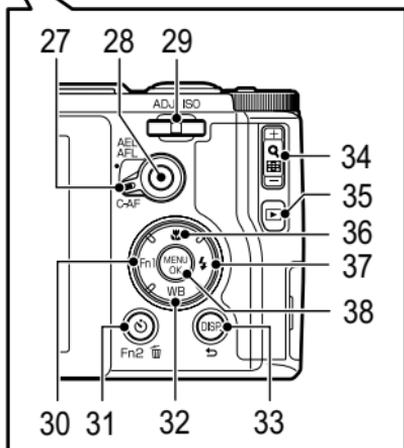
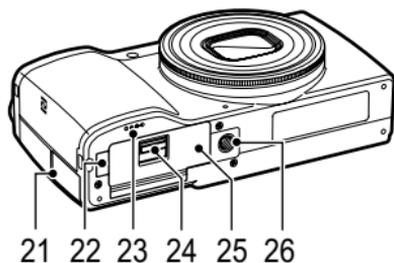
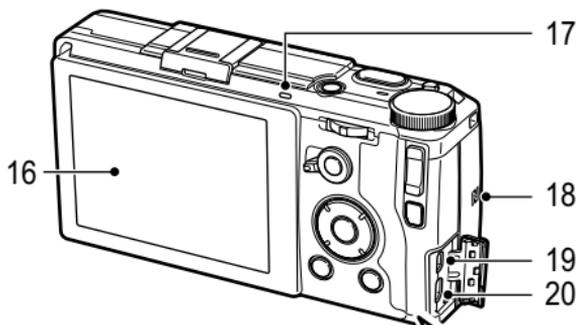
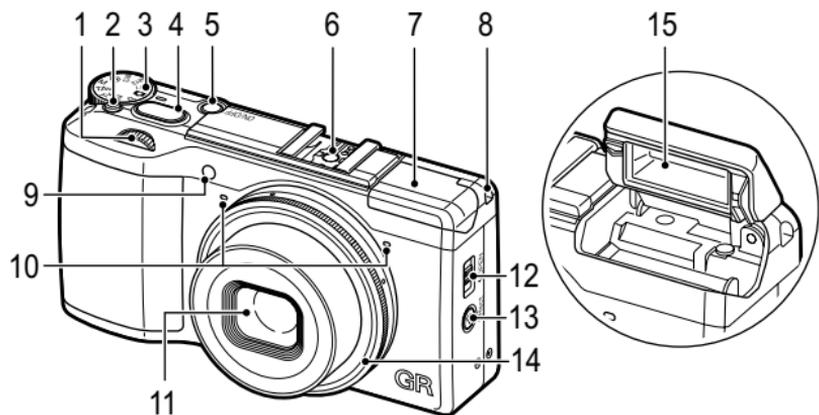
| | | |
|----------|----------------------------|------------|
| 5 | メニュー一覧 | 145 |
| | [撮影設定] メニュー | 145 |
| | [再生設定] メニュー | 149 |
| | [キーカスタム設定] メニュー | 150 |
| | [セットアップ] メニュー | 152 |
| 6 | 付録 | 155 |
| | お困りのときは..... | 155 |
| | エラーメッセージ | 155 |
| | カメラ本体のトラブル | 156 |
| | 主な仕様..... | 161 |
| | 記録可能枚数/時間 | 164 |
| | 別売り品の取り付け..... | 166 |
| | コンバージョンレンズ/フード&アダプター | 166 |
| | AC アダプター..... | 167 |
| | 外部フラッシュ | 168 |
| | 海外でお使いのときは | 171 |
| | 使用上のご注意..... | 172 |
| | お手入れと使用/保管場所について | 175 |
| | アフターサービスについて | 176 |
| | 索引 | 177 |
| | ギャラリー・ショールーム | 181 |
| | フォトスクール・写真クラブ | 182 |
| | 保証規定 | 183 |

準備編

カメラの各部名称や準備 を説明します

| | |
|--------------------|----|
| 各部の名称 | 14 |
| ダイヤル／レバーの使い方 | 16 |
| 画像モニターの表示 | 18 |
| 準備する | 23 |

各部の名称



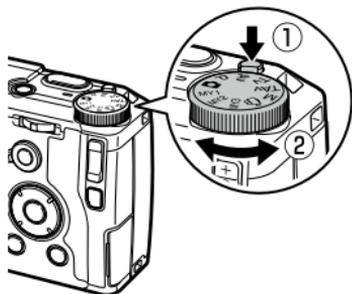
- | | | | | | |
|----|---------------------------------|------------|----|------------------------------------------|-----------|
| 1 | アップダウンダイヤル..... | 17 | 22 | 電源 (DC 入力) ケーブル カバー..... | 167 |
| 2 | ロックボタン..... | 16 | 23 | スピーカー | |
| 3 | モードダイヤル..... | 16 | 24 | 解除レバー..... | 23 |
| 4 | シャッターボタン..... | 32 | 25 | バッテリー/カードカバー | 23 |
| 5 | POWER (電源) ボタン..... | 27 | 26 | 三脚ネジ穴 | |
| 6 | ホットシュー..... | 168 | 27 | AF ファンクション切り替えレ バー..... | 60 |
| 7 | フラッシュカバー..... | 32 | 28 | AF ボタン..... | 60 |
| 8 | ストラップ取り付け部 | | 29 | ADJ. レバー..... | 17、120 |
| 9 | AF 補助光..... | 34、153 | 30 | Fn1/◀ ボタン..... | 122 |
| 10 | マイク | | 31 | ☺ (セルフタイマー) / Fn2/☒ (削除) ボタン | 34、97、122 |
| 11 | レンズ | | 32 | WB (ホワイトバランス) / ▼ ボタン..... | 67 |
| 12 | ⚡OPEN (フラッシュ オープン) スイッチ..... | 32 | 33 | DISP./↶ ボタン | 21、36、125 |
| 13 | 📶 (Wi-Fi) /Effect ボタン | 47、122、134 | 34 | +/- (Q/☒) ボタン | 95、96 |
| 14 | リングキャップ..... | 166 | 35 | ▶ (再生) ボタン..... | 38 |
| 15 | フラッシュ発光部..... | 32 | 36 | 📷 (マクロ) /▲ ボタン | 59 |
| 16 | 画像モニター..... | 18 | 37 | ⚡ (フラッシュ) /▶ ボタン | 80 |
| 17 | オートフォーカス/フラッ シュランプ..... | 33 | 38 | MENU/OK ボタン..... | 39 |
| 18 | NFC マーク..... | 134 | | | |
| 19 | USB・AV OUT 兼用端子 | 25、110、131 | | | |
| 20 | HDMI マイクロ出力端子 (Type D)..... | 110 | | | |
| 21 | 端子カバー..... | 25、110、131 | | | |

ダイヤル／レバーの使い方

モードダイヤル

撮影モードはモードダイヤルで切り替えます。

モードダイヤルはロックボタン (①) を押しながらかいします (②)。



Av：絞り優先モード (p.42)

絞り値を手動で設定し、シャッタースピードが自動的に設定されます。

P：プログラムシフトモード (p.42)

絞り値とシャッタースピードの組み合わせを選択できます。

☑：オート撮影モード (p.32)

被写体によって、最適な絞り値とシャッタースピードが自動的に設定されます。

MY1／MY2／MY3：マイセッティングモード (p.117)

「マイセッティング登録」で登録した設定で撮影できます。

Tv：シャッター優先モード (p.42)

シャッタースピードを手動で設定し、絞り値が自動的に設定されません。

TAv：シャッター & 絞り優先モード (p.42)

シャッタースピードと絞り値を手動で設定し、ISO感度は自動的に設定されます。

M：マニュアル露光モード (p.42)

絞り値とシャッタースピードを手動で設定できます。

📹：動画モード (p.91)

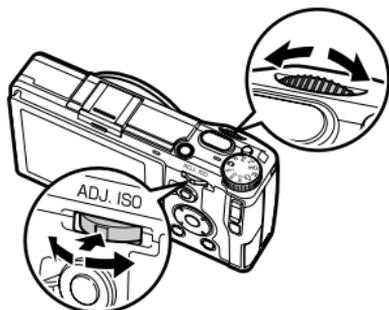
動画撮影ができます。



アップダウンダイヤル / ADJ. レバー

アップダウンダイヤル / ADJ. レバーは、▲▼◀▶ ボタンの代わりに使用したり、露出を設定するときに使用します。(p.43)

アップダウンダイヤル



ADJ. レバー

| | 操作 | 機能 |
|------------|-------|------------------------------------------|
| アップダウンダイヤル | 左右に回す | ▲▼ ボタンの代用 絞り値 / シャッタースピードの変更 |
| ADJ. レバー | 左右に倒す | ◀▶ ボタンの代用 絞り値 / シャッタースピード / ISO 感度の変更 |
| | 中央を押す | 登録した機能の呼び出し (p.121) |

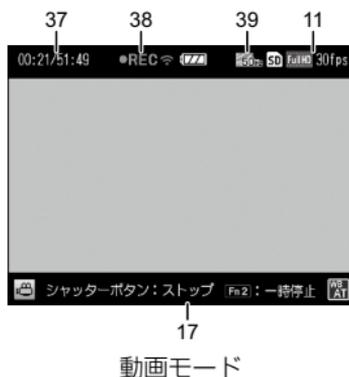
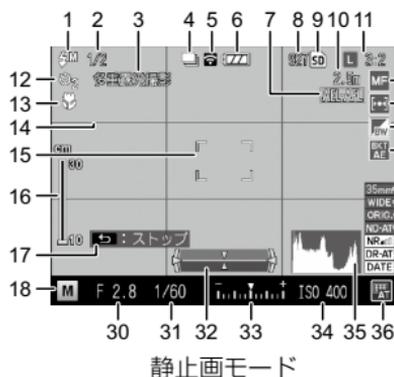


メモ

- ・アップダウンダイヤルと ADJ. レバーの機能を入れ替えることができます。(p.44)

画像モニターの表示

撮影画面



| | | | | | |
|----|-----------------------------------|----------|----|--------------------|-------|
| 1 | フラッシュモード | 79 | 16 | フォーカスバー／被写界深度 | |
| 2 | フラッシュ調光補正／ フラッシュマニュアル発光量 | 81、82 | | | 58 |
| 3 | 多重露光撮影／インターバル 撮影／インターバル合成 | 74、76、77 | 17 | 操作ガイド | |
| 4 | 連写 | 72 | 18 | 撮影モード | 42 |
| 5 | Wi-Fi 通信 | 20 | 19 | フォーカスモード | 56 |
| 6 | 電池マーク | 20 | 20 | 測光モード | 52 |
| 7 | AEL/AFL | 60 | 21 | 画像設定／エフェクト | 83 |
| 8 | 残り記録枚数 | 164 | 22 | オートブラケット | 73 |
| 9 | 記録先 | 24 | 23 | クロップ | 55 |
| 10 | スナップ時フォーカス距離 | 58 | 24 | コンバージョンレンズ | 166 |
| 11 | フォーマット・サイズ／ アスペクト比／フレーム レート | 54、91 | 25 | 周辺光量 [オリジナル] | 89 |
| 12 | セルフタイマー | 34 | 26 | ND フィルター | 53 |
| 13 | マクロ撮影 | 59 | 27 | ノイズリダクション | 50 |
| 14 | グリッドガイド | 21 | 28 | ダイナミックレンジ補正 | 51 |
| 15 | フォーカスフレーム | 33 | 29 | 日付入れ撮影 | 90 |
| | | | 30 | 絞り値 | 43 |
| | | | 31 | シャッタースピード | 43 |
| | | | 32 | 水準器 | 21、36 |
| | | | 33 | 露出インジケーター／ 露出補正 | 43、48 |
| | | | 34 | ISO 感度 | 49 |
| | | | 35 | ヒストグラム | 21 |

| | | |
|----|------------------|-----|
| 36 | ホワイトバランスモード..... | 67 |
| 37 | 記録時間／残り記録時間... | 164 |

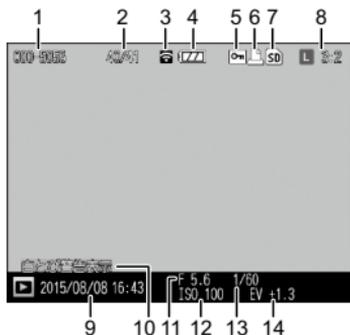
| | | |
|----|----------------|----|
| 38 | 動画記録中..... | 92 |
| 39 | 蛍光灯ちらつき低減..... | 92 |



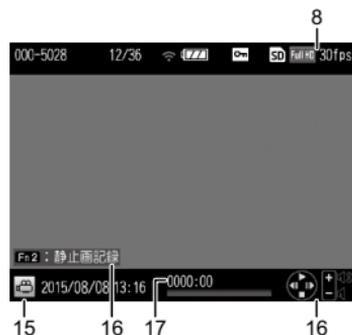
メモ

- ・残り記録枚数の最大表示は「9999」です。

再生画面



静止画モード



動画モード

| | | |
|---|----------------------------------------|-------|
| 1 | フォルダ - ファイル番号 | 126 |
| 2 | 再生ファイル数／ 総ファイル数 | |
| 3 | Wi-Fi 通信..... | 20 |
| 4 | 電池マーク..... | 20 |
| 5 | プロテクト..... | 99 |
| 6 | DPOF..... | 112 |
| 7 | 再生元..... | 24 |
| 8 | フォーマット・サイズ／ アスペクト比／フレーム レート..... | 54、91 |

| | | |
|----|----------------|----|
| 9 | 撮影日時 | |
| 10 | 白とび警告表示..... | 22 |
| 11 | 絞り値..... | 43 |
| 12 | ISO 感度..... | 49 |
| 13 | シャッタースピード..... | 43 |
| 14 | 露出補正..... | 48 |
| 15 | ファイルの種類 | |
| 16 | 操作ガイド | |
| 17 | 記録時間：経過時間..... | 93 |

電池残量

| 電池マーク | 残量 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
|  | 残量は十分あります。 |
|  | 残量が減り始めました。充電することをお勧めします。 |
|  | 残量がわずかになりました。充電してください。 |

Wi-Fi 通信

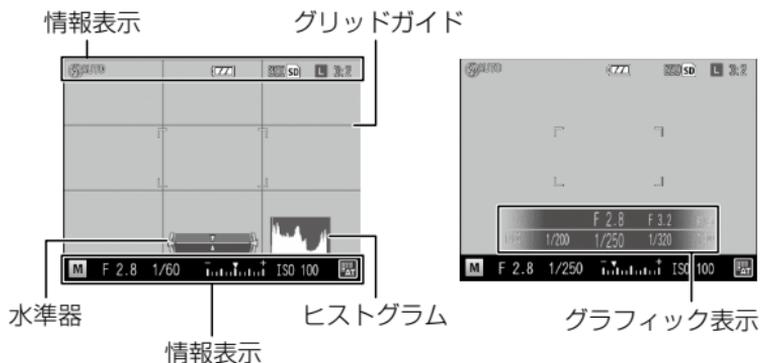
Wi-Fi 通信 (p.132) を行っているときは、撮影画面と再生画面に通信状態が表示されます。

| マーク | 状態 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----|
|  | 未接続 |
|  | 接続中 |

画面表示を切り替える

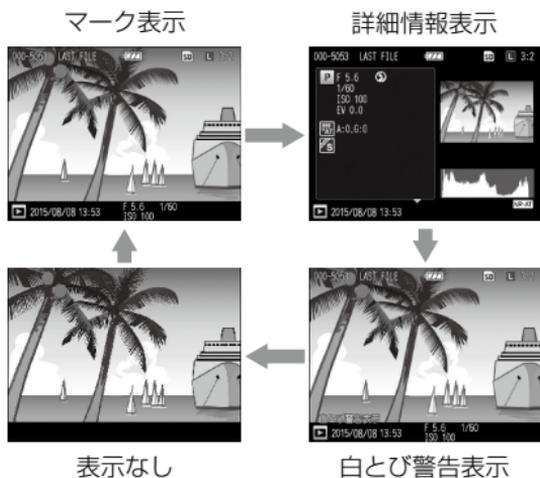
撮影モード

撮影モードでは以下の表示ができます。



メモ

- [セットアップ] メニューの [DISP. 表示設定] で、DISP. ボタンを押す回数ごとに表示する内容を指定できます。(p.125)
- [セットアップ] メニューの [情報表示モード] を [ON] に設定すると、画像モニターオフ時でも、以下の場合には画像モニターに情報が表示されます。情報表示後に数秒間操作をしなかったとき、またはシャッターボタンを半押ししたときは情報表示が消えます。
 - Fn1 ボタン / ボタン / ボタン / Effect ボタンを押したとき
 - モードダイヤル / アップダウンダイヤルを回したとき
 - ADJ. レバーを倒したとき
 - OPEN スイッチを押してフラッシュをポップアップしたとき、フラッシュカバーを閉じたとき



メモ

- ・「詳細情報表示」は、▲▼ボタンでページを切り替えます。
- ・「白とび警告表示」は、[セットアップ]メニューの[白とび警告表示]を[ON]に設定した場合にハイライト部分を黒く点滅表示します。[OFF]（初期設定）のときは「白とび警告表示」は表示されません。



注意

- ・動画は、詳細情報表示／白とび警告表示は表示されません。
- ・HDMIケーブルで接続しているときは、「白とび警告表示」は表示されません。

準備する

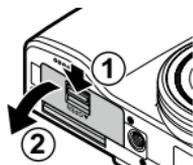
撮影できるように準備します。

バッテリー／メモリーカードをセットする

バッテリーとメモリーカードのセット／取り出し時は、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

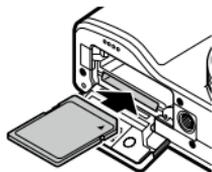
本カメラは、市販のSDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカードが使用できます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

- 1 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける



- 2 メモリーカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥へ挿入する

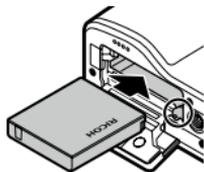
取り出すときは、メモリーカードを押し込んで手を放します。



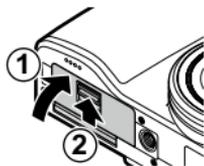
- 3 バッテリーを挿入する

バッテリー側面でロックツメを押しながら奥まで入れます。

取り出すときは、ロックツメを押しingずらします。



- 4 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする



データの記録先

撮影したデータは、カメラ本体の内蔵メモリーかメモリーカードに記録されます。メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーに記録されます。



注意

- ・メモリーカードがセットされているときは、メモリーカードの容量がいっぱいになっても内蔵メモリーには記録されません。
- ・メモリーカードに記録されているデータが 10000 ファイルを超えたときは、フォルダ番号/ファイル番号が小さいファイルは再生できません。



メモ

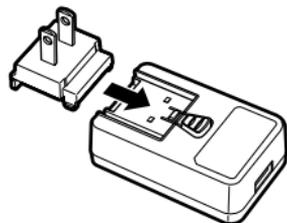
- ・内蔵メモリーのデータはメモリーカードにコピーすることができません。(p.101)
- ・記録可能枚数/時間は、メモリーカードの容量によって異なります。(p.164)
- ・新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、本カメラで初期化してからお使いください。初期化は [セットアップ] メニューの [初期化 [カード]] で行ってください。

バッテリーを充電する

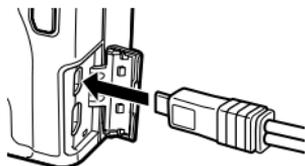
付属のリチャージャブルバッテリー（DB-65）は、使用する前に充電する必要があります。充電は付属の USB ケーブルと USB 電源アダプター（AC-U1）、電源プラグを使用します。

1 電源プラグを USB 電源アダプターに取り付ける

「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



2 端子カバーを開け、USB・AV OUT 兼用端子に USB ケーブルを接続する



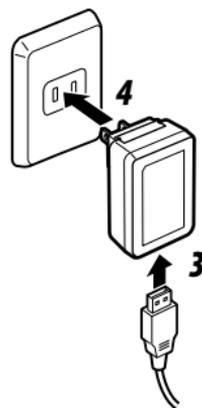
3 USB 電源アダプターに USB ケーブルを接続する

4 コンセントに USB 電源アダプターを差し込む

オートフォーカス／フラッシュランプが点灯し、充電が始まります。

充電時間はバッテリーの残量によって異なります。バッテリーが空のときは、約 3 時間で充電が完了します。（25℃の場合）

オートフォーカス／フラッシュランプが消灯したら充電は終了です。USB 電源アダプターをコンセントから抜いてください。



**記録可能枚数**-----

- ・バッテリーフル充電時の記録可能枚数の目安は、約 320 枚です。
- ・記録可能枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです。(温度 23℃、画像モニターオン、30 秒ごとに撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、10 枚撮影するごとに電源をオフ/オンを繰り返す)
- ・記録可能枚数は目安です。長時間ご使用になる場合は、予備のバッテリーを用意することをお勧めします。

**注意**-----

- ・リチャージャブルバッテリーは、純正品 (DB-65) をご使用ください。
- ・充電中にオートフォーカス/フラッシュランプが点滅しているときは、USB 電源アダプターまたはバッテリーに異常があります。USB 電源アダプターをコンセントから抜いて、バッテリーを取り出してください。
- ・使用直後のバッテリーは高温になることがあります。バッテリーの取り出しは、カメラの電源をオフにして温度が下がってから行ってください。

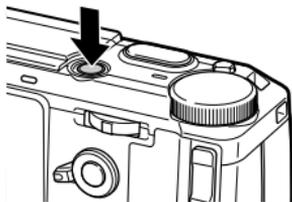
**メモ**-----

- ・USB ケーブルでカメラとパソコンを接続したときも、バッテリーを充電できます。バッテリーが空の場合、約 5 時間で充電が完了します。(p.131)
- ・DB-65 は、別売りのバッテリーチャージャー (BJ-6) で充電ができます。(充電時間：約 2.5 時間)

電源をオン／オフする

POWER ボタンを押します。

オンにすると POWER ボタンが点灯し、オートフォーカス／フラッシュランプが数秒間点滅します。

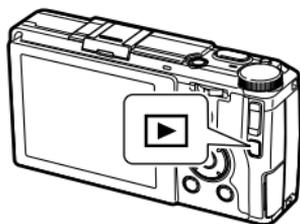


再度 POWER ボタンを押すと、電源がオフになります。

再生モードで電源をオンにする

電源がオフの状態ですべてのボタンを長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

再生モードで起動したときは、以下の操作ができます。



| | |
|-----------------|------------|
| ▶ ボタン | 電源オフ |
| シャッターボタン 半押し | 撮影モードに切り替え |

Wi-Fi 機能を有効にして電源をオンにする

電源がオフの状態ですべてのボタンを押し続けると、電子音が鳴るまで ▶ ボタンを押し続けると、Wi-Fi 機能が有効な状態で電源がオンになります。(p.135)



注意

- 上記の操作を行ったときは、シャッターボタンを押しても撮影モードには切り替わりません。撮影等を行うときは、▶ ボタンを押して電源を切ってから POWER ボタンで電源を入れ直してください。



メモ

- ・バッテリーの消費を抑えるため、[セットアップ] メニューで以下の機能が設定できます。

| | 動作 | 設定が無効になるとき |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オートパワーオフ | 一定時間カメラを操作しないと、電源をオフにします。[OFF] または最長 30 分まで 1 分単位で設定できます。復帰するときは、電源を入れ直します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・動画撮影中 ・多重露光撮影 / インターバル撮影 / インターバル合成の撮影時 ・動画 / スライドショーの再生中 ・処理中 ・Wi-Fi 通信接続中 ・パソコン接続時 |
| スリープ | 一定時間カメラを操作しないと、画像モニターの輝度を落とします。[OFF] または最長 30 分まで 1 分単位で設定できます。カメラを操作すると、復帰します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多重露光撮影 / インターバル撮影 / インターバル合成の撮影時 ・再生中 ・AV ケーブル / HDMI ケーブル接続時 ・Wi-Fi 有効時 |
| 画像モニター節電 | カメラを約 5 秒間動かさなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。[ON] [OFF] から選択できます。 | |

- ・POWER ボタンのランプは、[セットアップ] メニューの [電源ボタンランプ] で [ON] [OFF] が切り替えられます。

日時を合わせる

はじめて電源をオンにしたときは、[日時設定] 画面が表示されます。

1 年/月/日/時/分/表示形式を設定する

◀▶ で項目を移動し、▲▼ で数値を変更します。

⏪ ボタンを押すと、設定をキャンセルします。



2 MENU/OK ボタンを押す

確認画面が表示されます。

3 MENU/OK ボタンを押す

日時が設定されます。



メモ

- ・ バッテリーを取り出してから約5日間経過すると、設定した日時がリセットされます。日時を保持させるためには、十分に残量のあるバッテリーを2時間以上セットしてからバッテリーを取り出してください。
- ・ 設定した日時は、[セットアップ] メニューの [日時設定] で変更できます。
- ・ メニューやメッセージなどの表示言語は、[セットアップ] メニューの [Language/ 言語] で変更できます。

基本編

はじめてお使いのときは
必ずお読みください

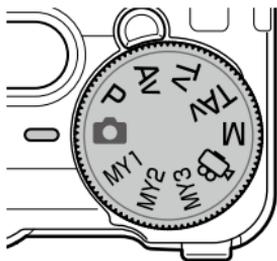
| | |
|----------------|----|
| 撮影する | 32 |
| 再生する | 38 |
| メニューの操作方法..... | 39 |

撮影する

準備ができたら、さっそく撮影してみましょう。

オート設定で撮影する

- 1** モードダイヤルを  に合わせる
ロックボタンを押しながらモードダイヤルを回します。

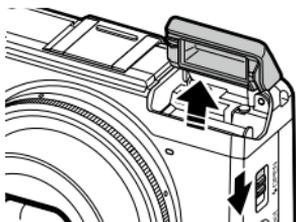


- 2** フラッシュを使用するときは、 OPEN スイッチを下にスライドする

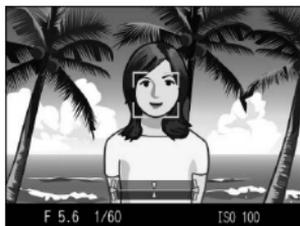
フラッシュがポップアップします。

フラッシュ充電中は、オートフォーカス／フラッシュランプが点滅します。充電が完了すると消灯し、撮影が可能になります。

フラッシュカバーを閉じているときは、フラッシュは発光しません。



- 3** シャッターボタンを半押しする
ピント合わせが行われ、露出が固定されます。
最大9点で測距し、ピントが合っている位置を緑の枠で表示します。

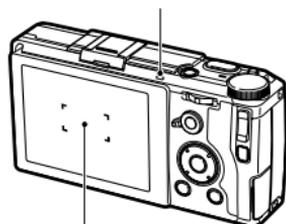


- 4** シャッターボタンを全押しする
撮影した画像が画像モニターに表示され、記録されます。



ピント合わせについて-----

- ピント合わせの状態は、画像モニター中央の枠の色とオートフォーカス／フラッシュランプで確認できます。



フォーカスフレーム

| ピント合わせの状態 | 枠の色 | オートフォーカス／フラッシュランプ |
|--------------|-----------------|-------------------|
| ピント合わせ前 | 白 ^{*1} | 消灯 |
| ピントが合ったとき | 緑 | 緑点灯 |
| ピントが合わなかったとき | 赤点滅 | 緑点滅 |

*1 モードまたはエフェクト [人物] で顔検出時は青枠

- 以下のような被写体は、ピントを合わせられないことや、枠の色が緑になっていてもピントが合っていないことがあります。
 - コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
 - 横線だけで、凹凸のないもの
 - 動きの速いもの
 - 暗いところのもの
 - 強い逆光や反射光があるもの
 - 蛍光灯などのちらつきのあるもの
 - 光源が点状のもの（電球、スポットライト、点光源 LED など）
- このような被写体を撮影するときは、撮影したい被写体と同じ距離にある別の被写体にピントを固定してから撮影してください。



メモ

- ・ モードは、以下の設定で撮影されます。
 - ・ ISO 感度 [AUTO-HI]
 - ・ ノイズリダクション [AUTO]
 - ・ 測光 [マルチ]
 - ・ フォーカス [顔検出優先 AF]
 - ・ オートマクロ
 - ・ ホワイトバランス [マルチパターン AUTO]
 - ・ フラッシュ [AUTO]

上記の機能は、設定を変更できません。

- ・ 撮影直後に画像を表示する時間は、[セットアップ] メニューの [画像確認時間] で [OFF] [0.5 秒] [1 秒] [2 秒] [3 秒] [HOLD] から選択できます。[HOLD] に設定すると、次にシャッターボタンを半押しするかモードダイヤルを回すまで画像が表示されます。
- ・ 撮影後にリリースを解除せずにシャッターボタン半押しを継続したときは、フォーカス/絞り/シャッタースピード/ISO/ホワイトバランスの設定が維持されます。ただし次の場合は、撮影条件は維持できません。
 - ・ セルフタイマー
 - ・ インターバル撮影
 - ・ インターバル合成
 - ・ モード

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーは、[2 秒] [カスタムセルフ] が選択できます。手ブレを防ぎたいときには [2 秒] に設定すると便利です。[カスタムセルフ] では、撮影枚数と撮影間隔を設定して撮影できます。

1

ボタンを押す

セルフタイマーを選択する画面が表示されます。

2

ボタンを押して [セルフ 2 秒] [カスタムセルフ] を選択する

3 撮影する

セルフタイマーがスタートすると、AF 補助光が発光します。



メモ

- ・撮影後もセルフタイマーは解除されません。セルフタイマーを解除するときは、手順2で [セルフオフ] に切り替えます。
- ・[セルフ2秒] では、AF 補助光は発光しません。
- ・[カスタムセルフ] を選択したときは、[撮影設定] メニューの [カスタムセルフ] で以下の項目を設定します。

| | |
|------|-----------------|
| 撮影枚数 | 1～10枚 [初期設定：2枚] |
| 撮影間隔 | 5～10秒 [初期設定：5秒] |

撮影枚数が2枚以上のときは、フォーカスは1枚目の位置で固定されます。



注意

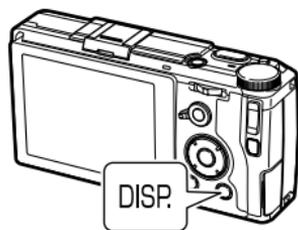
- ・☺ ボタンは Fn2 ボタンとしても使用します。[キーカスタム設定] メニューの [Fn2 ボタン設定] でセルフタイマー以外の機能を登録しているときは、セルフタイマーは使用できません。(p.122)
- ・[連写] のときは、セルフタイマーは使用できません。
- ・以下のときは、[カスタムセルフ] は選択できません。
 - ・フォーカス [被写体追尾 AF]
 - ・インターバル撮影
 - ・インターバル合成

カメラの傾きを確認する

本カメラは水準器を内蔵しており、カメラの傾きを画像モニターで確認できます。水平方向と前後方向（アオリ）の確認ができます。

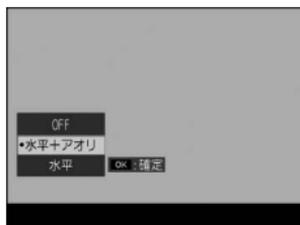
水平方向は横線の傾きで表示され、前後方向は中央の基準線からのズレで表示されます。カメラが傾いているときは黄色、傾いていないときは緑色になります。

- 1** DISP. ボタンを長押しする
メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ ボタンで設定を選択する

| | |
|--------|---------------------------|
| OFF | インジケータを表示しません。 |
| 水平+アオリ | 水平・アオリインジケータを表示します。[初期設定] |
| 水平 | 水平インジケータだけ表示します。 |



- 3** MENU/OK ボタンを押す

インジケータが撮影画面に表示されます。



緑色

傾きなし



黄色

右に傾いているとき



前に傾いているとき



傾きが大きいとき、または検知できなかったとき



メモ

- ・インジケータは、[セットアップ] メニューの [DISP. 表示設定] の [水準器] が ON になっているときだけ表示されます。(p.125)
- ・インジケータの表示は、[セットアップ] メニューの [水準器設定] でも設定できます。また、[セットアップ] メニューの [水準器 (アオリ方向) キャリブレーション] で、現在のアオリ方向の状態を基準として記憶させることもできます。



注意

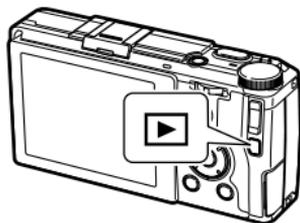
- ・カメラを上下逆にしている場合や、動画撮影中、インターバル撮影中は、水準器は動作しません。
- ・乗り物の中などのゆれている場所にいる場合や、カメラがゆれている場合は、水準器の精度が低くなります。
- ・この機能は、撮影する画像が水平かどうかを確認するための目安として使用してください。カメラ自体を水準器として使用した場合の精度は保証できません。

再生する

撮影した画像を確認します。

1 ▶ ボタンを押す

再生モードに切り替わり、最後に撮影した画像が表示されます。



2 画像を確認する

以下の操作ができます。

| | |
|----------|---------|
| ◀ ボタン | 前の画像を表示 |
| ◀ ボタン長押し | 早戻し |
| ▶ ボタン | 次の画像を表示 |
| ▶ ボタン長押し | 早送り |

撮影モードに戻るときは、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しします。



メモ

- 再生の順番は、[セットアップ] メニューの [再生順序設定] で [ファイル番号] [撮影日時] から選択できます。
- 画像の切り替え時には、右から左に画面が流れるアニメーションが表示されます。アニメーションを無効にするときは、[セットアップ] メニューの [再生アニメーション] で [OFF] に設定します。



縦横自動回転再生

- [セットアップ] メニューの [縦横自動回転再生] を [ON] に設定しているときは、カメラの向きに応じて画像が自動回転されます。
- [オートブラケット] で撮影した画像は、1枚目の画像の向きに合わせて自動回転されます。
- 以下の場合は、自動回転されません。
 - 動画
 - 一覧表示中
 - [スライドショー] 再生中
 - AV 機器で再生中

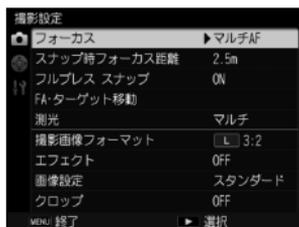
メニューの操作方法

1 MENU/OK ボタンを押す

メニューが表示されます。

ボタンを押したときのモードによって、最初に表示されるメニューが異なります。

メニューを切り替えるときは、◀ ボタンを押してから ▲▼ ボタンでタブを選択して ▶ ボタンを押します。



2 ▲▼ ボタンで項目を選択する

+/- ボタンを押すと、メニューの区切り(横線)の先頭にカーソルが移動します。



3 ▶ ボタンを押す

選択肢が表示されます。

4 ▲▼ ボタンで選択肢を選択する



5 MENU/OK ボタンを押す、または ◀ ボタンを押してから MENU/OK ボタンを押す

設定が確定します。



メモ

・各メニューの詳細は、「メニュー一覧」を参照してください。(p.145)

応用編

目的に応じてお読みください

| | | |
|---|------------------|-----|
| 1 | いろいろな撮影..... | 42 |
| 2 | いろいろな再生..... | 95 |
| 3 | カメラの設定を変更する | 114 |
| 4 | 画像を活用する..... | 130 |
| 5 | メニュー一覧..... | 145 |
| 6 | 付録..... | 155 |

1

2

3

4

5

6

1 いろいろな撮影

状況に応じて、撮影モードを選択してください。

| モード | 目的 | 参照先 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-------|
|  | 簡単に撮影したいとき | p.32 |
| P/Av/Tv/TAv/M | 絞り値やシャッタースピードを設定して撮影するとき | p.42 |
|  | 動画を撮影するとき | p.92 |
| MY1/MY2/MY3 | 自分好みの設定を登録して撮影するとき | p.117 |

1
いろいろな撮影

露出を設定して撮影する

絞り値またはシャッタースピードを設定して撮影します。それぞれ以下の値が設定できます。

○：設定可能　—：カメラが自動的に設定

| モード | 絞り値 | シャッター スピード | ISO 感度 |
|--------------------------------|-----|---------------|--------|
| P プログラムシフト | △*1 | △*1 | ○ |
| Av 絞り優先 | ○ | — | ○ |
| Tv シャッター優先 | — | ○ | ○ |
| TAv シャッター & 絞り 優先 | ○ | ○ | ○*2 |
| M マニュアル露光 | ○ | ○ | ○*3 |

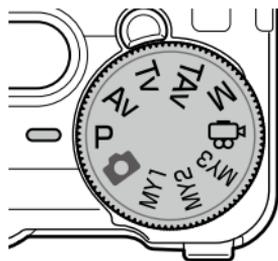
*1 絞り値とシャッタースピードの組み合わせが選択可能

*2 [AUTO] [AUTO-HI] のみ

*3 [AUTO] [AUTO-HI] 設定不可

1 モードダイヤルをP/Av/Tv/TAv/Mに合わせる

撮影画面に選択した撮影モードのマークと設定対象の値が表示されます。
Mモードでは露出インジケータが表示されます。



2 アップダウンダイヤル/ADJ. レバーを回して値を変更する

以下の値が変更されます。

| モード | アップダウンダイヤル | ADJ. レバー |
|--------------|------------|-----------|
| P | プログラムシフト | — |
| Av | 絞り値 | — |
| Tv | シャッタースピード | — |
| TAv/M | 絞り値 | シャッタースピード |

Pモードで絞り値とシャッタースピードが表示されているとき（シャッターボタン半押し後など）は、アップダウンダイヤルでプログラムシフトができます。

Mモードでは、インジケータが中央にあるときが適正露出です。露出値が-2～+2 EVの範囲にあるときは、露出値に応じてインジケータが変化します。その範囲を超えると、インジケータが黄色になります。



3 撮影する

**メモ**

- TAv/Mモード時のアップダウンダイヤルと ADJ. レバーの機能を、[キーカスタム設定] メニューの [M/TAv モードダイヤル設定] で入れ替えることができます。
- Av/Tv/TAv モードで設定した絞り値/シャッタースピードで適性露出が得られなかったときに自動的に露出調整を行うかどうかを、[撮影設定] メニューで設定できます。

| モード | [撮影設定] メニュー | 設定 |
|------------|-----------------|----------------------|
| Av | 絞り自動シフト | OFF/ON |
| Tv | シャッタースピード自動シフト | OFF/ON |
| TAv | シャッター & 絞り自動シフト | OFF/絞り優先/ シャッター優先 |

**注意**

- シャッタースピードを遅く設定した場合、撮影中は画像モニターに画像が表示されません。
- 画像モニターをオフにしているときは、絞り値やシャッター速度の変更はできません。[セットアップ] メニューの [情報表示モード] を [ON] に設定しているときは変更できます。

**プログラム線図**

- [撮影設定] メニューの [Pモード選択] で、P/Mモードのプログラム線図が選択できます。それぞれのプログラム線図は図 1・2 のとおりです。
- プログラム線図は、絞り値とシャッタースピードの組み合わせでシフト可能な範囲の目安で、露出値によって変化します。(ISO 感度を [ISO 100] に設定した場合)
- [キーカスタム設定] メニューの [Mモードワンプッシュ動作] で [プログラム] を選択している場合は、この設定に従って絞り値とシャッタースピードが調整されます。

図 1：ノーマル

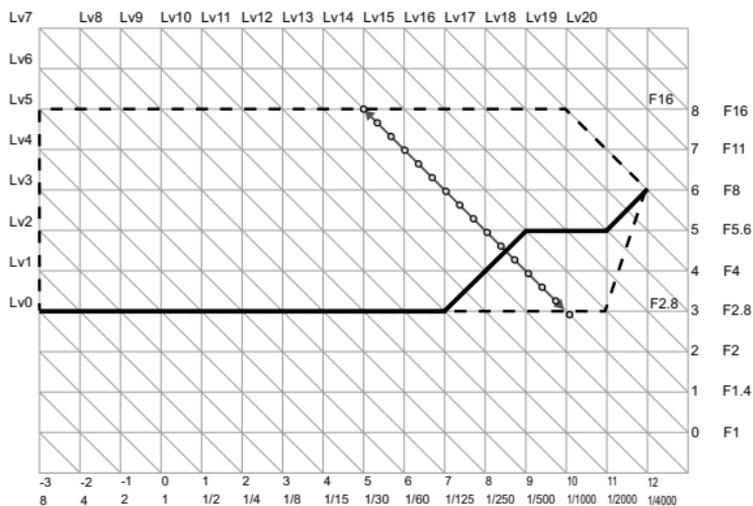
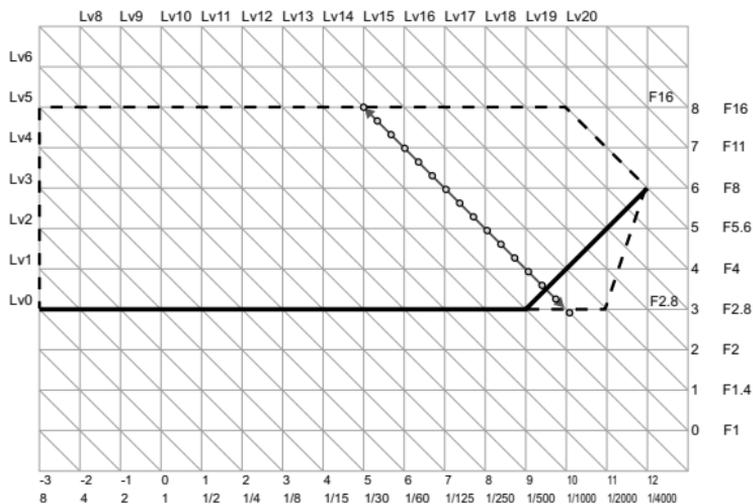


図 2：開放優先





バルブ／タイム-----

- ・ Mモードのときに、シャッタースピードでB（バルブ）／T（タイム）が選択できます。

| シャッタースピード | 操作 |
|-----------|---------------------------------|
| B | シャッターボタンを押し続ける間に露光放すと露光終了 |
| T | シャッターボタンを押すと露光開始 もう一度押すと露光終了 |

どちらも上限に達すると、自動的に撮影が終了します。

| ISO 感度 | シャッタースピード上限 |
|----------------------|-------------|
| ISO 100 ～ ISO 3200 | 300 秒 |
| ISO 3201 ～ ISO 25600 | 30 秒 |

- ・ 別売りのケーブルスイッチ（CA-2）でも操作できます。
- ・ 以下の機能は使用できません。
 - ・ セルフタイマー
 - ・ 連写
 - ・ オートブラケット
 - ・ インターバル撮影
 - ・ インターバル合成
 - ・ Mモードワンプッシュ動作
- ・ B/Tに設定しているときに [撮影設定] メニューの [連写] を設定すると、B/Tは解除され、シャッタースピードは 300 秒になります。先に [連写] が設定されているときは、B/Tは設定できません。



長秒時ノイズ低減

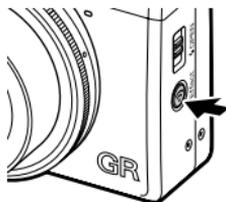
- ・シャッタースピードを長く設定すると、画像にノイズが発生します。
[撮影設定] メニューの [長秒時ノイズ低減] を [ON] に設定すると、ISO 感度とシャッタースピードの組み合わせに応じてノイズ低減処理が行われます。ただし、画像の記録に時間がかかります。

| ISO 感度 | 低減処理開始 シャッタースピード |
|------------|---------------------|
| ～ ISO 3200 | 8 秒以上 |
| ISO 3201 ～ | 4 秒以上 |



絞りレビュー

- ・[キークスタム設定] メニューの [エフェクトボタン長押し設定] を [絞りレビュー] に設定すると、 (Effect) ボタンで絞りレビューが確認できます。シャッターボタン半押し時など、撮影画面に絞り値が表示されているときに  ボタンを押し続けると、撮影時の絞り値まで絞りが動作して被写界深度が確認できます。 ボタンから指を放すと解除されます。
- ・[エフェクトボタン長押し設定] が [Wi-Fi] (初期設定) に設定されているときは、 ボタンは Wi-Fi 機能のオン/オフのスイッチとして機能するため、絞りレビューはできません。(p.134)
- ・絞りレビューモードの状態では、シャッターボタン全押しや絞り値の変更はできません。
- ・フラッシュ使用時は、絞りレビューと絞り値の結果が異なることがあります。
- ・絞りレビューは被写界深度を確認する機能のため、AE が合わないことがあります。
- ・Tv モードで [撮影設定] メニューの [オートブラケット] を設定しているときは、設定されている露出補正の条件で絞りレビューを行います。
- ・[撮影設定] メニュー [オートブラケット] の [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] の設定は反映されません。
- ・ モードでは使用できません。



露出を補正する

1 +/- ボタンで値を設定する

-4.0 ~ +4.0EV (Mモード時は -2.0 ~ +2.0EV) の間で設定できます。

この状態で撮影することもできます。



2 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻り、設定値が表示されます。



メモ

- ・[撮影設定] メニューの [露出補正] で設定することもできます。
- ・[キーカスタム設定] メニューの [シャッターボタン確定] を [ON] に設定すると、シャッターボタン半押しで露出補正の設定が確定できます。
- ・Mモードでは、露出補正はできません。**+/-** ボタンを押すと、適性露出に近づくように自動的に調整します。[キーカスタム設定] メニューの [Mモードワンプッシュ動作] で、優先する値を選択できます。

| | |
|---------|----------------------|
| 絞り優先 | 絞り値を固定してシャッタースピードを調整 |
| シャッター優先 | シャッタースピードを固定して絞り値を調整 |
| プログラム | 絞り値とシャッタースピードの両方を調整 |

ISO 感度を設定する

[撮影設定] メニューの [ISO 感度・NR] で設定します。

| | |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| AUTO | ISO 100～ISO 800 で、距離／明るさ／マクロ／フォーマットによってカメラが自動的に感度を変化させます。 |
| AUTO-HI (高感度設定オート) | [AUTO] よりも感度の上限を高く設定できます。 ・ [セットアップ]メニューの [ISO AUTO-HI 設定] で、ISO 感度の下限／上限と ISO 感度を切り替えるシャッタースピードを設定できます。 |
| ISO 100～ISO 25600 | 設定した ISO 感度で撮影します。 |



メモ

- ・ [セットアップ] メニューの [ISO 感度ステップ設定] で、ISO 感度の設定ステップを選択できます。設定によって以下の ISO 感度が選択できます。

| ISO 感度 ステップ設定 | 選択できる ISO 感度 |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1EV | ISO 100 / ISO 200 / ISO 400 / ISO 800 / ISO 1600 / ISO 3200 / ISO 6400 / ISO 12800 / ISO 25600 |
| 1/3EV | ISO 100 / ISO 125 / ISO 160 / ISO 200 / ISO 250 / ISO 320 / ISO 400 / ISO 500 / ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600 |

[1/3EV] に設定したときは、[セットアップ] メニュー [ISO AUTO-HI 設定] の [切り替えシャッタースピード] の設定値も 1/3EV ステップになります。

- ・ [AUTO] [AUTO-HI] のときは、シャッターボタン半押し時に ISO 感度が表示されます。フラッシュ使用時などは、実際の ISO 感度と異なる場合があります。
- ・ ISO 感度を高くすると、画質が粗くなる場合があります。
- ・ [AUTO] のときにフラッシュを使用すると、最大で ISO 1600 相当の感度まで上がります。

- ・ [撮影設定] メニューの [ダイナミックレンジ補正] を設定しているときは、設定できる ISO 感度が制限されます。(p.51)
- ・ [キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [ISO] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122) 初期設定では [ADJ. レバー設定 1] に登録されています。
- ・ [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. ISO ダイレクト変更] を [ON] に設定すると、P / Av / Tv モードで ADJ. レバーを左右に倒すだけで ISO 感度を変更できます。

ノイズを軽減する

静止画のノイズを軽減させることができます。

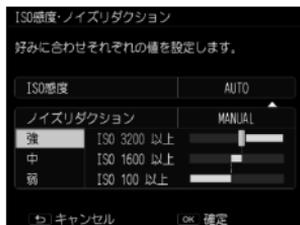
- 1 [撮影設定] メニューの [ISO 感度・NR] を選択し、▶ ボタンを押す。

[ISO 感度・ノイズリダクション] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ ボタンで [ノイズリダクション] を選択し、▶ ボタンを押す。

- 3 ▲▼ ボタンで [OFF] [AUTO] [MANUAL] を選択する
[OFF] [AUTO] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

- 4 ▲▼◀▶ ボタンで [強] [中] [弱] それぞれに適用する ISO 感度を指定する



- 5 MENU/OK ボタンを 2 回押す
撮影画面には、マークが表示されます。



❗ 注意

- ・ノイズリダクションを設定すると、画像の記録に時間がかかります。

ダイナミックレンジを補正する

[撮影設定] メニューの [ダイナミックレンジ補正] で、画像の階調を広げて明るい部分から暗い部分まで表現できるようにします。
[OFF] [AUTO] [弱] [中] [強] が選択できます。

ダイナミックレンジ補正を設定すると、撮影画面にマークが表示されます。



❗ 注意

- ・ダイナミックレンジ補正を設定すると、設定できる ISO 感度が制限されます。

| 設定 | ISO 感度ステップ設定 [1EV] | | ISO 感度ステップ設定 [1/3EV] | |
|------|-----------------------|-----------|-------------------------|-----------|
| | 最小感度 | 最大感度 | 最小感度 | 最大感度 |
| AUTO | ISO 400 | ISO 6400 | ISO 320 | ISO 8000 |
| 弱 | ISO 200 | ISO 12800 | ISO 160 | ISO 16000 |
| 中 | ISO 200 | ISO 12800 | ISO 200 | ISO 12800 |
| 強 | ISO 400 | ISO 6400 | ISO 320 | ISO 8000 |

- ・ダイナミックレンジ補正を設定すると、ISO 感度の [AUTO-HI] は [AUTO] で動作します。
- ・ISO 感度を [AUTO] に設定した場合、撮影条件によっては上記の最小感度よりも低い ISO 感度で撮影されることがあります。
- ・[強] に設定すると、画像にノイズが発生しやすくなります。
- ・以下のときは、ダイナミックレンジ補正は設定できません。
 - ・連写
 - ・多重露光撮影
 - ・インターバル撮影
 - ・インターバル合成

- ・撮影場所が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、ダイナミックレンジ補正の効果が出ないことがあります。



メモ

- ・ダイナミックレンジ補正を利用するときは、[撮影設定] メニューの [測光] を [マルチ] に設定することを推奨します。(p.52)
- ・[キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [D レンジ補正] を登録して使用することもできます。(p.120、 p.122)

測光方法を選択する

[撮影設定] メニューの [測光] で設定します。

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| マルチ | 撮影範囲全体を 484 に分割して、総合的に判断します。[初期設定] |
|  中央 | 中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。中央と周辺の明るさが異なるときに使います。 |
|  スポット | 中央部分を測光して判断します。中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。 |

[中央] [スポット] を選択したときは、撮影画面にマークが表示されます。



メモ

- ・以下の場合は、[マルチ] 固定です。
 - ・フォーカス [被写体追尾 AF]
 - ・ モード
- ・[撮影設定] メニューの [FA・ターゲット移動] で、ターゲットを移動しているときは、[スポット] 固定です。
- ・[キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [測光] を登録して使用することもできます。(p.120、 p.122) 初期設定では [ADJ. レバー設定 5] に登録されています。

ND フィルターを利用する

[撮影設定] メニューの [ND フィルター] で、カメラに内蔵されている ND フィルターを常時使用するかどうかを設定します。

| | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OFF | ND フィルターを使用しません。 |
| AUTO | 露出が連動範囲外の際に ND フィルターを使用します。シャッターボタン半押しで撮影画面にアイコンが表示されたときに、ND フィルターが使用されます。 P/M モードでは使用されません。 |
| ON | 常に ND フィルターを使用します。撮影画面にアイコンが表示されます。 |



メモ

- [キーカスタム設定]メニューで Fn1/Fn2/Effect ボタンに [ND フィルター] を設定すると、ボタンの操作だけで OFF/AUTO/ON が切り替えられます。(p.122)

静止画のフォーマットを設定する

[撮影設定] メニューの [撮影画像フォーマット] で、静止画のフォーマット・サイズ・アスペクト比を設定します。

| | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| フォーマット・サイズ | RAW : L サイズの RAW 画像 (DNG 形式) を記録します。 RAW+ : RAW 画像と L サイズの JPEG 画像を同時に記録します。 L : 16M (3:2) M : 10M (3:2) S : 5M (3:2) XS : 1M (3:2) |
| アスペクト比 | 3:2 / 4:3 / 1:1 |



メモ

- [アスペクト比] が [3:2] [1:1] のときは、画像モニターの下または左右が黒く表示されます。
- [キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [画像サイズ] [アスペクト比] を登録して使用することもできます。(p.120, p.122) 初期設定では [ADJ. レバー設定 2] に [画像サイズ]、[ADJ. レバー設定 3] に [アスペクト比] が登録されています。
Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [JPEG → RAW] [JPEG → RAW+] を設定すると、ボタンの操作だけで画像形式を切り替えることができます。



RAW での撮影

- RAW 画像は [再生設定] メニューの [RAW 現像]、または付属の「Digital Camera Utility 5」を使用して加工できます。(p.108, p.130)
 - RAW 画像には、以下の機能は反映できません。[エフェクト] [ダイナミックレンジ補正] は、[再生設定] メニューの [RAW 現像] で JPEG 形式に変換するときに反映できます。
 - エフェクト
 - ダイナミックレンジ補正
 - 日付入れ撮影
- RAW+** に設定したときは、上記の機能が JPEG 画像だけに反映されます。



クロープ

- ・ [撮影設定] メニューの [クロープ] を [35mm] [47mm] に設定すると、35mm 判換算の画角が通常の 28mm から 35mm または 47mm になり、画面の表示も変更されます。
- ・ [クロープ] を設定したときは、設定できるフォーマット・サイズに制限があります。



| クロープ | フォーマット・サイズ制限 |
|------|------------------------|
| 35mm | L 不可 |
| 47mm | L / M 不可 |

- ・ [キーカスタム設定] メニューで Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [28/35mm] または [28/35/47mm] を設定すると、ボタンの操作だけで画角が切り替えられます。(p.122)

フォーカスを設定する

フォーカス方法を選択する

[撮影設定] メニューの [フォーカス] で設定します。

| | |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マルチ AF | 9箇所の AF エリアから測距し、最も近い位置にピントを合わせます。中抜けを防止し、ピンボケの少ない撮影ができます。[初期設定] |
| スポット AF | AF エリアを中央に固定し、ピントを合わせます。 |
| ピンポイント AF | [スポット AF]より小さいエリアでピントを合わせます。 |
| 被写体追尾 AF | 被写体を追尾してピントを合わせ続けます。 シャッターボタンを半押しすると、画像モニター中央の枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。追尾対象が見つからないときは、枠が赤く点滅します。 撮影後、または以下のときに自動追尾が解除されます。 <ul style="list-style-type: none">・ 追尾対象がフレームから外れたとき・ シャッターボタンを放したとき・ フラッシュの充電中 |
| MF MF (マニュアルフォーカス) | 手動でピントを合わせます。(p.58) |
| S スナップ | 設定した距離にピントを固定します。(p.58) |
| ∞ ∞ (無限遠) | 無限遠にピントを固定します。遠くの風景などを撮影するときに使います。 |

**メモ**

- [セットアップ] メニューの [AF モード] で、オートフォーカスの合焦速度を [ノーマル] [高速] から選択できます。[高速] に設定すると、オートフォーカスの合焦速度が速くなります。ただし、オートフォーカスの動作中は、画像モニターの表示が停止します。また、以下のときは [高速] の設定は無効です。
 - フォーカス [被写体追尾 AF]
 - コンティニュアス AF 中
 - ターゲット移動時
- [キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [フォーカス] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122) 初期設定では [ADJ. レバー設定 4] に登録されています。Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに以下を設定すると、ボタン操作だけでフォーカスが切り替えられます。
 - マルチ AF / スポット AF
 - マルチ AF / ピンポイント AF
 - AF / MF
 - AF / スナップ
 - AF / 被写体追尾

**注意**

- [被写体追尾 AF] では、以下の機能は使用できません。
 - セルフタイマー [カスタムセルフ]
 - インターバル撮影
 - インターバル合成
 - FA・ターゲット移動

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせます。

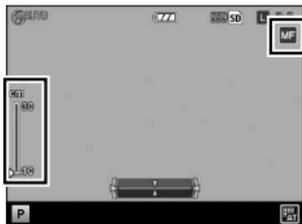
マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影できます。

- 1 [撮影設定] メニューの [フォーカス] で [MF] を選択する
撮影画面にマークとフォーカスバーが表示されます。

P / Av / TAv / M モードとインターバル合成時は、被写界深度の目安が表示されます。

- 2 ▲ ボタンを1回押す
フォーカスバーに ▶ が表示されます。

- 3 アップダウンダイヤルでピントを合わせる



設定した距離にピントを固定する（スナップ）

- 1 [撮影設定] メニューの [スナップ時フォーカス距離] を選択し、▶ ボタンを押す

- 2 ▲▼ ボタンで距離を選択し、◀ ボタンを押す
[1m] [1.5m] [2m] [2.5m] [5m] [∞] が選択できます。

- 3 [撮影設定] メニューの [フォーカス] で [スナップ] を選択する

設定した距離にピントが合うようになります。

距離を変更するときには、▲ ボタンを押しながらアップダウンダイヤルを操作します。



メモ

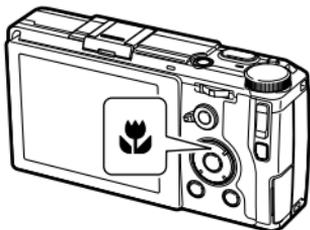
- ・ [キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [スナップフォーカス距離] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122)

接写する (マクロ撮影)

レンズ先端より最短約 10cm (撮影範囲: 約 12 × 8cm) まで近づいて撮影することができます。

1

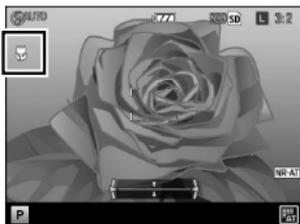
撮影モードで  (▲) ボタンを押す
撮影画面に  が表示されます。



2

撮影する

マクロを解除するときは、もう一度  ボタンを押します。



メモ

- ・ [フォーカス] は [スポット AF] [ピンポイント AF] で動作します。



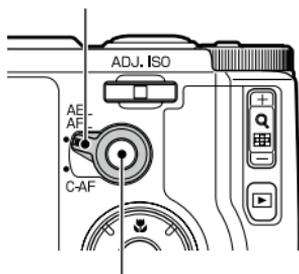
注意

- ・  モードのときはオートマクロとなり、 ボタンは無効です。
- ・ [フォーカス] が [MF] のときは、マクロ撮影はできません。 (▲) ボタンを押すと、撮影距離の設定操作になります。(p.58)

AF ボタンを利用する

AF ボタンを利用すると、シャッターボタン半押し代わりに AE ロックまたは AF ロックができます。

AF ファンクション切り替えレバーで AF ボタンの機能を切り替えます。



AF ボタン

AF ファンクション切り替えレバーが AEL/AFL

[キーカスタム設定] メニューの [AFL フォーカス設定] で、AF ボタンを押したときの動作を [OFF] [マルチ AF] [スポット AF] [ピンポイント AF] から選択できます。(シャッターボタン半押しの AF 動作には無効) [OFF] に設定したときは [キーカスタム設定] メニューの [AEL/AFL 設定] に従って AF ボタンが動作します。

| AEL/AFL 設定 | フォーカス | AF ボタンのロック動作 |
|------------|--------------------------|--------------------------------------------------------|
| AFL | マルチ AF/スポット AF/ピンポイント AF | [撮影設定] メニュー [フォーカス] に従ってピントを合わせてフォーカスをロックします。 |
| | 被写体追尾 AF/MF/スナップ/∞ | スポット AF でピントを合わせてフォーカスをロックします。 |
| AEL・AFL | マルチ AF/スポット AF/ピンポイント AF | AE をロックし、[撮影設定] メニュー [フォーカス] に従ってピントを合わせてフォーカスをロックします。 |
| | 被写体追尾 AF/MF/スナップ/∞ | AE をロックし、スポット AF でピントを合わせてフォーカスをロックします。 |
| AEL | | AE をロックします。 |



メモ

- ・ [キーカスタム設定] メニューの [AEL/AFL ロック維持設定] で、AF ボタンを放してもロック状態を維持するかどうか設定できます。

| | |
|-----|---------------------------------|
| OFF | ボタンを押している間だけロックします。 |
| ON | ボタンを押すとロックされ、もう一度押すとロックが解除されます。 |

- ・ AF ボタンでロックされているときは、 ボタンは無効です。
- ・ [キーカスタム設定] メニューで Fn1 / Fn2 / Effect ボタンにフォーカスモード切り替えや [FA・ターゲット移動] 等の機能を設定している場合、AF ロック中はボタンに設定した機能は無効になります。AF ロック中にボタンの設定を変更すると、AF ロックは解除されません。
- ・ AF ロックができなかったときや AF ロックを解除したときは、[フォーカス] のフォーカス位置に移動します。
- ・ AF ボタンでロックされているときは、シャッターボタンを半押ししても AE / AF ロック位置は変更されません。

AF ファンクション切り替えレバーが C-AF

[フォーカス] の設定にかかわらず AF ボタンを押している間、被写体にピントを合わせ続ける「コンティニユアス AF」を行います



メモ

- ・ピントが合うと緑の枠が表示されます。ピントが合ったときの音は鳴りません。
- ・AF ボタンを押しているときにシャッターボタンを全押しすると、[キーカスタム設定] メニューの [C-AF 連写設定] に従って連写ができます。AF ボタンを放すと連写が終了します。

| | |
|----------|-------------------------------------------|
| OFF | [撮影設定] メニューの [連写] が設定されているときだけ連写します。 |
| AF 優先連写 | シャッターボタンを押している間、1 枚ずつピントを合わせながら連続撮影します。 |
| コマ速度優先連写 | シャッターボタンを押している間、連続撮影します。フォーカスは固定です。(p.72) |

- ・[フォーカス] が [MF] のときは、AF ボタンを放したところでフォーカスロックができます。人差し指をシャッターボタンに置き、親指で AF ボタンを操作すると便利です。



注意

- ・以下のときは、コンティニユアス AF はできません。
 - ・セルフタイマー
 - ・ モード
 - ・多重露光撮影
 - ・インターバル撮影
 - ・インターバル合成

フォーカスアシスト／AE・AF ターゲットを設定する

カメラを動かさずにボタン操作だけで被写体の特定の部分を測光し、フォーカスロックができます。三脚を使った撮影時に便利です。

- 1 [撮影設定] メニューの [FA・ターゲット移動] を選択し、▶ ボタンを押す

ターゲットを設定する画面が表示されます。

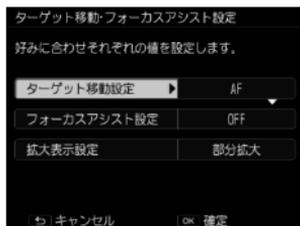
- 2 ターゲットの位置と大きさを設定する



以下の操作ができます。

| | |
|----------------|----------------------------------------------------------------|
| ▲▼◀▶ ボタン | ターゲットを移動します。 |
| アップダウン ダイヤル | 部分拡大時：表示領域を変更します。 全体拡大時：拡大倍率が等倍のときに、フォーカスアシストの領域の大きさを変更します。 |
| +/- ボタン | 拡大倍率を変更します。 |

3 詳細設定を行うときは Fn2 ボタンを押す



1

いろいろな撮影

以下の設定ができます。

| | |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ターゲット移動設定 | 移動するターゲットを [AE・AF] [AF] [AE] ([フォーカス] が [MF] のときは [AE・MF] [MF] [AE]) から指定します。 |
| フォーカスアシスト設定 | エリア内の輪郭やコントラストを強調してピントを合わせやすくします。 [MODE1] エッジを強調 [MODE2] 輪郭を抽出 [MODE3] MODE1 を白黒反転 [MODE4] MODE2 を白黒反転 |
| 拡大表示設定 | 拡大する範囲を指定します。 [部分拡大] ターゲット周辺を拡大し、背景に重ねて表示します。全体の構図を見ながらピントが確認できます。 [全体拡大] ターゲット周辺を画面全体に表示し、全体を拡大したままターゲットを移動します。[部分拡大] より細かくピントが確認できます。 +/- ボタンで拡大倍率を変更できます。 |

MENU/OK ボタンを押すと、手順 2 の画面に戻ります。

4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。



ターゲット



注意

- 以下の場合は、FA・ターゲット移動は設定できません。
 - モード/ モード
 - フォーカス [被写体追尾 AF]
- [拡大表示設定] を [全体拡大] にしているときは、[M モードワンプッシュ動作] は無効です。



メモ

- [フォーカス] を [被写体追尾 AF] に変更すると、ターゲット位置はリセットされます
- [キーカスタム設定] メニューで Fn1/Fn2/Effect ボタンに、[FA・ターゲット移動] を登録して使用することもできます。(p.122) 初期設定では Fn1 ボタンに登録されています。

シャッターボタンをいっきに押し込んで撮影する（フルプレススナップ）

シャッターボタンを半押しすると AF が動作しますが、シャッターボタンを一度に押し込んだときに、設定した距離で撮影する速写機能を「フルプレススナップ」といいます。[撮影設定] メニューの [スナップ時フォーカス距離] で設定した距離（p.58）にピントを合わせて撮影します。

[撮影設定] メニューの [フルプレススナップ] で設定します。

| | |
|----------------|------------------------------------------------------------------|
| OFF | 通常の AF 撮影と同じ動作です。 |
| ON | フルプレス時に、[スナップ時フォーカス距離] で設定した距離にピントを合わせて撮影します。 |
| ON ISO AUTO-HI | フルプレス時に [スナップ時フォーカス距離] で設定した距離にピントを合わせ、ISO 感度を [AUTO-HI] で撮影します。 |

注意

- 以下のときは、フルプレススナップはできません。
 - 📷 モード / 📷 モード
 - マクロ
 - セルフタイマー

メモ

- [フォーカス] が [マルチ AF] [スポット AF] [ピンポイント AF] [被写体追尾 AF] のときに、フルプレススナップで撮影ができます。
- [フルプレススナップ] が [ON] のときでも、シャッターボタンを半押しすると [フォーカス] の設定でピントを合わせます。

ホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスを設定して、白い被写体がどのような光の下でも白く写るように調整します。

単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなどにホワイトバランスが思いどおりに表現できない場合は、設定を変更します。

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
|  AUTO | 自動的に調整します。 |
|  マルチパターン AUTO | 日向/日陰、フラッシュなど、光源が混在する場合でも、分割した領域ごとの光源に合わせて、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを調整します。[初期設定] |
|  屋外 | 晴天での撮影時に使用します。 |
|  日陰 | 日陰での撮影時に使用します。 |
|  曇天 | 曇天での撮影時に使用します。 |
|  白熱灯 1 | 白熱灯での撮影時に使用します。 |
|  白熱灯 2 | [白熱灯 1] より赤みを残して撮影します。 |
|  昼光色蛍光灯 | 昼光色蛍光灯での撮影時に使用します。 |
|  昼白色蛍光灯 | 昼白色蛍光灯での撮影時に使用します。 |
|  白色蛍光灯 | 白色蛍光灯での撮影時に使用します。 |

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
|  電球色蛍光灯 | 電球色蛍光灯での撮影時に使用します。 |
|  CTE | 光源の色を誇張し、被写体の色味を残すように撮影します。 画像の多くを占める色を強調したいときに使用します。 |
|  CT (色温度) | 色温度を指定します。(p.70) |
|  手動設定 | 手動設定を行います。(p.70) |

1 撮影モードで WB (▼) ボタンを押す
[ホワイトバランス] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで設定を選択する
補正が必要ない場合は、手順6に進みます。
[CT] [手動設定] の場合は p.70 を参照してください。



3 Fn2 ボタンを押す
[ホワイトバランス補正] 画面が表示されます。

4 ▲▼◀▶ ボタンでポイントを調整する
リセットするときは、↶ ボタンを押します。もう一度 ↶ ボタンを押すと、補正がキャンセルされます。



5 MENU/OK ボタンを押す
手順2の画面に戻ります。

6 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻り、画面にマークが表示されます。



メモ

- ・ [撮影設定] メニューの [ホワイトバランス] で設定することもできます。
- ・ 以下のときは、[マルチパターン AUTO] に設定していても [AUTO] で動作します。
 - ・ 撮影モード
 - ・ 連写
 - ・ オートブラケット [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] [DR-BKT]



注意

- ・ 被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。
- ・ フラッシュを使用して撮影するときは、[AUTO] [マルチパターン AUTO] [手動設定] に設定してください。それ以外の設定では、ホワイトバランスが合わないことがあります。

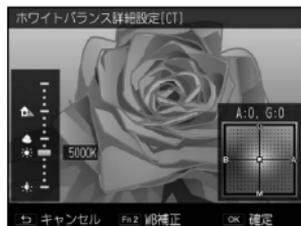
色温度で設定する

- 1 p.68 の手順 2 で [CT] を選択し、Fn2 ボタンを押す
[ホワイトバランス詳細設定 [CT]] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ ボタンで値を設定する

2500 ~ 10000K が設定できます。

Fn2 ボタンを押すと、ホワイトバランス補正ができます。もう一度 Fn2 を押すと、色温度の設定に戻ります。



- 3 MENU/OK ボタンを押す

[ホワイトバランス] 画面に戻ります。

- 4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

ホワイトバランスを手動設定する

- 1 p.68 の手順 2 で [手動設定] を選択する

- 2 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける

- 3 Fn2 ボタンを押す

ホワイトバランスが測定されます。

フラッシュが発光する状態で Fn2 ボタンを押すと、フラッシュ発光時のホワイトバランスを測定できます。

- 4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

連続して撮影する

以下の機能があります。

| | | |
|----------|-----------------------------------------------------|------|
| 連写 | シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。 | p.72 |
| オートブラケット | 露出／ホワイトバランス／エフェクト／ダイナミックレンジ／コントラストを変化させた画像を3枚撮影します。 | p.73 |
| 多重露光撮影 | 複数の画像を合成します。 | p.74 |
| インターバル撮影 | 一定の間隔で自動撮影します。 | p.76 |
| インターバル合成 | 連続撮影した画像の明るい部分を残すように合成します。 | p.77 |



注意

- 上記のうち、[オートブラケット] と [インターバル撮影] のみ組み合わせて使用することができます。それ以外の機能は、同時に設定できません。

連写で撮影する

[撮影設定] メニューの [連写] で設定します。

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。AF は 1 枚目に固定されます。

連写を設定すると、撮影画面にマークが表示されます。



通常の撮影に戻るときは、[連写] を [OFF] に設定します。

注意

- ・フラッシュは使用できません。
- ・セルフタイマーは使用できません。
- ・[撮影設定] メニューの [エフェクト] を [ハイコントラスト白黒] [ミニチュアライズ] [明瞭コントロール] [光沢コントロール] に設定している場合は、連写はできません。
- ・[撮影設定] メニューの [撮影画像フォーマット] を **RAW** / **RAW+** に設定しているときは、カメラの処理用メモリーの容量がなくなると、連写が終了します。

メモ

- ・AF ボタンを押しながらシャッターボタンを全押しして連写（コンティニューアス AF）することもできます。「AF ボタンを利用する」の「AF ファンクション切り替えレバーが C-AF」(p.62) を参照してください。
- ・1 回のリリースで連続して撮影できるのは、最大 999 枚です。
- ・[キーカスタム設定] メニューで、ADJ.レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [連写] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122)

設定を変化させて連続撮影する（オートブラケット）

[撮影設定] メニューの [オートブラケット] では、露出値やホワイトバランスなどを変化させて連続して3枚撮影します。

| | |
|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| BKT AE AE-BKT 1/3EV AE-BKT 1/2EV | -2.0 ~ +2.0EV の範囲で、1/3EV ステップまたは 1/2EV ステップの露出差の画像を撮影します。 |
| BKT WB WB-BKT | 設定されているホワイトバランスの値よりも、赤みがかった画像 / 現在の設定 / 青みがかった画像の3枚を撮影します。 |
| BKT WB2 WB-BKT プリセット | ホワイトバランスを変更した画像を3枚撮影します。2枚目 / 3枚目のホワイトバランスをそれぞれ選択します。 |
| BKT Effect Effect-BKT | エフェクトを変更した画像を3枚撮影します。2枚目 / 3枚目のエフェクトをそれぞれ選択します。 |
| BKT DR DR-BKT | ダイナミックレンジ補正を OFF / 弱 / 強に変更した画像を撮影します。 |
| BKT CONT CONTRAST-BKT | コントラストを変化させた画像を撮影します。 |

❗ 注意

- ・フラッシュは使用できません。
- ・Tv モードでは、[AE-BKT 1/2EV] は選択できません。
- ・[撮影設定] メニューの [エフェクト] を [ミニチュアライズ] [明瞭コントロール] [光沢コントロール] に設定しているときは、[AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] [DR-BKT] は使用できません。
- ・[Effect-BKT] で [シフトクロップ] は選択できません。

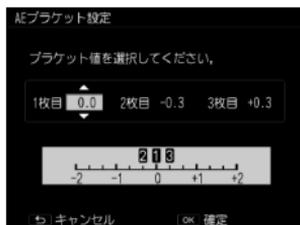
🔑 メモ

- ・[キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [オートブラケット] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122)

露出値を変化させて連続撮影する

1 [撮影設定] メニューの [オートブラケット] で [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] を選択し、▶ ボタンを押す
[AE ブラケット設定] 画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで1～3枚目を選択し、▲▼ ボタンで露出値を設定する



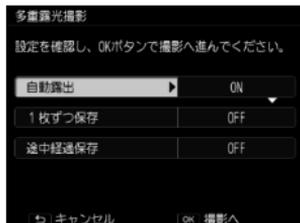
3 MENU/OK ボタンを2回押す
撮影画面に戻ります。

画像を合成しながら撮影する (多重露光撮影)

画像を合成しながら撮影します。最大で5枚の画像を合成できます。

1 [撮影設定] メニューの [多重露光撮影] を選択し、▶ ボタンを押す
[多重露光撮影] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで項目を選択し、[ON]
[OFF] を設定する



| | |
|--------|----------------------------------------------------|
| 自動露出 | [OFF] 露光量を調整しません。 [ON] 撮影枚数に応じて露光量を調整しながら合成します。 |
| 1枚ずつ保存 | [OFF] 最終的な合成画像のみ保存します。 [ON] 合成されていない各画像を保存します。 |
| 途中経過保存 | [OFF] 最終的な合成画像のみ保存します。 [ON] 合成ごとに画像を保存します。 |

3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に [多重露光撮影] と表示されます。

4 1枚目の画像を撮影する

5 次の画像を撮影するときは [次の撮影へ] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

撮影をやり直す場合は、[撮り直し] を選択します。



6 次の画像を撮影する

手順5～6を繰り返します。

1つ前の合成画像に戻るときは [撮り直し] を選択します。多重露光撮影を終了するときには [完了] を選択します。

5枚の撮影が終わったときまたは [完了] を選択すると、合成された画像が保存されます。



メモ

- ・ [キーカスタム設定] メニューで Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [多重露光] を設定すると、ボタンの操作だけで多重露光撮影が開始できます。(p.122)



注意

- ・ 以下の機能は、多重露光撮影中に変更できません。
 - ・ クロップ
 - ・ エフェクト / 画像設定

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した時間間隔で、自動的に撮影します。

- 1 [撮影設定] メニューの [インターバル撮影] を選択し、▶ ボタンを押す

[インターバル撮影] 画面が表示されます。

- 2 ◀▶ ボタンで分/秒を選択し、▲▼ ボタンで値を設定する

時間間隔は、1 秒 / 2 秒 / 5 秒 ~ 60 分 (5 秒単位) が設定できます。



- 3 ◀▶ ボタンで撮影枚数を選択し、▲▼ ボタンで値を設定する
1 ~ 99 / ∞ 枚が設定できます。

- 4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に [インターバル撮影] と表示されます。

- 5 シャッターボタンを押して撮影する

設定した間隔で、次々と撮影されます。

- 6 撮影を終了するときは、MENU/OK ボタンを押す

注意

- 撮影の設定によっては、次の撮影が可能になるまでの時間がインターバル撮影の設定時間よりも長くなる場合があります。
- 時間間隔が 1 秒 / 2 秒の場合、1 枚目の露出で 2 枚目以降も撮影されることがあります。
- 電源をオフにすると、インターバル撮影は解除されます。

メモ

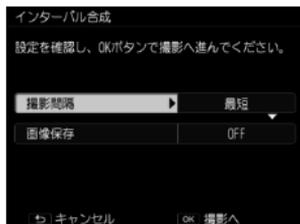
- [撮影設定] メニューの [フォーカス] が [被写体追尾 AF] に設定されているときは、[マルチ AF] で動作します。
- 十分に残量のあるバッテリーまたは別売りの AC アダプター (AC-5c) のご使用をお勧めします。

- ・十分に空き容量のあるメモリーカードまたは高速なメモリーカードのご使用をお勧めします。

星の光跡などを記録する（インターバル合成）

設定した間隔で連続撮影した画像の、明るい部分を残すように合成します。定位置の夜景撮影で、星や月の光跡を記録したいときなどに使用します。

- 1 カメラを三脚に固定する
- 2 モードダイヤルを Av/Tv/TAв/M に合わせて試し撮りを行う
絞り値/シャッタースピード/フォーカス/ISO 感度/ホワイトバランスを設定し、構図を確認します。この露出設定で合成されます。
- 3 [撮影設定] メニューの [インターバル合成] を選択する
- 4 ▲▼ ボタンで項目を選択し、設定を変更する



| | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 撮影間隔 | 撮影の間隔を最短～60分で設定します。 |
| 画像保存 | <p>画像の保存方法を設定します。</p> <p>[OFF] 合成画像のみを保存します。</p> <p>[1枚ずつ保存] 合成されていない各画像と合成画像をJPEGで保存します。</p> <p>[途中経過保存] 各合成段階の画像をJPEGで保存します。</p> |

- 5 MENU/OK ボタンを押す
撮影画面に [インターバル合成] と表示されます。

6 シャッターボタンを全押しする

1 枚目の画像が撮影され、設定した間隔で連続撮影されます。

合成中の画像を確認するときは、シャッターボタンを半押しします。

シャッターボタンを全押しすると、インターバル合成を継続したままその時点の合成画像を保存し、新たに合成を開始します。

7 撮影を終了するときは、MENU/OK ボタンを押す

合成された画像が保存されます。

注意 -----

- 撮影中に MENU/OK ボタンを押したときは、その画像は合成されません。
- フラッシュは使用できません。
- ISO 1600 より高い ISO 感度は設定できません。
- 60 秒より長いシャッタースピードは設定できません。
- [撮影設定] メニューの [周辺光量] を [ノーマル] に設定して、インターバル合成で撮影された RAW 画像は、[再生設定] メニュー [RAW 現像] の [周辺光量] で [オリジナル] は選択できません。
- [撮影設定] メニューの [エフェクト] [画像設定] で設定した [周辺減光] は無効です。

メモ -----

- 以下の設定は、1 枚目撮影時の値で固定されます。
 - ISO 感度 [AUTO] [AUTO-HI] 時の ISO 感度
 - ホワイトバランス [AUTO] 時のホワイトバランス値
- AF 動作は、1 枚目撮影時のみ行われます。
- [撮影設定] メニューの [フォーカス] が [被写体追尾 AF] に設定されているときは、[マルチ AF] で動作します。
- セルフタイマーは、1 枚目撮影時のみ使用できます。[カスタムセルフ] は使用できません。
- 星の光跡を撮影するときは、[撮影設定] メニューの [フォーカス] を [∞] に設定し、[撮影間隔] を [最短] に設定するときれいに仕上がります。また、試し撮りのときに星が点で撮影されていることを確認してください。合成されることで、点が光跡となって記録されます。
- 暗い場所での撮影は、別売りの外部ファインダー (GV-1/GV-2) を使用すると便利です。

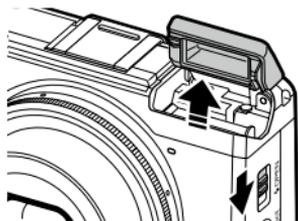
フラッシュを使用する

フラッシュモードを設定する

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|  AUTO | 逆光や被写体が暗いときに、自動的にフラッシュを発光します。[初期設定] |
|  強制発光 | 常にフラッシュを発光します。 |
|  スローシンクロ | シャッタースピードを遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。手ブレしやすいので、三脚の使用をお勧めします。 |
|  マニュアル発光 | フラッシュの発光量を [撮影設定] メニューの [フラッシュマニュアル発光量] で設定します。(p.82) |
|  赤目軽減 AUTO | 人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。 |
|  赤目軽減 強制発光 | 赤目現象を軽減しながら強制発光します。 |
|  赤目軽減 スローシンクロ | 赤目現象を軽減しながらスローシンクロ発光します。 |
|  ワイヤレス | PENTAX オートフラッシュ (AF540FGZ II / AF360FGZ II / AF540FGZ / AF360FGZ) を、カメラから離して発光させます。(p.170) |

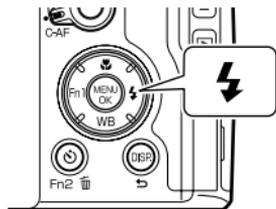
1 OPEN スイッチを下にスライドする

フラッシュがポップアップします。



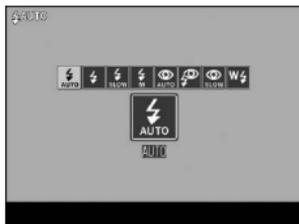
2 ⚡ (▶) ボタンを押す

フラッシュモードを設定する画面が表示されます。



3 ◀▶ ボタンで切り替える

撮影画面にマークが表示されます。



メモ

- ・ ISO 感度が [AUTO] の場合、フラッシュ光が届く範囲はレンズ先端から約 20cm ~ 3.0m です。
- ・ フラッシュ発光時は、AE の精度を補助するために予備発光が行われます。[マニュアル発光] では、予備発光は行われません。
- ・ フラッシュ光量は、[撮影設定] メニューの [フラッシュ調光補正] で調整できます。(p.81)
- ・ 外部フラッシュについては、p.168 を参照してください。



注意

- ・ フラッシュカバーを閉じているときは、フラッシュモードは変更できません。
- ・ 以下の場合は、フラッシュは発光しません。
 - ・ 連写
 - ・ オートブラケット
 - ・ インターバル合成
 - ・ 撮影モード
- ・ 外部フラッシュ/コンバージョンレンズ/フードを使用する場合は、フラッシュをポップアップしないでください。

フラッシュの光量を調整する

フラッシュの光量を調整します。

- 1 [撮影設定] メニューの [フラッシュ調光補正] を選択し、▶ ボタンを押す

[フラッシュ調光補正] 画面が表示されます。

- 2 +/- ボタンで値を設定する

-2.0 ~ +2.0 EV の間で、1/3 EV 間隔で設定できます。



- 3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に設定値が表示されます。



メモ

- フラッシュモードが [マニュアル発光] のときは、[フラッシュ調光補正] の設定値は無効です。
- [キーカスタム設定] メニューで、ADJ.レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [調光補正] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122)

マニュアル発光の発光量を設定する

フラッシュモードを [マニュアル発光] に設定した場合の、内蔵フラッシュの発光量を設定します。

1 [撮影設定] メニューの [フラッシュマニュアル発光量] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで値を選択する

最大発光量に対して、[FULL] [1/1.4] [1/2] [1/2.8] [1/4] [1/5.6] [1/8] [1/11] [1/16] [1/22] [1/32] [1/64] が選択できます。

3 MENU/OK ボタンを押す

フラッシュモードを [マニュアル発光] に設定すると、撮影画面に設定値が表示されます。



メモ

- ・ [キーカスタム設定] メニューで、ADJ.レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [マニュアル発光量] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122)

フラッシュ発光のタイミングを設定する

[撮影設定] メニューの [フラッシュシンクロ設定] で、フラッシュが発光するタイミングを設定できます。

| | |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 先幕 | 露光開始直後にフラッシュが発光します。[初期設定] |
| 後幕 | 露光が終わる直前のタイミングで発光します。動いている被写体を低速のシャッタースピードで撮影するときなどに、光跡や被写体の軌跡をより自然に表現できます。 |

写真の雰囲気を変えて撮影する

彩度やコントラストなどを変更した画像が撮影できます。

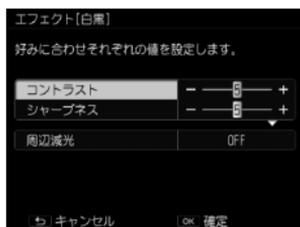
エフェクト

色調などを変更して、特徴的な画像を撮影します。

| | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  白黒 | 白黒の画像です。 [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定 できます。 |
|  白黒 (TE) | 白黒の画像に色味を付けます。 [調色] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周 辺減光] が設定できます。 |
|  ハイコントラスト 白黒 | [白黒] よりもコントラストを強調して撮影します。 超高感度フィルムを使用したり増感現像したようなざ らついた印象の画像を撮影します。 [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定 できます。 |
|  クロスプロセス | 実際の色とは異なる色合いの画像を撮影します。 [色調] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周 辺減光] が設定できます。 |
|  ポジフィルム調 | ポジフィルムで撮影したような彩度の高い画像を撮影 します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。 |
|  ブリーチバイパス | 彩度を低くし、コントラストを高めにした画像を撮影 します。 [色調] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周 辺減光] が設定できます。 |
|  レトロ | 古い写真のような画像を撮影します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。 |
|  ミニチュアライズ | 風景などをミニチュアのように撮影します。 [調色] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] と、 画像の中のぼかす位置・範囲が設定できます。 (p.87) |

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|  シフトクロップ | 縦位置画面の上側または下側の 1 : 1 の範囲を切り出して記録します。Fn2 ボタンで画面の上下どちらを切り出すかを選択できます。 |
|  ハイキー | 明るい雰囲気画像を撮影します。 [彩度] が設定できます。 |
|  HDR 調 | 細かなコントラストを強調して絵画的な印象に仕上げます。 [調色] [彩度] [周辺減光] が設定できます。 |
|  明瞭コントロール | 被写体の凹凸感や質感を調整して撮影します。 [調色] [明瞭度] [彩度] [周辺減光] が設定できます。 |
|  光沢コントロール | 被写体の光沢感を調整して撮影します。 [光沢度] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。 |
|  かすか | 画像の色をかすかに残します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。 |
|  雅 (MIYABI) | 古風で鮮やかな色合いで撮影します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。 |
|  鮮やか | メリハリのある画像を撮影します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] を設定します。 |
|  人物 | 人物の肌色に最適な色合いで撮影します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。 フォーカスモードは「顔検出優先 AF」になります。 |

- 1 [撮影設定] メニューで [エフェクト] を選択し、▶ ボタンを押す
- 2 ▲▼ ボタンで設定を選択する
- 3 Fn2 ボタンを押す
- 4 ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで値を設定する



- 5 MENU/OK ボタンを2回押す
撮影画面には、マークが表示されます。



注意

- ・ [エフェクト] を設定したときは、[画像設定] は無効です。
- ・ 撮影モードのときは、[周辺減光] は設定できません。
- ・ [撮影設定] メニューの [インターバル合成] を設定したときは、[周辺減光] の設定は無効です。
- ・ RAW 画像に [エフェクト] は反映されません。
- ・ 以下の機能は [エフェクト] と併用できません。

| 機能 | エフェクト |
|---------------------|----------------------------------------------------------|
| 📷 モード | シフトクロップ |
| 📷 モード | ハイコントラスト白黒／ミニチュアライズ／シフトクロップ／ハイキー／HDR 調／明瞭コントロール／光沢コントロール |
| 多重露光撮影／ インターバル合成 | ミニチュアライズ／HDR 調／ 明瞭コントロール／光沢コントロール |

- ・ 設定したエフェクトによって、以下の機能は無効になります。

| エフェクト | 無効になる機能 |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ハイコントラスト白黒 | 連写 |
| ハイコントラスト白黒／ クロスプロセス／ ポジフィルム調／ ブリーチバイパス／ レトロ／ ミニチュアライズ | フォーカス [被写体追尾 AF] |
| ミニチュアライズ／HDR 調／明瞭コントロール／ 光沢コントロール | 連写／オートブラケット [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] [DR-BKT] |
| シフトクロップ | フォーカス [マルチ AF] [スポット AF] [被写体追尾 AF] / コンティニューアス AF / オートブラケット [Effect-BKT] |

- ・ [周辺減光] を設定しているときは、[連写] の速度が遅くなります。

**メモ**

- ・ [キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [エフェクト] を登録して使用することもできます。(p.120、p.122) 初期設定では Effect ボタンに [エフェクト] が登録されています。

ミニチュアライズで撮影する

ミニチュアを接写したような印象の画像を撮影できます。高い場所から斜め下方向に見下ろした風景を撮影すると効果的です。

1 [撮影設定] メニューの [エフェクト] で [ミニチュアライズ] を選択する

[調色] などを変更するときは、Fn2 ボタンを押します。

2 MENU/OK ボタンを押す

ミニチュアライズの撮影画面になります。

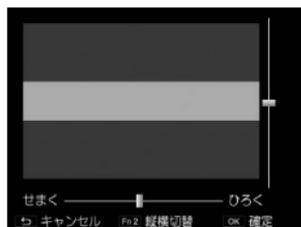
ぼかさない部分 (注目エリア) 以外が半透明のグレーで表示されます。

3 Fn2 ボタンを押す

ぼかす位置と範囲を設定する画面が表示されます。

4 ▲▼ ボタンで注目エリアの位置を移動する

この画面で Fn2 ボタンを押すと、注目エリアの縦・横を変更できます。

**5** ◀▶ ボタンで注目エリアの幅を設定する**6** MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。

**メモ**

- ・ 撮影直後に表示される確認画像と実際の画像では、ぼけ具合が多少異なります。

画像設定

彩度／コントラスト／シャープネス／周辺減光を調節して撮影します。

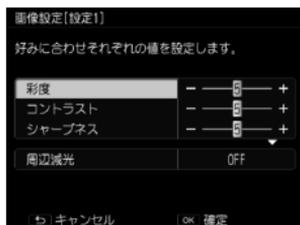
| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|  ビビッド | コントラスト／シャープネス／彩度を [スタンダード] より高くして、硬い感じの画質にします。 |
|  スタンダード | 通常の画質です。 |
|  設定 1/2 | [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] を設定します。 |

1 [撮影設定] メニューで [画像設定] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで設定を選択する
[ビビッド] [スタンダード] を選択した場合は、手順6に進みます。

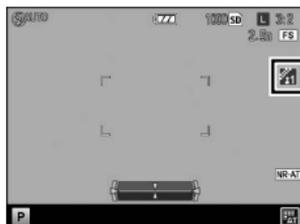
3 Fn2 ボタンを押す

4 ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで値を設定する



5 MENU/OK ボタンを押す
手順2の画面に戻ります。

6 MENU/OK ボタンを押す
撮影画面には、マークが表示されます。



! 注意

- RAW 画像に [画像設定] は反映されません。
- [撮影設定] メニューの [インターバル合成] を設定したときは、[周辺減光] の設定は無効です。

Mメモ

- [キーカスタム設定] メニューで、ADJ. レバーまたは Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに [画像設定] を登録して使用することもできます。
(p.120、p.122)

周辺光量を変更する

[撮影設定] メニューの [周辺光量] で [オリジナル] [ノーマル] が選択できます。[オリジナル] に設定すると、銀塩 GR と同程度の周辺光量で撮影ができます。

[オリジナル] に設定すると、撮影画面にマークが表示されます。

**M**メモ

- RAW 画像は、[再生設定] メニューの [RAW 現像] のパラメーターで [ノーマル] [オリジナル] が選択できます。[ノーマル] で撮影されたインターバル合成の RAW 画像の周辺光量を、[オリジナル] に変更することはできません。

! 注意

- カメラモードでは変更できません。
- [撮影設定] メニューの [クロップ] を設定したときは、効果が現れない場合があります。

その他の撮影機能

静止画に日付を入れる

[撮影設定] メニューの [日付入れ撮影] で [日付] [日時] を選択すると、静止画の右下に日付（年／月／日）または日時（年／月／日 時：分）を入れて撮影できます。

日付入れ撮影を有効にすると、撮影画面にマークが表示されます。



注意

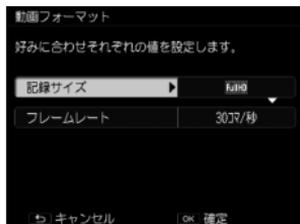
- 日付・時刻が設定されていないときは、[日付入れ撮影] はできません。あらかじめ日付・時刻を設定してください。(p.29)
- RAW 画像と動画に日付は入れられません。
- 画像に入れた日付は削除できません。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影します。
動画は、MOV ファイルで記録されます。

動画のフォーマットを設定する

- 1 モードダイヤルを  に合わせる
 モードになります。
- 2 MENU/OK ボタンを押す
 モードの [撮影設定] メニューが表示されます。
- 3 [動画フォーマット] を選択し、▶ ボタンを押す
- 4 ▲▼◀▶ ボタンで [記録サイズ] [フレームレート] を選択する



以下の設定ができます。記録サイズによって選択できるフレームレートが異なります。

| 記録サイズ | フレームレート (コマ/秒) | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----|----|----|----|
| | 60 | 50 | 30 | 25 | 24 |
|  (1920 × 1080) | × | × | ○ | ○ | ○ |
|  (1280 × 720) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|  (640 × 480) | × | × | ○ | ○ | ○ |

- 5 MENU/OK ボタンを 2 回押す
撮影画面に戻ります。



メモ

- ・ [キーカスタム設定] メニューで Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに、[フレームレート] を登録して使用することもできます。(p.122)

- ・蛍光灯の下で撮影する場合は、画面がちらつくことがあります。☑モードで表示される「撮影設定」メニューの「蛍光灯ちらつき低減」でご使用の地域の電源周波数に設定すると、ちらつきを抑えることができます。

動画を撮影する

1 モードダイヤルを☑に合わせる

2 シャッターボタンを押す

動画の撮影が開始されます。

撮影中は「● REC」が点灯し、記録時間と残り記録時間が表示されます。



3 もう一度シャッターボタンを押す

撮影が終了します。

注意

- ・撮影中にカメラを操作すると、操作音なども記録されます。
- ・☑モードでは、以下の機能は使用できません。
 - ・フラッシュ
 - ・FA・ターゲット移動

メモ

- ・撮影中にFn2ボタンを押すと、記録が一時停止します。もう一度Fn2ボタンを押すと記録が再開します。
- ・1回の撮影で記録できる動画は、最大25分または4GBまでです。
- ・1回あたりの撮影可能時間は、ご使用のメモリーカードによって異なります。(p.164) また撮影可能時間内でも、撮影が終了することがあります。
- ・残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、時間の変化が一定でないことがあります。
- ・動画撮影時は、スピードクラスがClass6以上のメモリーカードを使用してください。
- ・十分に残量のあるバッテリー、または別売りのACアダプター(AC-5c)のご使用をお勧めします。

動画を再生する

1 再生ボタンを押す

再生モードになります。

2 再生ボタンで動画を選択する

マークが付いているファイルが動画です。

最初の1フレーム目が静止画で表示されます。

3 再生ボタンを押す

再生が始まります。

再生経過を示すインジケータと経過時間が表示されます。



以下の操作ができます。

| | |
|---------|-----------------------|
| ▲ ボタン | 一時停止／再開 |
| ▼ ボタン | 停止 |
| +/- ボタン | 音量調節 |
| ◀▶ ボタン | (一時停止中) コマ送り／コマ戻し |
| ◀▶ ボタン | (再生中) 早送り／早戻し |
| Fn2 ボタン | (一時停止中) 静止画 (JPEG) 保存 |

メモ

- ・早送り／早戻しは、ボタンを押すごとに速度が変わります。

動画を切り出す

動画の最初または最後の不要部分を削除して新規保存します。

- 1 再生モードで編集する動画を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- 2 [動画ファイル部分切り出し] を選択し、▶ ボタンを押す
[動画ファイル部分切り出し] 画面が表示されます。

- 3 ADJ. レバーを押して最初または最後を選択する

黄色で表示されたポイントが指定対象になります。

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



- 4 ◀▶ ボタンまたは ADJ. レバーを倒して削除するポイントを移動する

黄色のポイントが移動します。1 秒単位で指定できます。

- 5 MENU/OK ボタンを押す

不要部分が削除された動画が新規保存されます。

2 いろいろな再生

一覧表示する

再生モードで **Q (+)** / **Q (-)** ボタンを押すと、複数の画像を一覧表示できます。



一覧表示では、以下の操作ができます。

| | |
|-----------|----------------------|
| ▲▼◀▶ ボタン | 画像選択 |
| ADJ. レバー | 選択画像を 1 画像表示 |
| DISP. ボタン | 1 画像選択 / ページ送り選択切り替え |

スライドショーで表示する

撮影した画像を順番に表示します。

[再生設定] メニューの [スライドショー] で ▶ ボタンを押すと、スライドショーが始まります。

途中で中止したいときには、いずれかのボタンを押します。中止するまで、繰り返しスライドショーが表示されます。



メモ

- 静止画は 3 秒間ずつ表示されます。
- 動画は撮影した内容がすべて表示されてから次の画像が表示されません。

拡大表示する

静止画を拡大表示できます。



2 1 画像表示のときに、以下の操作ができます。

いろいろな再生

| | |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| Q (+) ボタン/ アップダウンダイヤル右 | 拡大 |
| ☒ (-) ボタン/ アップダウンダイヤル左 | (拡大表示中) 縮小 |
| ▲▼◀▶ ボタン | (拡大表示中) 拡大位置を移動 |
| ADJ. レバー押す/ MENU/OK ボタン (拡大表示中) | [セットアップ] メニューの [ワンプッシュ拡大表示倍率] で設定した倍率(4倍/8倍/16倍)に拡大 |
| ADJ. レバー倒す | (拡大表示中) 倍率を維持したまま前後の画像を表示 (動画を表示すると等倍に戻る) |
| DISP. ボタン | (拡大表示中) 情報表示あり→なし |



メモ

- ・ [セットアップ] メニューの [ターゲット位置拡大再生] を [ON] に設定すると、撮影時にターゲット移動した位置を中心に拡大表示します。
- ・ 拡大表示の最大倍率は、画像のサイズによって異なります。
- ・ 動画は拡大表示できません。
- ・ [キーカスタム設定] メニューの [再生モードダイヤル設定] で、再生モード時のアップダウンダイヤルと ADJ.レバーの機能を変更できます。

| | アップダウンダイヤル | ADJ. レバー |
|-------------|------------|----------|
| 設定 1 [初期設定] | 拡大表示 | 拡大コマ送り |
| 設定 2 | 拡大位置上下移動 | 拡大位置左右移動 |

ファイルを整理する

削除する

1 ファイルを削除する

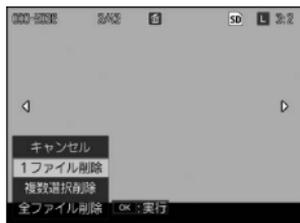
1 再生モードで削除する画像を表示する

2  ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで [1 ファイル削除] を
選択する

◀▶ ボタンで画像を変更できます。

RAW+ で撮影された画像の場合は、[RAW+
JPEG 削除] [JPEG のみ削除] [RAW のみ
削除] が選択できます。



4 MENU/OK ボタンを押す

画像が削除されます。

他の画像も削除する場合は、手順 3～4 を繰り返します。

終了する場合は [キャンセル] を選択します。

すべてのファイルを削除する

1 再生モードで  ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで [全ファイル削除] を選択して MENU/OK ボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

3 ▶ ボタンで [はい] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

複数のファイルを一度に削除する

1 再生モードで  ボタンを押す

20 画像/81 画像表示にしていた場合は、手順 3 に進みます。

- 2 [複数選択削除] を選択し、MENU/OK ボタンを押す
- 3 [1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

- 4 ▲▼◀▶ ボタンで画像を選択して MENU/OK ボタンを押す

サムネイルの左下にゴミ箱のマークが表示されます。

[範囲を指定] の場合は、始点の画像を選択します。

ADJ. レバーを押すと、手順 3 の選択画面に戻ります。

[1 枚ずつ指定] の場合は、手順 6 に進みます。



- 5 ▲▼◀▶ ボタンで終点の画像を選択して MENU/OK ボタンを押す

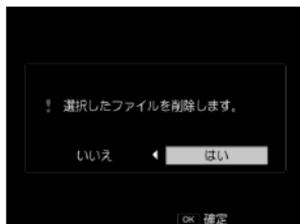
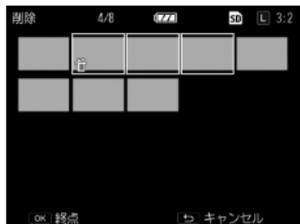
手順 4～5 を繰り返して、範囲をすべて指定します。

- 6 画面 ボタンを押す

削除の確認画面が表示されます。

- 7 ▶ ボタンで [はい] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると元の画面に戻ります。



メモ

- ・フォルダは削除されません。

プロテクトを設定する

画像を誤って削除しないように保護（プロテクト）します。



注意

- ・ [セットアップ] メニューの [初期化] を行うと、プロテクトされた画像も削除されます。

1 ファイルをプロテクトする

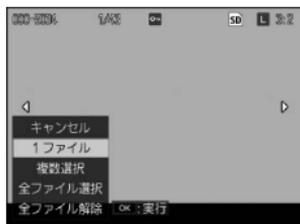
- 再生モードで設定する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- [プロテクト] を選択し、▶ ボタンを押す

- ▲▼ ボタンで [1 ファイル] を選択する

◀▶ ボタンで画像を変更できます。



- MENU/OK ボタンを押す

プロテクトが設定され、再生画面にマークが表示されます。

プロテクトした画像に同じ操作を行うと、プロテクトが解除されます。



全ファイルをプロテクト／解除する

- [再生設定] メニューで [プロテクト] を選択し、▶ ボタンを押す

- [全ファイル選択] [全ファイル解除] を選択して MENU/OK ボタンを押す

複数のファイルを一度にプロテクトする

- 1 [再生設定] メニューで [プロテクト] を選択し、▶ ボタンを押す

20 画像／81 画像表示にしていた場合は、手順 3 に進みます。

- 2 [複数選択] を選択して MENU/OK ボタンを押す

- 3 [1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択して MENU/OK ボタンを押す

- 4 ▲▼◀▶ ボタンで画像を選択して MENU/OK ボタンを押す
サムネイルの右上にプロテクトのマークが表示されます。

[範囲を指定] の場合は、始点の画像を選択します。

ADJ. レバーを押すと、手順 3 の選択画面に戻ります。

[1 枚ずつ指定] の場合は、手順 6 に進みます。

- 5 ▲▼◀▶ ボタンで終点の画像を選択して MENU/OK ボタンを押す

手順 4～5 を繰り返して、範囲をすべて指定します。

すでにプロテクトが設定されている画像を選択すると、プロテクトが解除されます。



- 6 Fn2 ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると元の画面に戻ります。

内蔵メモリーの画像をカードへコピーする

内蔵メモリーに記録した画像をメモリーカードへコピーします。

1 メモリーカードをセットする

2 [再生設定] メニューの [内蔵メモリーからカードへコピー] を選択し、▶ ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると元の画面に戻ります。

注意 -----

- コピー先のメモリーカードの容量が足りない場合は、容量不足を示すメッセージが表示されます。
- メモリーカードから内蔵メモリーへコピーすることはできません。

補正・加工する

撮影した画像を補正・加工し、新規に保存します。

注意

- 補正・加工ができるのは、本力カメラで撮影した JPEG 画像のみです。RAW 画像と動画、動画から保存した静止画は補正・加工できません。
- 補正・加工を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

画像サイズを縮小する

[再生設定] メニューの [画像サイズ変更] は、静止画を **S** または **XS** に縮小します。

トリミングする

画像の周囲を切り取って保存します。

1 再生モードでトリミングする画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [トリミング] を選択し、▶ ボタンを押す

3 トリミングする範囲を指定する



以下の操作ができます。

| | |
|----------|------------------------------------|
| +/- ボタン | トリミングサイズ変更 |
| ▲▼◀▶ ボタン | トリミング枠の移動 |
| ADJ. レバー | トリミング枠のアスペクト比を変更 (4:3 / 3:2 / 1:1) |
| Fn2 ボタン | 操作方法の説明を表示 |

4 MENU/OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新規保存されます。



メモ

- ・トリミング後の画像サイズは、元画像のサイズとトリミング枠の大きさによって異なります。

斜めから撮影した画像を補正する

斜め方向から撮影した掲示板や名刺などの四角い被写体を、正面から撮影したように補正します。

1 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

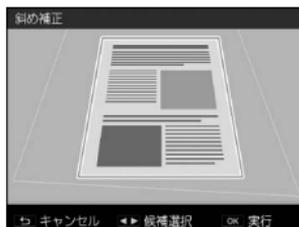
2 [斜め補正] を選択し、▶ ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正対象として認識した最大5つのエリアが黄色の枠で表示されます。

エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

3 ◀▶ ボタンで補正エリアを選択する

補正をキャンセルする場合は、↶ ボタンを押します。



4 MENU/OK ボタンを押す

選択したエリアの斜め補正が行われ、枠外の部分はトリミングされます。



注意

- ・画像サイズが大きい場合は、補正処理に時間がかかります。

明度・コントラストを補正する（レベル補正）

撮影した静止画の明度やコントラストを補正します。

- 1** 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- 2** [レベル補正] を選択し、▶ ボタンを押す

- 3** [AUTO] [MANUAL] を選択し、▶ ボタンを押す

左上に元画像、右に補正画像が表示されます。

補正できない画像を選択すると、エラーメッセージが表示されて [再生設定] メニューに戻ります。

[AUTO] を選択した場合は、手順 6 に進みます。

- 4** ADJ. レバーを押してヒストグラムのポイントを切り替える

左端・中央・右端のポイントを切り替えられます。

ヒストグラムの縦軸は画素数、横軸は左からシャドー・中間調・ハイライトを表しています。



ポイント

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

- 5** ◀▶ ボタンでポイントを調整する

- 6** MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。



補正例

全体的な明るさを調整する

- 中央のポイントを左に移動すると全体的に明るくなり、右に移動すると全体的に暗くなります。



露出オーバー／アンダーの画像を補正する

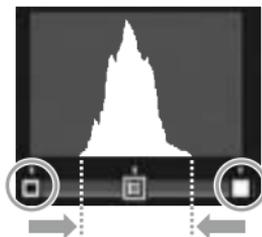
- 露出オーバーの場合は、左側のポイントを右に移動し、ヒストグラムの山の左端に合わせます。
- 露出アンダーの場合は、右側のポイントを左に移動し、ヒストグラムの山の右端に合わせます。
- この状態で中央のポイントを左右に移動すると、全体的な明るさを調整できます。



露出オーバーの場合

コントラストをはっきりさせる

- ヒストグラムの山が中央寄りに集中しています。左右のポイントを移動してそれぞれヒストグラムの両端に合わせると、明るい部分と暗い部分をはっきりした画像になります。
- この状態で中央のポイントを左右に移動すると、全体的な明るさを調整できます。



ホワイトバランスを補正する

静止画の色調を補正します。

- 1 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

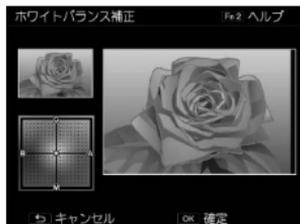
- 2 [ホワイトバランス補正] を選択し、▶ ボタンを押す

[ホワイトバランス補正] 画面が表示されます。

- 3 ▲▼◀▶ でポイントを調整する

リセットする場合は、↶ ボタンを押します。もう一度 ↶ ボタンを押すと、補正がキャンセルされます。

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



- 4 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。

色モアレを補正する

静止画に発生した色干渉を軽減します。

1 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [色モアレ補正] を選択し、▶ ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで [弱] [中] [強] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。



⚠ 注意

- 画像によっては正しく補正されない場合があります。
- 色モアレ補正を実行すると、色抜けや色にじみが発生する場合があります。

RAW 画像を現像する

RAW 画像を JPEG 形式に変換して新規保存します。ホワイトバランスやエフェクトなどを設定して保存できます。

1 再生モードで RAW 画像を選択して MENU/OK ボタンを押す
[再生設定] メニューが表示されます。

2 [RAW 現像] を選択し、▶ ボタンを押す
[RAW 現像] 画面が表示されます。

3 ▲▼ ボタンでパラメーターを選択し、▶ ボタンを押す



以下の設定ができます。

- ・ 画像サイズ
- ・ ホワイトバランス
- ・ 明るさ補正
- ・ エフェクト
- ・ 画像設定
- ・ ダイナミックレンジ補正
- ・ 色モアレ補正
- ・ アスペクト比
- ・ ノイズリダクション
- ・ 色空間設定
- ・ 周辺光量

撮影時の設定が、最初に選択されています。

4 ▲▼ ボタンで設定を選択し、◀ ボタンを押す
[ホワイトバランス] は、▶ ボタンを押すとホワイトバランス補正ができます。

[エフェクト] [画像設定] は、▶ ボタンを押すと詳細設定ができます。

5 すべての設定が終わったら MENU/OK ボタンを押す
JPEG 画像が新規保存されます。



メモ

- ・ [ホワイトバランス] の [マルチパターン AUTO] [手動設定] は、撮影時に設定していた場合のみ選択できます。
- ・ [ダイナミックレンジ補正] [ノイズリダクション] は、[OFF] [弱] [中] [強] から選択します。
- ・ [アスペクト比] は、[撮影画像フォーマット] が [3:2] で撮影された画像のみ選択できます。
- ・ 撮影時に [エフェクト] の [シフトクロップ] を設定して撮影した RAW 画像は、他のエフェクトを選択できません。また他のエフェクトで撮影した RAW 画像に、[シフトクロップ] は設定できません。
- ・ 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、パソコンで RAW 現像ができます。(p.130)



注意

- ・ [周辺光量] を [ノーマル] で設定し、インターバル合成で撮影した RAW 画像の場合は、周辺光量を [オリジナル] に変更できません。

AV 機器で再生する

テレビ等の AV 機器に接続して画像を再生することができます。

接続する機器の映像入力端子によって、別売りのケーブルを用意してください。

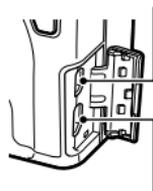
| AV 機器の端子 | ケーブル | カメラの接続端子 |
|----------|------------------|-----------------|
| ビデオ端子 | AV ケーブル (AV-1) | USB・AV OUT 兼用端子 |
| HDMI 端子 | HDMI ケーブル (HC-1) | HDMI マイクロ出力端子 |

1 AV 機器の映像入力端子にケーブルを接続する

2 カメラの電源がオフになっていることを確認する

3 カメラの端子カバーを開けてケーブルを接続する

USB・AV OUT 兼用端子または HDMI マイクロ出力端子のどちらかに接続します。



HDMI マイクロ出力端子

4 AV 機器の入力切り替えで、カメラを接続した端子に設定する
詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

5 カメラの電源をオンにする

注意

- AV ケーブル/HDMI ケーブルで接続しているときは、画像モニターは表示されません。
- 動画の音声は AV 機器から出力されます。音量調整は AV 機器で行ってください。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、「白とび警告表示」は表示されません。



メモ

- AV ケーブルで接続するときは、AV 機器のビデオ方式を確認してください。本カメラのご購入時の設定は、国や地域によって異なります。変更するときは、[セットアップ] メニューの [ビデオ方式] で設定します。
- HDMI ケーブルの取り付け/取り外しを行うと、1 画像表示になります。
- HDMI 出力時の解像度は [AUTO] に設定されています。AV 機器に表示される画像の解像度が低いときは、[セットアップ] メニューの [HDMI 出力] で設定を変更してください。

DPOF を設定する

メモリーカードに記録した静止画は、プリントサービス取扱店でプリント注文ができます。

1 再生モードで設定する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [DPOF] を選択し、▶ ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで [1 ファイル] [全ファイル選択] を選択する

[1 ファイル] の場合は、◀▶ ボタンで画像を選択できます。

[全ファイル解除] を選択すると、全画像の DPOF 設定を解除できます。

4 MENU/OK ボタンを押す

DPOF が設定され、再生画面にマークが表示されます。

注意

- 以下の場合は、DPOF を設定できません。
 - RAW 画像
 - 動画
 - 内蔵メモリーに記録されている画像
 - メモリーカードが「LOCK」されているとき

複数の静止画に DPOF を設定する

複数の画像を指定したり、印刷枚数を指定するときは、一覧表示の状態で設定します。

1 再生モードで **一** ボタンを押す

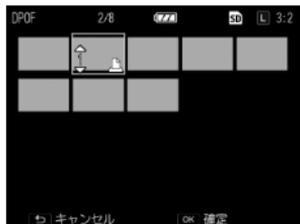
20 画像表示になります。

2 [再生設定] メニューの [DPOF] を選択し、**▶** ボタンを押す

3 **◀▶** ボタンで設定する画像を選択し、 **▲▼** ボタンで印刷枚数を指定する

DPOF 設定を示すマークが表示されます。

設定を解除するときは、印刷枚数を [0] に指定します。



4 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると 20 画像表示に戻ります。

3 カメラの設定を変更する

カメラをカスタマイズする

Fn ボタンや ADJ. レバーの機能を変更したり、モードダイヤル MY1 / MY2 / MY3 に設定が登録できます。

撮影設定を登録する (マイセッティング)

現在のカメラの設定を「マイセッティング」として登録し、自分好みの設定を簡単に呼び出して撮影ができます。

設定は以下の場所に登録できます。

| | |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| MY1 / MY2 / MY3 | モードダイヤルの MY1 / MY2 / MY3 に登録します。 |
| マイセッティング BOX | カメラに 6 種類の設定が登録できます。 [マイセッティング呼び出し] (p.116) で [MY1] [MY2] [MY3] に割り付けて使用します。登録した設定には名前を付けることができます。(p.119) |

以下の項目が登録できます。

カメラの設定

- ・ 撮影モード
- ・ Av / Tv / TAv / M モード時の絞り値 / シャッタースピード
- ・ セルフタイマー
- ・ マニュアルフォーカスのフォーカス位置
- ・ マクロ
- ・ フラッシュモード

【撮影設定】メニュー

[多重露光撮影] [インターバル撮影] [インターバル合成] [絞り自動シフト] [シャッタースピード自動シフト] [シャッター & 絞り自動シフト] [撮影モード切替] [撮影設定初期化] 以外

【キーカスタム設定】メニュー

- ・ Fn1 ボタン設定
- ・ Fn2 ボタン設定
- ・ エフェクトボタン設定
- ・ AFL フォーカス設定

【セットアップ】メニュー

- ・ ISO 感度ステップ設定
- ・ 水準器設定
- ・ ISO AUTO-HI 設定
- ・ グリッドガイド表示設定
- ・ AF モード

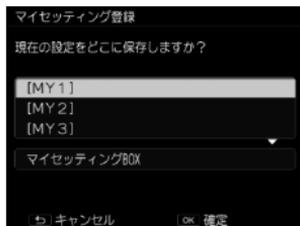
1 登録する機能を設定する

2 【キーカスタム設定】メニューの【マイセッティング登録】を選択し、▶ ボタンを押す

【マイセッティング登録】画面が表示されます。

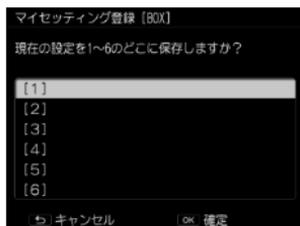
3 登録する場所を選択し、MENU/OK ボタンを押す

[MY1] [MY2] [MY3] を選択すると、それぞれのモードダイヤルに登録されます。



マイセッティング BOX に保存するときは【マイセッティング BOX】を選択して▶ ボタンを押し、登録する番号を選択します。

未登録の場所を選択すると、現在日時の名称で登録されます。



すでに名称が付いている場所を選択すると、名称設定の画面が表示されます。【はい】を選択すると、現在の名前そのまま設定が登録されます。【いいえ】を選択すると、現在日時の名称で登録されます。

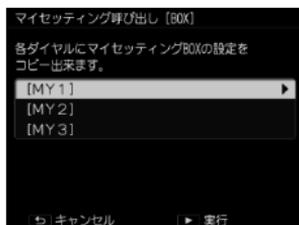
設定が登録されると、【キーカスタム設定】メニューに戻ります。

マイセッティングの設定を呼び出す

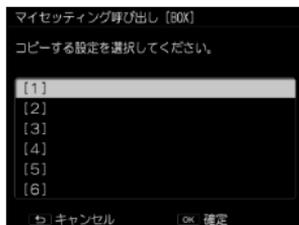
[マイセッティング BOX] に登録した内容を、モードダイヤル MY1 / MY2 / MY3 に割り付けます。

- 1 [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング呼び出し] を選択し、▶ ボタンを押す
[マイセッティング呼び出し] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ ボタンで割り付けるダイヤルを選択し、▶ ボタンを押す



- 3 マイセッティングが登録されているマイセッティング BOX の番号を選択し、MENU/OK ボタンを押す
選択したマイセッティングがモードダイヤルに登録され、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。



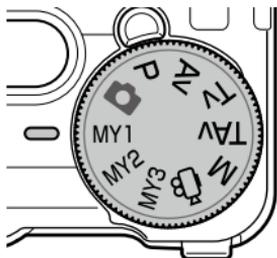
メモ

- ・ [マイセッティング BOX] に登録した内容は、内蔵メモリーを初期化しても消去されません。

マイセッティングモードで撮影する

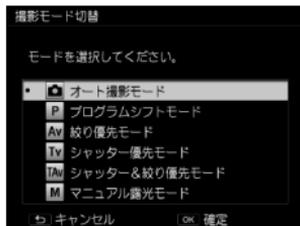
1 モードダイヤルを MY1 / MY2 / MY3 に合わせる

マイセッティングの設定で撮影できるようになります。



登録した撮影モードのマーク

2 撮影モードを一時的に変更するときは、[撮影設定]メニューの[撮影モード切替]を選択する



メモ

- ・マイセッティングモードで変更した設定は、撮影モードを切り替えるか電源をオフにすると、元の MY1 / MY2 / MY3 の登録内容に戻ります。
- ・マイセッティングに登録した撮影モードが  モードのときは、手順 2 の操作はできません。

3

カメラの設定を変更する

マイセッティングを編集する

マイセッティングの登録内容を編集します。

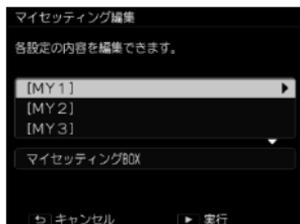
- 1** [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング編集] を選択し、▶ ボタンを押す

[マイセッティング編集] 画面が表示されます。

- 2** 編集したいマイセッティングを選択し、▶ ボタンを押す

マイセッティング BOX に保存したマイセッティングを編集するときは ▶ ボタンを押し、番号を選択します。

設定項目の一覧が表示されます。



- 3** ▲▼ ボタンで編集したい項目を選択し、▶ ボタンを押す

▲▼ ボタンで設定を変更します。



- 4** ◀ ボタンで内容を決定する

手順 3～4 を繰り返します。

- 5** MENU/OK ボタンを押す

編集内容が保存され、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。

3

カメラの設定を変更する

マイセッティングの名称を変更する

- 1 p.118 の手順 3 の画面で [マイセッティング名称] を選択し、
▶ ボタンを押す

[マイセッティング名称] 画面が表示され、文字入力エリアに現在の名称が表示されます。

新規に名称を指定する場合は、手順 3 に進みます。



3

カメラの設定を変更する

- 2 ◀▶ ボタンで編集する位置にカーソルを移動する
- 3 ▼ ボタンを押す
文字選択エリアにカーソルが移動します。
- 4 ▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンで決定する
文字入力エリアのカーソル位置に文字が挿入されます。
文字を削除するときは [削除]、スペースを挿入するときは [空白] を選択します。
入力できる文字は全角カタカナ／半角英数字で、全角 16 文字（半角 32 文字）までです。Fn2 ボタンで文字の種類が変更できます。
- 5 ADJ. レバーを押す
名称が登録されます。



メモ

- ・ [MY1] [MY2] [MY3] の設定を [マイセッティング呼び出し] で割り付けている場合は、マイセッティング BOX の設定を編集すると [MY1] [MY2] [MY3] の設定にも反映されます。
[MY1] [MY2] [MY3] の設定を直接編集したときは、マイセッティング BOX の設定には反映されません。また、その後マイセッティング BOX の設定を編集しても、[MY1] [MY2] [MY3] の設定には反映されなくなります。
- ・ マイセッティングの名称は、モードダイヤルを MY1 / MY2 / MY3 に合わせたとときに表示されます。
- ・ [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング削除] で、マイセッティングの登録を削除することができます。



ADJ. レバーに機能を登録する

ADJ. レバーに撮影機能を登録し、ADJ. レバーの操作で簡単に呼び出すことができます。(ADJ. モード)

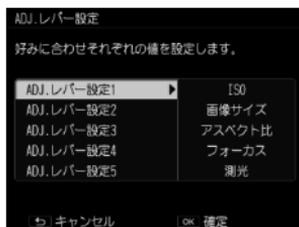
以下の機能が登録できます。

| 機能 | 参照先 |
|-------------|--------------------------|
| OFF | — |
| ISO | ※ [ADJ. レバー 1 初期設定] p.49 |
| 画像サイズ | ※ [ADJ. レバー 2 初期設定] p.54 |
| アスペクト比 | ※ [ADJ. レバー 3 初期設定] p.54 |
| フォーカス | ※ [ADJ. レバー 4 初期設定] p.56 |
| 画像設定 | p.88 |
| 測光 | ※ [ADJ. レバー 5 初期設定] p.52 |
| 連写 | p.72 |
| オートブラケット | p.73 |
| 調光補正 | p.81 |
| マニュアル発光量 | p.82 |
| D レンズ補正 | p.51 |
| スナップフォーカス距離 | p.58 |
| エフェクト | p.83 |

- 1 [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] を選択し、
▶ ボタンを押す
[ADJ. レバー設定] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ ボタンで [ADJ. レバー設定 1] ~ [ADJ. レバー設定 5]
を選択し、▶ ボタンを押す

- 3 ▲▼ ボタンで登録する機能を選択し、◀ ボタンを押す
手順 2 ~ 3 を繰り返します。



- 4 MENU/OK ボタンを押す
[キーカスタム設定] メニューに戻ります。

ADJ. モードを利用する

- 1 撮影モードで ADJ. レバーを押す
ADJ. モードになります。

- 2 ◀▶ ボタンで設定したい機能を選択する
ADJ. レバー設定 1 ~ 5 が切り替わります。



- 3 ▲▼ ボタンで値を選択する
- 4 MENU/OK ボタンを押す
選択した機能が設定されます。



メモ

- ・ [キーカスタム設定] メニューの [シャッターボタン確定] を [ON] に設定すると、シャッターボタン半押しで ADJ. モードの設定が確定できます。

Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに機能を登録する

Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに機能を登録すると、ボタンを押すだけで設定を切り替えたり、機能の設定画面を表示することができます。

以下の中から Fn1 / Fn2 / Effect ボタンそれぞれに機能が割り当てられます。

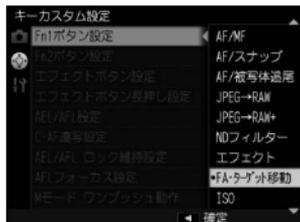
| 機能 | 参照先 |
|----------------------------|------|
| OFF | — |
| 28/35mm | p.55 |
| 28/35/47mm | |
| マルチ AF/ スポット AF | p.56 |
| マルチ AF/ ピンポイント AF | |
| AF/MF | |
| AF/ スナップ | |
| AF/ 被写体追尾 | |
| JPEG → RAW | p.54 |
| JPEG → RAW+ | |
| ND フィルター | p.53 |
| エフェクト ※ [Effect ボタン初期設定] | p.83 |
| FA・ターゲット移動 ※ [Fn1 ボタン初期設定] | p.63 |
| ISO | p.49 |
| 画像サイズ | p.54 |
| アスペクト比 | p.54 |
| フォーカス | p.56 |
| スナップフォーカス距離 | p.58 |
| 画像設定 | p.88 |
| 測光 | p.52 |
| 連写 | p.72 |
| 多重露光 | p.74 |
| オートブラケット | p.73 |
| 調光補正 | p.81 |
| マニュアル発光量 | p.82 |
| D レンジ補正 | p.51 |

| 機能 | 参照先 |
|-------------------------|------|
| セルフタイマー ※ [Fn2 ボタン初期設定] | p.34 |
| フレームレート (動画) | p.91 |

1 [キーカスタム設定] メニューの [Fn1 ボタン設定] [Fn2 ボタン設定] [エフェクトボタン設定] を選択し、▶ ボタンを押す

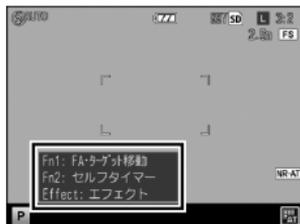
2 ▲▼ ボタンで登録する機能を選択し、◀ ボタンを押す

機能が登録され、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。



メモ

- 電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したときに、現在の Fn1 / Fn2 / Effect ボタンの機能が表示されます。[セットアップ] メニューの [Fn ボタン設定表示] を [OFF] に設定すると、表示されません。



その他の設定を変更する

画像モニターの明るさを調節する

画像モニターの明るさを調整します。

初期設定は [AUTO] に設定されており、周囲の明るさに応じて自動調整されています。

1 [セットアップ] メニューの [画像モニター輝度調節] を選択し、▶ ボタンを押す

2 [AUTO] [MANUAL] を選択する

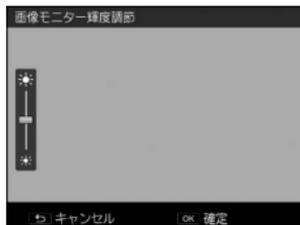
[AUTO] を選択した場合は、MENU/OK ボタンを押して撮影画面に戻ります。

[MANUAL] を選択した場合は、手順3に進みます。

3 ▶ ボタンを押す

[画像モニター輝度調節] 画面が表示されます。

4 ▲▼ ボタンで明るさを調節する



5 MENU/OK ボタンを2回押す
撮影画面に戻ります。

撮影モードの表示内容を設定する

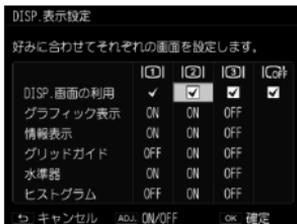
撮影モードで DISP. ボタンを押して表示する内容を、ボタンを押す回数ごとに設定できます。

- 1** [セットアップ] メニューの [DISP. 表示設定] を選択し、▶ ボタンを押す

[DISP. 表示設定] 画面が表示されます。

- 2** ◀▶ ボタンで [DISP. 画面の利用] を設定する

□1 ~ □13 はボタンを押す回数を表し、
□1OFF は画像モニターオフを表します。



- 3** ADJ. レバーで使用／不使用を切り替える

チェックマークが付いていない設定は利用しない（表示されない）設定です。□1 は不使用にできません。

- 4** ▲▼◀▶ ボタンで表示項目を選択し、ADJ. レバーで ON／OFF を切り替える

| | |
|----------|---------------------------------------------------------------------|
| グラフィック表示 | 絞り値／シャッタースピードを変更しているときに、画面下に設定できる値が表示されます。 |
| 情報表示 | 撮影モードや設定等のマークが表示されます。 |
| グリッドガイド | 撮影のためのガイド線を表示します。 グリッドの種類は [セットアップ] メニューの [グリッドガイド表示設定] で選択できます。 |
| 水準器 | カメラの傾きを確認するインジケータを表示します。 |
| ヒストグラム | ヒストグラムを表示します。 |

- 5** MENU/OK ボタンを押す

[セットアップ] メニューに戻ります。

操作音を設定する

[セットアップ] メニューの [操作音] [操作音音量設定] でカメラの操作音の設定ができます。

カメラの操作音は、以下の4種類です。

| | |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シャッター音 | シャッターボタンを押したときに鳴ります。 |
| フォーカスが合ったとき | シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに「ピピッ」という音が鳴ります。 |
| Wi-Fi 設定時 |  ボタンを長押しして、Wi-Fi 機能がオンまたはオフになったときに「ピピッ」という音が鳴ります。 |
| 警告音 | 実行できない操作を行ったときに「ピピピピピ」という音が鳴ります。 |

[操作音] で [すべて] [シャッター音] が選択できます。[シャッター音] に設定すると、フォーカスが合ったときの音が鳴りません。

[操作音音量設定] では、カメラの操作音を OFF / ■□□ (音量小) / ■■□ (音量中) / ■■■ (音量大) から設定できます。

ファイル名/フォルダ名を設定する

画像のファイル名とフォルダ名は、自動的に名前が付きます。

| | |
|-------|-----------------------------|
| ファイル名 | R0000001.JPG ~ R0999999.JPG |
| フォルダ名 | 100 ~ 999 |

ファイル名の番号が R0**9999 を超えると次のフォルダが作成され、ファイル番号は R0**0001 になります。フォルダ番号が 999 のときは、ファイル番号が R0**9999 を超えると、そのメモリーカードでは記録できなくなります。

ファイル名/フォルダ名の付け方は、変更することができます。

フォルダ名を選択する

[セットアップ] メニューの [フォルダ名設定] で、作成するフォルダ名を選択できます。

| | |
|-----|--------------------------|
| 連番 | 100 ~ 999 |
| 撮影日 | ***_MMDD (フォルダ番号 3 桁_月日) |

ファイル名を変更する

ファイル名の先頭の 2 文字「R0」を変更することができます。

1 [セットアップ] メニューの [ファイル名変更] を選択し、▶ ボタンを押す

[ファイル名変更] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで文字を選択する

入力できる文字は、半角英数字（大文字のみ）です。



3 ▶ ボタンを押し、2 文字目も同様に選択する

4 MENU/OK ボタンを押す

ファイル名が登録され、[セットアップ] メニューに戻ります。



メモ

- ・ [セットアップ] メニューの [色空間設定] が [AdobeRGB] に設定されているときは、ファイル名の先頭が「_」（アンダーバー）になり先頭の 1 文字のみ反映されます。

ファイル番号の連番を設定する

ファイル名には「R0」のあとに6桁の連番（000001～999999）が付きます。[セットアップ]メニューの[カード連続 No.]で、メモリーカードを入れ替えたときに連番を継続するかどうかを設定できます。

| | |
|-----|------------------------------|
| ON | メモリーカードを入れ替えてもファイル番号を継続 |
| OFF | メモリーカードを入れ替えると「R0**0001」から開始 |

電源を入れ直すと、設定が反映されます。

ファイル番号をリセットする

[セットアップ]メニューの[ファイル番号リセット]で、ファイル番号を「000001」にリセットします。

3

カメラの設定を変更する



メモ

- メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーのファイル番号がリセットされます。



注意

- リセットの対象となるメモリーカードまたは内蔵メモリーに画像が保存されているときは、実行できません。メモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化してから実行してください。

著作権情報を設定する

著作権情報を設定し、撮影時に画像の Exif データに書き込むことができます。

- 1 [セットアップ] メニューの [著作権情報] を選択し、▶ ボタンを押す

[著作権情報] 画面が表示されます。

- 2 ▼ ボタンを押す

文字選択エリアにカーソルが移動します。



- 3 ▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンで決定する

入力できる文字は、半角英数字/記号で 46 文字までです。

Fn2 ボタンで文字の種類が変更できます。

- 4 ADJ. レバーを押す

著作権情報が登録され、[セットアップ] メニューに戻ります。



メモ

- ・画像に記録された著作権情報は、再生画面の「詳細情報表示」で確認できます。

ファームウェアのバージョンを確認する

[セットアップ] メニューの [ファームウェアバージョン確認] で、カメラのファームウェアのバージョンを表示できます。メモリーカードにファームウェア用のファイルがあるときは、ファームウェアのアップデートができます。

バージョンアップ情報は、弊社ホームページを確認してください。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/dc/download/>

4 画像を活用する

画像をパソコンで利用する

撮影した静止画・動画は、カメラとパソコンを USB ケーブルで接続して転送することができます。また RAW 画像は、付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」で現像ができます。

パソコンとの接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

| | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OS | Windows 8.1 (32bit/64bit) / Windows 8 (32bit/64bit) / Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit) |
| CPU | Intel Core 2 Duo 以上 |
| メモリー | 2GB 以上 |
| HDD | インストール時および起動時の空き容量：約 100MB 以上 画像ファイルの保存容量：1 ファイルあたり約 7MB (JPEG) または約 20MB (RAW) 程度 |
| モニター | 1280 × 1024 ドット、24bit カラー以上 |

Macintosh

| | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| OS | OS X 10.10 / 10.9 / 10.8 / 10.7 |
| CPU | Intel Core 2 Duo 以上 |
| メモリー | 2GB 以上 |
| HDD | インストール時および起動時の空き容量：約 100MB 以上 画像ファイルの保存容量：1 ファイルあたり約 7MB (JPEG) または約 20MB (RAW) 程度 |
| モニター | 1280 × 1024 ドット、24bit カラー以上 |



メモ

- ・本カメラで撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTime が必要です。(Windows 8.1 / Windows 8 は、標準搭載の再生ソフトで再生可能)

QuickTime は下記アドレスからダウンロードできます。

<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

画像をパソコンに保存する

付属の USB ケーブルを使用してパソコンと接続します。

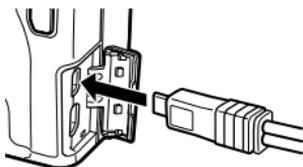
1 カメラの電源をオフにする

2 端子カバーを開けて USB ケーブルで USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを接続する

カメラの電源がオンになり、画像モニターに「PC 接続中」と表示されます。

カメラはリムーバブルディスクとしてパソコンに認識されます。

メモリーカードがセットされているときはメモリーカードのファイル、メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。



3 画像をコピーしてパソコンに保存する

4 保存が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

5 USB ケーブルを取り外す

カメラの電源がオフになります。



メモ-----

- ・パソコンに接続すると、バッテリーの充電が開始されます。
- ・バッテリーの残量が少ないときは、パソコンに認識されるまでに時間がかかることがあります



注意-----

- ・画像の取り込み中は、USB ケーブルを抜かないでください。

通信端末で操作する

カメラと通信端末を Wi-Fi で直接接続し、専用アプリ「Image Sync」を使ってカメラ内の画像を通信端末に表示して取り込むことができます。

Image Sync は iOS と Android に対応しています。Image Sync は、App Store または Google Play ストアからダウンロードしてください。対応 OS などの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。

Wi-Fi を有効にする

電源を入れたときは、Wi-Fi 機能は無効になっています。以下のいずれかの操作で有効に設定します。

- メニューで設定する (p.133)
-  ボタンを長押しする (p.134)
- 通信端末でタッチする (p.134)
-  ボタンを長押しする (p.135)



メモ

- Wi-Fi 機能が有効になると、撮影画面に無線 LAN の通信状態を表すアイコンが表示され、オートフォーカス／フラッシュランプが点滅します。(p.20)
- Wi-Fi 機能を有効に設定しても、電源を入れ直すと無効に戻ります。
- Wi-Fi の通信状態が接続中／画像転送中のときは、オートパワーオフは動きません。未接続／待機中にオートパワーオフに移行したときは、Wi-Fi 機能は無効になります。オートパワーオフから復帰すると、有効になります。
- 再生モードで Wi-Fi 機能が有効のときは、10 秒以上操作しないとスリープに移行します。
- USB 接続中は、Wi-Fi 機能は無効です。
- 本書に掲載している Image Sync の画面イラストは開発途中のものであり、実際の画面と異なる場合があります。また、アプリのバージョンアップ等によって画面構成などが変更されることがあります。
- 通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書等を参照してください。

- GR 専用のアプリ「GR Remote」を使用すると、通信端末を操作して撮影を行うこともできます。
「GR Remote」の導入方法や使い方等の詳細は、下記アドレスを参照してください。

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/products/gr_remote/



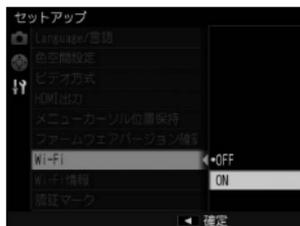
注意

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Wi-Fi を使用しないでください。
- Wi-Fi を使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。
- 無線 LAN 機能を内蔵したメモリーカード（Eye-Fi カードなど）を利用する場合は、電波が干渉することがあるため、カメラの Wi-Fi を無効に設定してください。

メニューで設定する

1 [セットアップ] メニューの [Wi-Fi] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで [ON] を選択する



3 MENU/OK ボタンを押す

元の画面に戻ります。



メモ

- [セットアップ] メニューで、以下の設定ができます。

| | |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| Wi-Fi 情報 | 本カメラの SSID / パスワード / MAC アドレスを表示します。 Fn2 ボタンを押すと、SSID とパスワードを初期設定に戻すことができます。 |
| 認証マーク | 無線 LAN の認証マークを表示します。 |

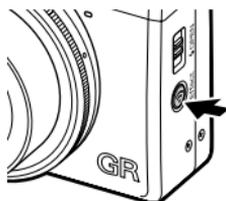
📶 ボタンを長押しする

- 1 [キーカスタム設定] メニューの [エフェクトボタン長押し設定] を [Wi-Fi] に設定する

初期設定は [Wi-Fi] です。

- 2 📶 ボタンを長押しする

電子音が鳴り、撮影画面に Wi-Fi のアイコンが表示されます。



- 3 📶 ボタンから指を放す

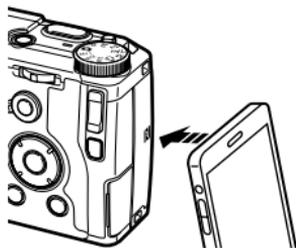
Wi-Fi 機能を無効にするときは、もう一度 📶 ボタンを長押しします。

通信端末でタッチする

NFC 機能を搭載した通信端末をカメラに接触させることで、無線 LAN で接続します。

- 1 通信端末でカメラの NFC マーク部に軽くタッチする

電子音が鳴り、撮影画面に Wi-Fi のアイコンが表示されます。



⚠️ 注意

- ・上記の操作を行う場合は、あらかじめ通信端末側の Wi-Fi 機能と NFC リーダー/ライター機能がオンになっている必要があります。通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書等を参照してください。



メモ

- 通信端末に専用アプリ「Image Sync」がインストールされていた場合は、タッチ操作で Image Sync が起動し、もう一度タッチすると Wi-Fi がオンになります。(p.139) Image Sync がインストールされていない場合は、通信端末にアプリのダウンロードサイトが表示されます。

▶ ボタンを長押しする

電源オフの状態から、再生モードで Wi-Fi 機能を有効にすることができます。

1

電子音が鳴るまで ▶ ボタンを長押しする

再生モードで起動し、Wi-Fi 機能が有効になります。



注意

- 上記の操作を行ったときは、シャッターボタンを押しても撮影モードには切り替わりません。撮影等を行うときは、▶ ボタンを押して電源を切ってから POWER ボタンで電源を入れ直してください。

通信端末で操作する

通信端末とカメラを接続する

カメラと通信端末を Wi-Fi で接続し、通信端末にインストールした Image Sync を起動します。

「Wi-Fi を有効にする」(p.132) を参照し、カメラの Wi-Fi 機能を有効にしておきます。

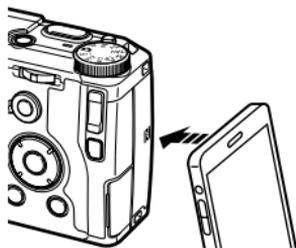
NFC 対応の端末の場合

1 通信端末で無線 LAN (Wi-Fi) 機能と NFC リーダー／ライター機能をオンに設定する

2 通信端末でカメラの NFC マーク部に軽くタッチする

通信端末とカメラが Wi-Fi で接続されます。

Image Sync が起動し、画像一覧が表示されます。



NFC 非対応の端末の場合

1 通信端末で無線 LAN (Wi-Fi) 機能をオンに設定する

2 通信端末で Image Sync を起動する

通信端末に「SSID 選択」画面が表示されます。

- 3** 「SSID 一覧」で「RICOH_xxxxxxx」をタップする
「パスワード入力」画面が表示されます。



- 4** パスワードを入力し、「接続」をタップする
通信端末とカメラがWi-Fiで接続されます。
Image Syncの画面に画像一覧が表示されます。



メモ

- パスワードの初期設定は、[セットアップ]メニューの[Wi-Fi情報]で確認できます。(p.133)

iOS の場合

- 1** 通信端末で無線 LAN (Wi-Fi) 機能オンに設定する
検出されたネットワークの一覧から「RICOH_xxxxxx」をタップする
- 2** パスワードを入力し、「接続」をタップする
通信端末とカメラが Wi-Fi で接続されます。



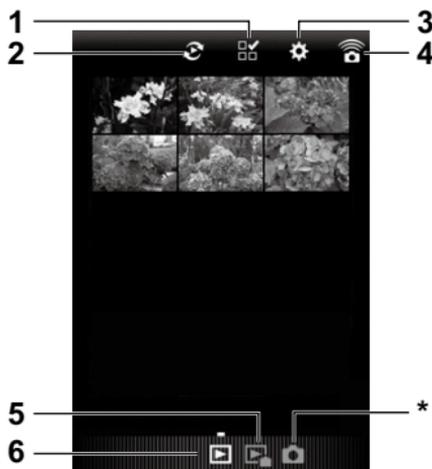
4

画像を活用する

- 3** 通信端末で Image Sync を起動する
Image Sync の画面に画像一覧が表示されます。

画像を閲覧する

Image Sync で通信端末またはカメラ内の画像を閲覧できます。



| | |
|---|----------------------|
| 1 | 複数画像選択 |
| 2 | アルバム切り替え (アプリ画像一覧のみ) |
| 3 | 設定 (p.143) |
| 4 | NFC 接続画面を表示 |
| 5 | カメラ内の画像を表示 |
| 6 | 通信端末の画像を表示 |

* このアイコンは選択できません。

画像をタップすると、画像と撮影情報が表示されます。

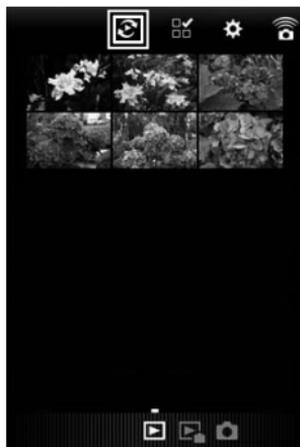
左右にフリックすると、画像を切り替えられます。ピンチアウト／ピンチインで画像の拡大／縮小表示ができます。



アルバムの切り替え

アプリ画像一覧画面で、アプリ内の画像を表示するかギャラリー（またはカメラロール）の画像を表示するかを切り替えます。

1  をタップする

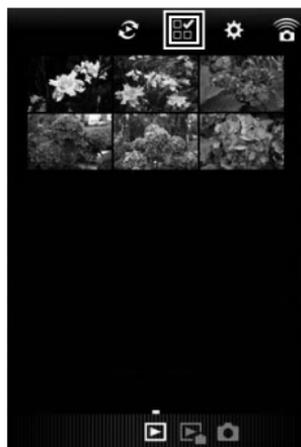


- 2** アルバムを選択する
選択した場所の画像が表示されます。



複数画像の選択

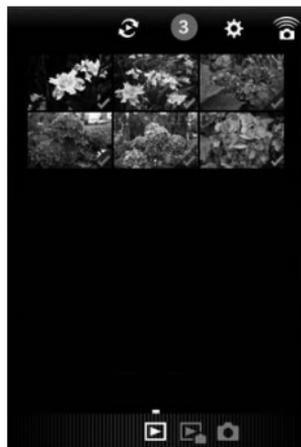
- 1** 品 をタップする



4

画像を活用する

- 2** 選択する画像をタップする
青のチェックマークが表示されます。



- 3** いずれかの画像を長押しする

4

画像を活用する

- 4** 動作を選択する

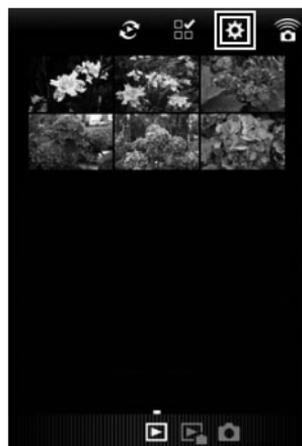


メモ -----

- 一覧表示のときに対象の画像上で長押しすると手順 4 の画面が表示され、動作が選択できます。

設定を変更する

1 をタップする



[設定] 画面が表示されます。

以下の設定ができます。

| | |
|-----------|------------------|
| カメラの電源を切る | カメラの電源をオフにします。 |
| 一般設定 | 通信設定／言語設定を変更します。 |



4

画像を活用する

2 通信設定や言語表示を変更するときは「一般設定」をタップする

3 設定する項目をタップする



| | |
|------|------------------------------------------------------|
| 通信設定 | パスワードと無線チャンネルの変更ができます。 |
| 情報表示 | アプリケーションのバージョン、カメラの機種名、SSID、MAC アドレス、無線チャンネルが確認できます。 |
| 言語設定 | 日本語 / English が選択できます。 |

4 設定が終わったら ← を 2 回タップする

5 メニュー一覧

機能は主にメニューで設定します。

以下のメニューがあります。（「設定値」内の下線は初期設定）

【撮影設定】メニュー

撮影時の設定を行います。撮影モードのときに表示されます。モードダイヤルの位置によって選択できる項目が異なります。



| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| フォーカス | マルチ AF / スポット AF / ピンポイント AF / 被写体追尾 AF / MF / スナップ / ∞ | p.56 |
| スナップ時フォーカス距離 | 1m / 1.5m / 2m / <u>2.5m</u> / 5m / ∞ | p.58 |
| フルプレススナップ | OFF / <u>ON</u> / ON ISO AUTO-HI | p.66 |
| FA・ターゲット移動 | ターゲット移動設定：AE・AF / <u>AF</u> / AE フォーカスアシスト設定： <u>OFF</u> / MODE1 / MODE2 / MODE3 / MODE4 拡大表示設定：部分拡大 / 全体拡大 | p.63 |
| 測光 | マルチ / 中央 / スポット | p.52 |
| 撮影画像フォーマット | フォーマット・サイズ： <u>RAW</u> / RAW+ / <u>L</u> / <u>M</u> / <u>S</u> / <u>XS</u> アスペクト比： <u>3:2</u> / 4:3 / 1:1 | p.54 |

| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 動画フォーマット *1 | 記録サイズ： <u>FullHD</u> / <u>HD</u> / <u>VGA</u> フレームレート：60 コマ / 秒 / 50 コマ / 秒 / <u>30 コマ / 秒</u> / 25 コマ / 秒 / 24 コマ / 秒 | p.91 |
| エフェクト | OFF / 白黒 / 白黒 (TE) / ハイコントラスト白黒 / クロスプロセス / ポジフィルム調 / プリーチバイパス / レトロ / ミニチュアライズ / シフトクロップ / ハイキー / HDR 調 / 明瞭コントロール / 光沢コントロール / かすか / 雅 (MIYABI) / 鮮やか / 人物 | p.83 |
| 画像設定 | ビビッド / <u>スタンダード</u> / 設定 1 / 設定 2 | p.88 |
| クロップ | OFF / 35mm / 47mm | p.55 |
| 日付入れ撮影 | OFF / 日付 / 日時 | p.90 |
| 周辺光量 *2 | オリジナル / <u>ノーマル</u> | p.89 |
| 連写 | OFF / 連写 | p.72 |
| オートブラケット | OFF / AE-BKT 1/3EV / AE-BKT 1/2EV / WB-BKT / WB-BKT プリセット / Effect-BKT / DR-BKT / CONTRAST-BKT | p.73 |
| 多重露光撮影 | 自動露出： <u>OFF</u> / <u>ON</u> 1 枚ずつ保存： <u>OFF</u> / <u>ON</u> 途中経過保存： <u>OFF</u> / <u>ON</u> | p.74 |
| インターバル撮影 | <u>00 分 01 秒</u> ~ 60 分 00 秒 1 ~ ∞ 枚 | p.76 |
| インターバル合成 *3 | 撮影間隔： <u>最短</u> ~ 60 分 画像保存： <u>OFF</u> / 1 枚ずつ保存 / 途中経過保存 | p.77 |
| カスタムセルフ | 撮影枚数：1 ~ 10 枚 [<u>2 枚</u>] 撮影間隔：5 ~ 10 秒 [<u>5 秒</u>] | p.35 |

| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| ホワイトバランス | AUTO/ <u>マルチパターン</u> AUTO/ 屋外/日陰/曇天/白熱灯 1/ 白熱灯 2/昼光色蛍光灯/昼白色蛍 光灯/白色蛍光灯/電球色蛍光灯/ CTE/CT/手動設定 | p.67 |
| ISO 感度・NR | ISO 感度: <u>AUTO</u> / AUTO-HI/ ISO 100 ~ ISO 25600 ノイズリダクション: OFF/ <u>AUTO</u> / MANUAL | p.49 |
| 露出補正 | -4.0 ~ +4.0 | p.48 |
| ND フィルター | OFF/ <u>AUTO</u> / ON | p.53 |
| ダイナミックレンジ補正 | <u>OFF</u> / AUTO / 弱 / 中 / 強 | p.51 |
| 長秒時ノイズ低減 | OFF / <u>ON</u> | p.47 |
| 絞り自動シフト *4 | <u>OFF</u> / ON | p.44 |
| シャッター速度自動シフト *5 | <u>OFF</u> / ON | p.44 |
| シャッター&絞り自動シフト *6 | <u>OFF</u> / 絞り優先 / シャッター優先 | p.44 |
| フラッシュ調光補正 | -2.0 ~ +2.0 | p.81 |
| フラッシュマニュアル発光量 | FULL / 1/1.4 / <u>1/2</u> / 1/2.8 / 1/4 / 1/5.6 / 1/8 / 1/11 / 1/16 / 1/22 / 1/32 / 1/64 | p.82 |
| フラッシュシンクロ設定 | <u>先幕</u> / 後幕 | p.82 |
| ワイヤレス発光チャンネル | <u>CH.1</u> / CH.2 / CH.3 / CH.4 | p.170 |
| P モード選択 *7 | <u>ノーマル</u> / 開放優先 | p.44 |
| 蛍光灯ちらつき低減 *1 | <u>OFF</u> / 50Hz / 60Hz | p.92 |
| 撮影モード切替 *8 |  / P / Av / Tv / TAv / M | p.117 |
| 撮影設定初期化 | — | p.154 |

- * 1 モードダイヤルが  のときのみ表示されます。
- * 2 モードダイヤルが P / Av / Tv / TAv / M /  のときのみ表示されます。
- * 3 モードダイヤルが Av / Tv / TAv / M のときのみ表示されます。
- * 4 モードダイヤルが Av のときのみ表示されます。
- * 5 モードダイヤルが Tv のときのみ表示されます。
- * 6 モードダイヤルが TAv のときのみ表示されます。
- * 7 モードダイヤルが P / M のときのみ表示されます。
- * 8 モードダイヤルが MY1 / MY2 / MY3 のときのみ表示されます。

【再生設定】メニュー

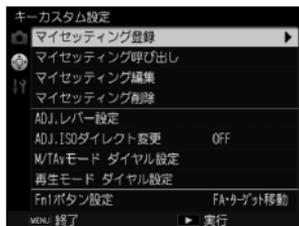
再生モードのときに表示されます。画像の管理や補正を行います。

| 項目 | 参照先 |
|-----------------|-------|
| RAW 現像 | p.108 |
| レベル補正 | p.104 |
| ホワイトバランス補正 | p.106 |
| 色モアレ補正 | p.107 |
| トリミング | p.102 |
| 画像サイズ変更 | p.102 |
| 斜め補正 | p.103 |
| 動画ファイル部分切り出し | p.94 |
| スライドショー | p.95 |
| プロテクト | p.99 |
| DPOF | p.112 |
| 内蔵メモリーからカードへコピー | p.101 |



【キーカスタム設定】メニュー

よく使用する撮影設定の登録や、ボタン／レバーの機能が変更できます。

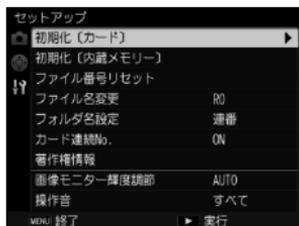


| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| マイセッティング登録 | MY1 / MY2 / MY3 / マイセッティングBOX [1] ~ [6] | p.114 |
| マイセッティング呼び出し | — | p.116 |
| マイセッティング編集 | — | p.118 |
| マイセッティング削除 | — | p.120 |
| ADJ. レバー設定 | OFF / ISO [ADJ. レバー設定 1] / 画像サイズ [ADJ. レバー設定 2] / アスペクト比 [ADJ. レバー設定 3] / フォーカス [ADJ. レバー設定 4] / 画像設定 / 測光 [ADJ. レバー設定 5] / 連写 / オートブラケット / 調光補正 / マニュアル発光量 / D レンズ補正 / スナップフォーカス距離 / エフェクト | p.120 |
| ADJ. ISO ダイレクト変更 | ON / OFF | p.50 |
| M/TAv モードダイヤル設定 | 設定 1 / 設定 2 | p.44 |
| 再生モードダイヤル設定 | 設定 1 / 設定 2 | p.96 |

| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| Fn1 ボタン設定 Fn2 ボタン設定 エフェクトボタン設定 | OFF / 28/35mm / 28/35/47mm / マルチ AF / スポット AF / マルチ AF / ピンポイント AF / AF/MF / AF / スナップ / AF / 被写体追尾 / JPEG → RAW / JPEG → RAW+ / ND フィルター / エフェクト [エフェクトボタン設定] / FA・ターゲット移動 [Fn1 ボタン設定] / ISO / 画像サイズ / アスペクト比 / フォーカス / スナップフォーカス距離 / 画像設定 / 測光 / 連写 / 多重露光 / オートブラケット / 調光補正 / マニュアル発光量 / D レンジ補正 / セルフタイマー [Fn2 ボタン設定] / フレームレート | p.122 |
| エフェクトボタン長押し設定 | Wi-Fi / 絞りプレビュー | p.47 p.134 |
| AEL/AFL 設定 | AFL / AEL・AFL / AEL | p.60 |
| C-AF 連写設定 | OFF / AF 優先連写 / コマ速度優先連写 | p.62 |
| AEL/AFL ロック維持設定 | ON / OFF | p.61 |
| AFL フォーカス設定 | OFF / マルチ AF / スポット AF / ピンポイント AF | p.60 |
| M モードワンプッシュ動作 | 絞り優先 / シャッター優先 / プログラム | p.48 |
| シャッターボタン確定 | ON / OFF | p.48 p.121 |
| キーカスタム設定初期化 | — | p.154 |

【セットアップ】メニュー

カメラの全般的な動作を設定します。



| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 初期化 [カード] | — | p.24 |
| 初期化 [内蔵メモリー] | — | — |
| ファイル番号リセット | — | p.128 |
| ファイル名変更 | R0 | p.127 |
| フォルダ名設定 | 連番 / 撮影日 | p.127 |
| カード連続 No. | ON / OFF | p.128 |
| 著作権情報 | — | p.129 |
| 画像モニター輝度調節 | AUTO / MANUAL | p.124 |
| 操作音 | すべて / シャッター音 | p.126 |
| 操作音音量設定 | OFF / 小 / 中 / 大 | p.126 |
| オートパワーオフ | OFF / 1 ~ 30 分 (5 分) | p.28 |
| スリープ | OFF / 1 ~ 30 分 | p.28 |
| 画像モニター節電 | ON / OFF | p.28 |
| 電源ボタンランプ | ON / OFF | p.28 |
| ISO 感度ステップ設定 | 1EV / 1/3EV | p.49 |
| ISO AUTO-HI 設定 | 上限 ISO 感度：ISO 200 / ISO 400 / ISO 800 / ISO 1600 / ISO 3200 / ISO 6400 / ISO 12800 / ISO 25600 下限 ISO 感度：ISO 100 / ISO 200 / ISO 400 / ISO 800 / ISO 1600 / ISO 3200 / ISO 6400 / ISO 12800 切り替えシャッター速度：AUTO / 1/2 / 1/4 / 1/8 / 1/15 / 1/30 / 1/60 / 1/125 / 1/250 | p.49 |

| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| AF 補助光 | <u>ON</u> /OFF | — |
| AF モード | <u>ノーマル</u> /高速 | p.57 |
| 水準器設定 | OFF/ <u>水平+アオリ</u> /水平 | p.37 |
| 水準器 (アオリ方向) キャリブレーション | 設定初期化/キャリブレーション | p.37 |
| コンバージョンレンズ | <u>OFF</u> /WIDE | p.166 |
| ピクセルマッピング | — | p.160 |
| 画像確認時間 | OFF/ <u>0.5 秒</u> / 1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / HOLD | p.34 |
| グリッドガイド表示設定 | <u>グリッド1</u> /グリッド2/グリッド3 | p.125 |
| DISP. 表示設定 | DISP. 画面の利用/グラフィック表示/情報表示/グリッドガイド/水準器/ヒストグラム | p.125 |
| 情報表示モード | ON/ <u>OFF</u> | p.21 p.44 |
| Fn ボタン設定表示 | <u>ON</u> /OFF | p.123 |
| 縦横自動回転再生 | <u>ON</u> /OFF | p.38 |
| 白とび警告表示 | ON/ <u>OFF</u> | p.22 |
| ワンプッシュ拡大表示倍率 | 4 倍/ <u>8 倍</u> /16 倍 | p.96 |
| ターゲット位置拡大再生 | <u>ON</u> /OFF | p.96 |
| 再生順序設定 | ファイル番号/ <u>撮影日時</u> | p.38 |
| 再生アニメーション | <u>ON</u> /OFF | p.38 |
| 日時設定 | — | p.29 |
| Language/ 言語 *1 | <u>日本語</u> /英語/フランス語/ドイツ語/スペイン語/ポルトガル語/イタリア語/オランダ語/デンマーク語/スウェーデン語/フィンランド語/チェコ語/ハンガリー語/ロシア語/トルコ語/ギリシャ語/ポーランド語/タイ語/韓国語/中国繁体語/中国簡体語 | p.29 |
| 色空間設定 | <u>sRGB</u> /AdobeRGB | — |

| 項目 | 設定値 | 参照先 |
|--------------------|----------------------------|-------|
| ビデオ方式 *1 | NTSC / PAL | p.111 |
| HDMI 出力 | AUTO / 1080i / 720P / 480P | p.111 |
| メニューカーソル位置保持 | ON / OFF | p.154 |
| ファームウェアバージョン 確認 | — | p.129 |
| Wi-Fi | OFF / ON | p.133 |
| Wi-Fi 情報 | — | p.133 |
| 認証マーク | — | p.133 |

*1 初期設定は、国や地域によって異なります。



メモ

- [インターバル撮影] [カスタムセルフ] は、電源をオフにすると設定値が初期設定に戻ります。それ以外の機能は、設定値が保持されます。
- [撮影設定] メニューで設定した項目は、[撮影設定] メニューの [撮影設定初期化] で初期設定に戻すことができます。
- [キーカスタム設定] メニューで設定した項目は、[キーカスタム設定初期化] で初期設定に戻すことができます。[マイセッティング登録] の内容は初期化されません。
- [セットアップ] メニューの [メニューカーソル位置保持] を [ON] に設定すると、最後に選択していた項目のカーソル位置が記憶され、次にメニューを表示したときにその項目が最初に表示されます。

お困りのときは

エラーメッセージ

画像モニターにエラーメッセージが表示されたときは、以下の方法で対処してください。

| エラーメッセージ | 原因と対応方法 | 参照先 |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------|
| カードをいれてください。 | カードがセットされていません。カードをセットしてください。 | p.23 |
| 日付・時刻・書式を設定してください。 | 日付が設定されていません。日付を設定してください。 | p.29 |
| FILE NUMBER OVER | ファイル番号の制限を超えています。ファイル番号をリセットするか、他のカードを使用してください。 | p.126 |
| 表示できないファイルです | カメラでは表示できないファイルです。パソコンなどでファイルを確認し、ファイルを削除してください。 | — |
| プロテクトされています | プロテクトされたファイルを削除しようとしています。 | p.99 |
| カードが書き込み禁止です。 | カードが「LOCK」されています。ロックを解除してください。 | — |
| プリント設定できないファイル（動画など）です。 | プリント設定できないファイルです。 | p.112 |
| 容量不足です | ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、新しいカードを使用してください。 | p.97 |
| | 画像のプリント指定枚数が制限を超えています。 | — |
| 内蔵メモリーを初期化してください。 | 内蔵メモリーを初期化する必要があります。[セットアップ] メニューの [初期化 [内蔵メモリー]] を実行してください。 | — |
| カードを初期化してください。 | カードが初期化されていません。本カメラでカードを初期化してください。 | p.24 |
| 使用できないカードです。 | 再度初期化してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。 | p.24 |
| ファイルがありません | 再生できるファイルがありません。 | — |
| メモリー容量不足です。記録できません。 | 記録可能枚数が0になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。 | — |
| 現在この機能は使用できません | カメラやバッテリーが高温の状態で、ピクセルマッピングができません。電源を切って、カメラやバッテリーの温度が十分下がるまでお待ちください。 | — |

カメラ本体のトラブル

電源

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照先 |
|-------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------|
| 電源が入らない。 | バッテリーがセットされていない。または消耗している。 | バッテリーを正しくセットする。または充電する。 | p.23 p.25 |
| | 使用できないバッテリーを使用している。 | 専用バッテリーを使う。 | — |
| | ACアダプターが正しく接続されていない。 | 正しく接続し直す。 | p.167 |
| | バッテリーの方向が違う。 | 正しくセットする。 | p.23 |
| 電源が途中で切れる。 | 操作しない時間が続いたので、オートパワーオフが働いた。 | 電源を再投入する。 | p.27 |
| | バッテリーが消耗している。 | バッテリーを充電する。 | p.25 |
| | 使用できないバッテリーを使用している。 | 専用バッテリーを使う。 | — |
| 電源がオフにならない。 | カメラの誤作動。 | バッテリーをセットし直す。ACアダプター使用時には接続し直す。 | p.23 p.167 |
| 十分に残量のあるバッテリーなのに、残量が少ない電池マークが表示される。または電源がオフになる。 | 使用できないバッテリーを使用している。 | 専用バッテリーを使う。 | — |
| バッテリーを充電できない。 | バッテリーの寿命。 | 新しいバッテリーに交換する。 | — |
| バッテリーの消耗が早い。 | 温度が極端に低いところや高いところで使用している。 | — | — |
| | 暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多し。 | — | — |

撮影

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照先 |
|----------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------|--------------|
| シャッターボタンを押しても撮影できない。 | バッテリーが消耗している。 | バッテリーを充電する。 | p.25 |
| | 電源が入っていない。または撮影モードになっていない。 | POWER ボタンを押して、電源をオンにする。または ▶ ボタンを押して撮影モードにする。 | p.27 |
| | メモリーカードが初期化されていない。 | 初期化する。 | p.24 |
| | メモリーカードに空き容量がない。 | 不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。 | p.97 |
| | メモリーカードの寿命。 | 新しいカードをセットする。 | — |
| | フラッシュが充電中。 | オートフォーカス/フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。 | — |
| | メモリーカードが「LOCK」されている。 | 書き込み禁止を解除する。 | — |
| | メモリーカードの接触面が汚れている。 | 乾いた柔らかい布で拭き取る。 | — |
| 撮影画像を確認できない。 | 画像確認時間が短い。 | [セットアップ] メニューの [画像確認時間] を変更する。 | p.34 |
| 画像モニターに映らない。 | 画像モニターが暗い。 | 画像モニターの明るさを調整する。 | p.124 |
| | 画像モニターがオフになっている。 | DISP. ボタンを押して、画像モニターをオンにする。 | p.21 |
| | AV ケーブル/ HDMI ケーブルを接続した状態になっている。 | AV ケーブル/ HDMI ケーブルを取り外す。 | p.110 |
| オートフォーカスなのにピントが合わない。 | レンズが汚れている。 | 乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。 | — |
| | 被写体が撮影範囲枠の中央にない。 | フォーカスロックで撮影する。 | — |
| | ピントの合いにくい被写体である。 | フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。 | p.58 |
| | 被写体との距離が近すぎる。 | マクロで撮影する。または、被写体から離れて撮影する。 | p.59 |
| 手ブレになる。 | シャッターボタンを押したときに、カメラが動いた。 | 両肘を身体に付けて構える。三脚を使用する。 | — |
| | 薄暗い場所での撮影時には、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなる。 | フラッシュを使用する。ISO 感度を上げる。 | p.49 p.79 |

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照先 |
|--------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------|
| フラッシュが発光しない。 フラッシュの充電ができない。 | フラッシュがポップアップしていない。 | ⚡OPEN スイッチを下側にスライドさせて、フラッシュをポップアップさせる。 | p.79 |
| | フラッシュカバーが完全に上がっていない。 | フラッシュカバーを手で押さえたり、覆ったりしないように注意する。 | p.79 |
| | フラッシュが使用できない機能を選択している。 | フラッシュを発光して撮影したい場合は、設定やモードを変更する。 | p.79 |
| | バッテリーが消耗している。 | バッテリーを充電する。 | p.25 |
| フラッシュが発光したのに画像が暗い。 | 被写体までの距離が約3.0m以上離れている。 | 被写体に近づいて撮影する。 | — |
| | 黒っぽい被写体である。 | フラッシュの光量を調節する。 | p.81 |
| | フラッシュの光量が適切でない。 | フラッシュの光量を調節する。 | p.81 |
| | フラッシュカバーが完全に上がっていない。 | フラッシュカバーを手で押さえたり、覆ったりしないように注意する。 | p.79 |
| 画像が明るすぎる。 | フラッシュの光量が適切でない。 | フラッシュの光量を調整する。 被写体から少し離れて撮影する。 被写体に照明などを当ててフラッシュを発光しないで撮影する。 | p.81 |
| | 画像モニターの明るさが適切でない。 | 画像モニターの明るさを調整する。 | p.124 |
| 画像が暗すぎる。 | 暗いところで撮影している。 | フラッシュをポップアップさせる。 | p.79 |
| | 画像モニターの明るさが適切でない。 | 画像モニターの明るさを調整する。 | p.124 |
| 画像が自然な色合いにならない。 | オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影している。 | 被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはホワイトバランスを[AUTO]以外にする。 | p.67 |
| AF動作中、画像モニターの明るさが変化する。 | オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。 | 故障ではありません。 | — |
| 水準器が表示されない。 | [水準器設定] を [OFF] に設定している。 | [水準器設定] を表示する設定に変更する。 | p.36 |
| | 水準器が表示されない設定になっている。 | [DISP.表示設定] で表示する設定に変更する。 | p.125 |
| | カメラが上下逆になっている。 | カメラを正しく構える。 | — |

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照先 |
|-------------------------------------|-----------------------------|----------------|-----|
| 水準器の目盛りが中央を指している状態で撮影したのに、画像が傾いている。 | 乗り物に乗っているなど、動いている状態で撮影している。 | 停止している状態で撮影する。 | — |
| | 被写体自体が傾いている。 | 被写体を確認する。 | — |

再生／削除

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照先 |
|-----------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|-------|
| 日付などの記録情報が表示されない。 | 画面表示が表示なしになっている。 | DISP. ボタンを押して表示を切り替える。 | p.22 |
| 再生できない。または再生画面が出ない。 | AV ケーブル/HDMI ケーブルが正しく接続されていない。 | ケーブルを正しく接続し直す。 | p.110 |
| | [ビデオオ方式] の設定が間違っている。 | 正しい方式を設定する。 | p.111 |
| メモリーカードが再生できない。または再生画面が出ない。 | 本カメラで初期化していないメモリーカードを再生した。 | 本カメラで初期化し、記録したカードをセットする。 | — |
| | 正常に記録されていないメモリーカードを再生した。 | 正常に記録されているカードをセットする。 | — |
| | メモリーカードの接触面が汚れている。 | 乾いた柔らかい布で拭き取る。 | — |
| | 使用中のメモリーカードに異常がある。 | 別のカードが再生できれば、カメラは問題ない。異常があるカードは使用しない。 | — |
| 画面が消えた。 | バッテリーが消耗している。 | バッテリーを充電する。 | p.25 |
| | 操作しない時間が続いたので、オートパワーオフが働いた。 | 電源を再投入する。 | p.27 |
| ファイルを削除できない。 | プロテクトが設定されている。 | プロテクトを解除する。 | p.99 |
| | メモリーカードが「LOCK」されている。 | 書き込み禁止を解除する。 | — |
| メモリーカードを初期化できない。 | メモリーカードが「LOCK」されている。 | 書き込み禁止を解除する。 | — |

その他

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照先 |
|-----------------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------|
| メモリーカードが入らない。 | 挿入方向が違う。 | 正しくセットする。 | p.23 |
| カメラのボタンを操作しても作動しない。 | バッテリーが消耗している。 | バッテリーを充電する。 | p.25 |
| | カメラの誤作動。 | POWER ボタンを押して、いったん電源をオフにし、再度 POWER ボタンを押して、電源をオンにする。 | p.27 |
| | | バッテリーをセットし直す。ACアダプター使用時には接続し直す。 | p.23 p.167 |
| 日付が正しくない。 | 正しい日付・時刻が設定されていない。 | 正しい日付・時刻を設定する。 | p.29 |
| 設定した日付が消えてしまった。 | バッテリーを抜いてしまった。 | バッテリーを取り出した状態が約5日間以上続くと、日付がリセットされるので、設定し直す。 | p.29 |
| AV機器に映らない。 | [ビデオ方式] の設定が間違っている。 | 正しい方式を設定する。 | p.111 |
| | AVケーブル/HDMIケーブルが正しく接続されていない。 | ケーブルを正しく接続し直す。 | p.110 |
| | AV機器の入力切り替えの設定が間違っている。 | AV機器の入力切り替えが正しいか確認する。 | — |
| 撮影画像に、欠けや常時点灯する箇所がある。 | センサーの画素に欠けがある。 | [セットアップ]メニュー [ピクセルマッピング] を実行する。補完処理は30秒ほどがかかるので、十分に充電したバッテリーを使用する。 | — |

主な仕様

カメラ本体

| | | |
|------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| レンズ | | レンズ構成：5群7枚（非球面レンズ2枚） |
| | 焦点距離 | 18.3mm |
| | 焦点距離の35mm換算値 | 約28mm |
| | F値 | F2.8～F16 |
| フォーカス | フォーカスモード | マルチAF、スポットAF、ピンポイントAF、被写体追尾AF、MF、スナップ、∞、顔検出優先（オート撮影モード時、エフェクト「人物」選択時）、コンティニュアスAF、フルプレススナップ |
| | 撮影距離範囲（レンズ先端から） | 標準：約0.3m～∞ マクロ撮影時：約0.1m～∞ |
| 顔検出 | | 最大10人まで検出 |
| 有効画素数 | | 約1620万画素 |
| 撮像素子 | | 23.7mm×15.7mmサイズCMOS |
| 記録画素数 | 静止画 | [3:2] 4928×3264 (L)、3936×2608 (M)、2912×1936 (S)、1280×864 (XS) [4:3] 4352×3264 (L)、3488×2608 (M)、2592×1936 (S)、1152×864 (XS) [1:1] 3264×3264 (L)、2608×2608 (M)、1936×1936 (S)、864×864 (XS) |
| | 動画 | Full HD (1920×1080、30fps/25fps/24fps) HD (1280×720、60fps/50fps/30fps/25fps/24fps) VGA (640×480、30fps/25fps/24fps) |
| 記録方式 | 静止画 | JPEG Baseline 準拠 (Exif Ver.2.3)、RAW (DNG規格に準拠) |
| | 動画 | MPEG4 AVC/H.264 |
| 感度（標準出力感度） | | AUTO、AUTO-HI（下限/上限設定可能）、マニュアル（ISO 100～25600） |
| ホワイトバランス | | AUTO、マルチパターン AUTO、屋外、日陰、曇天、白熱灯1、白熱灯2、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、電球色蛍光灯、CTE、CT（色温度設定）、M（手動設定） |
| 画像モニター | | 3.0型透過型液晶、約123万ドット、保護カバー有り、画像モニター輝度調節（AUTO/MANUAL） |
| 露出制御 | 測光方式 | マルチ、中央部重点、スポット |
| | 露出制御モード | プログラムAE、絞り優先AE、シャッター優先AE、シャッター&絞り優先AE、マニュアル露出 |
| | 露出補正 | 静止画撮影時：±4EV、1/3EVステップ 動画撮影時：±2EV、1/3EVステップ |
| 撮影モード | | オート撮影モード、プログラムシフト、絞り優先、シャッター優先、シャッター&絞り優先、マニュアル露出、動画、マイセッティング |

| | | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| エフェクト | 白黒、白黒 (TE)、ハイコントラスト白黒、クロスプロセス、ポジフィルム調、プリーチパイパス、レットロ、ミニチュアライズ、シフトクロップ、ハイキー、HDR 調、明瞭コントロール、光沢コントロール、かすか、雅 (MIYABI)、鮮やか、人物 | |
| 撮影時機能 | FA・ターゲット移動、クロップ (35mm、47mm)、連写、AE ブラケット (1/2EV/1/3EV)、ホワイトバランスブラケット (プリセット可能)、エフェクトブラケット、ダイナミックレンジブラケット、コントラストブラケット、多重露光撮影、インターバル撮影、セルフタイマー、ノイズリダクション、ND フィルター (ON/OFF/AUTO)、ダイナミックレンジ補正 (AUTO/弱/中/強)、長秒時ノイズ低減、色空間設定、インターバル合成、ヒストグラム表示、グリッドガイド表示、被写界深度表示、電子水準器 | |
| 再生時機能 | 縦横自動回転再生、白とび警告表示、一覧表示、拡大表示 (拡大倍率最大 16 倍)、スライドショー、プロテクト、画像サイズ変更、斜め補正、レベル補正、ホワイトバランス補正、トリミング、DPOF 設定、色モアレ補正、RAW 現像、動画ファイル部分切り出し、動画からの静止画保存 | |
| シャッタースピード | 1/4000 ~ 300 秒、バルブ、タイム | |
| フラッシュ | 発光モード | AUTO、強制発光、スローシンクロ、マニュアル発光、赤目軽減 AUTO、赤目軽減強制発光、赤目軽減スローシンクロ、ワイヤレス |
| | 調光範囲 | 約 0.2m ~ 3.0m (ISO AUTO) |
| | ガイドナンバー | 5.4 (ISO 100 換算) |
| 記録媒体 | 内蔵メモリー (約 54.0MB)、SD/SDHC/SDXC メモリーカード (SDHC、SDXC メモリーカードは UHS-I 規格に対応) | |
| 電源 | | リチャージャブルバッテリー DB-65、AC アダプターキット (別売) |
| | 電池寿命 (専用バッテリー使用時) | 静止画撮影: 約 320 枚 (*1) 再生時間: 約 190 分 (*2) 動画撮影時間: 約 45 分 (*2) |
| 外部インターフェイス | USB/AV 出力端子 (USB2.0 準拠/映像出力/音声出力 (モノラル))、HDMI 出力端子 (タイプ D) | |
| ビデオ出力方式 | NTSC/PAL | |
| 無線 LAN | 準拠規格 | IEEE 802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル) |
| | 使用周波数 (中心周波数) | 2412MHz ~ 2462MHz (1ch ~ 11ch) |
| | セキュリティ | 認証方式: WPA2、暗号化方式: AES |
| NFC | 準拠規格 | ISO/IEC14443 TypeA、ISO/IEC14443 TypeB、JIS X 6319-4 (自動選択) |
| | 使用周波数 (中心周波数) | 13.56MHz |
| 外形・寸法 | 約 117.0 (幅) × 62.8 (高) × 34.7 (厚) mm (操作部材、突起部を除く) | |
| 質量 (重さ) | 撮影時 | 約 251g (電池、SD メモリーカード含む) |
| | 本体 | 約 221g (電池、SD メモリーカード含まず) |

- *1 撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA 規格抜粋：液晶モニター ON、フラッシュ使用率 50%、23℃)
- *2 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

USB 電源アダプター AC-U1

| | |
|------|-----------------------------------|
| 電源 | AC 100 ~ 240V (50/60Hz) 0.2A |
| 出力電圧 | DC 5.0V 1000mA |
| 使用温度 | 10 ~ 40℃ |
| 外形寸法 | 42.5mm × 22mm × 66.5mm (電源プラグ含まず) |
| 質量 | 約 40g (電源プラグ含まず) |

リチャージャブルバッテリー (リチウムイオン電池) DB-65

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 公称電圧 | 3.6V |
| 定格容量 | 1250mAh (Min. 値)、1275mAh (Typ. 値) |
| 使用温度 | 0 ~ 40℃ |
| 本体外形寸法 | 35.3mm × 40.3mm × 9.4mm |
| 質量 | 約 27g |

記録可能枚数／時間

内蔵メモリー／メモリーカードの容量別、フォーマット別の記録可能枚数／時間（秒）の目安は、以下のとおりです。

| | フォーマット・サイズ | アスペクト比 | 焦点距離 ^{*1} | 記録画素数 | 内蔵メモリー | 4GB | 32GB |
|-----------|-------------|--------|-----------------------|------------------------|--------|-------|------|
| 静止画 | RAW | 3:2 | 28mm | 4928 × 3264 | 1 | 136 | 1100 |
| | | | 35mm | 3936 × 2608 | 2 | 142 | 1152 |
| | | | 47mm | 2912 × 1936 | 2 | 148 | 1197 |
| | | 4:3 | 28mm | 4352 × 3264 | 1 | 138 | 1117 |
| | | | 35mm | 3488 × 2608 | 2 | 143 | 1163 |
| | | | 47mm | 2592 × 1936 | 2 | 148 | 1203 |
| | | 1:1 | 28mm | 3264 × 3264 | 2 | 141 | 1148 |
| | | | 35mm | 2608 × 2608 | 2 | 146 | 1186 |
| | | | 47mm | 1936 × 1936 | 2 | 150 | 1217 |
| | RAW+ | 3:2 | 28mm | 4928 × 3264 | 1 | 106 | 858 |
| | | | 35mm | 3936 × 2608 | 1 | 119 | 968 |
| | | | 47mm | 2912 × 1936 | 1 | 133 | 1077 |
| | | 4:3 | 28mm | 4352 × 3264 | 1 | 110 | 891 |
| | | | 35mm | 3488 × 2608 | 1 | 122 | 993 |
| | | | 47mm | 2592 × 1936 | 1 | 135 | 1093 |
| | | 1:1 | 28mm | 3264 × 3264 | 1 | 118 | 959 |
| | | | 35mm | 2608 × 2608 | 1 | 129 | 1047 |
| | | | 47mm | 1936 × 1936 | 1 | 139 | 1128 |
| | L | 3:2 | — | 4928 × 3264 (16M相当) | 6 | 481 | 3899 |
| | | 4:3 | — | 4352 × 3264 | 7 | 544 | 4408 |
| | | 1:1 | — | 3264 × 3264 | 10 | 719 | 5825 |
| | M | 3:2 | — | 3936 × 2608 (10M相当) | 10 | 746 | 6041 |
| | | 4:3 | — | 3488 × 2608 | 11 | 839 | 6796 |
| | | 1:1 | — | 2608 × 2608 | 15 | 1109 | 8978 |
| S | 3:2 | — | 2912 × 1936 (5M相当) | 18 | 1329 | 10754 | |
| | 4:3 | — | 2592 × 1936 | 21 | 1475 | 11934 | |
| | 1:1 | — | 1936 × 1936 | 27 | 1919 | 15534 | |
| XS | 3:2 | — | 1280 × 864 (1M相当) | 78 | 5498 | 44484 | |
| | 4:3 | — | 1152 × 864 | 85 | 5759 | 46602 | |
| | 1:1 | — | 864 × 864 | 105 | 7115 | 57567 | |

| | | | | | | | |
|------------|-------------|---|---|-------------|-----|-------|--------|
| 動画からの静止画保存 | 1920 × 1080 | — | — | 1920 × 1080 | 47 | 3328 | 26927 |
| | 1280 × 720 | — | — | 1280 × 720 | 92 | 6549 | 52989 |
| | 640 × 480 | — | — | 640 × 480 | 256 | 18087 | 146340 |

*1 35mm 判換算値

| | 記録サイズ | フレームレート | 記録画素数 | 内蔵メモリー | 4GB | 32GB |
|----|--------|---------|-------------|--------|------|-------|
| 動画 | FullHD | 30fps | 1920 × 1080 | 36 | 1277 | 10226 |
| | | 25fps | 1920 × 1080 | 43 | 1542 | 12349 |
| | | 24fps | 1920 × 1080 | 44 | 1606 | 12857 |
| | HD | 60fps | 1280 × 720 | 40 | 1331 | 10661 |
| | | 50fps | 1280 × 720 | 45 | 1527 | 12228 |
| | | 30fps | 1280 × 720 | 61 | 2118 | 16959 |
| | | 25fps | 1280 × 720 | 71 | 2511 | 20098 |
| | VGA | 24fps | 1280 × 720 | 74 | 2616 | 20939 |
| | | 30fps | 640 × 480 | 78 | 3207 | 25671 |
| | | 25fps | 640 × 480 | 95 | 3793 | 30353 |
| | | 24fps | 640 × 480 | 95 | 3936 | 31497 |



メモ

- 動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間の目安です。1回の撮影で記録可能な動画は、最大 25 分または最大 4GB までです。
- 画像モニターに表示される残り記録枚数は、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数や動画の記録時間は、記録先の容量や撮影条件などによって異なる場合があります。
- 内蔵メモリーに動画を記録した場合、メモリーカードに比べて画質が低下します。

別売り品の取り付け

コンバージョンレンズ／フード&アダプター

コンバージョンレンズ (GW-3) /フード&アダプター (GH-3) を使用するときは、リングキャップを取り外します。

取り外し方

カメラの電源がオフの状態、リングキャップを反時計回りに回して取り外します。

取り付け方

カメラの電源がオフの状態、カメラ本体の目印①にリングキャップの目印②を合わせ、「カチッ」と音がする位置まで時計方向に回します。



6

付録



メモ

- ・コンバージョンレンズを使用するときは、[セットアップ] メニューの [コンバージョンレンズ] を [WIDE] に設定します。

ACアダプター

長時間使用したり、パソコンと接続するときは、ACアダプター(AC-5c)を使用することをお勧めします。

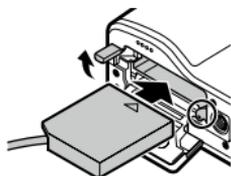
ACアダプターをセットするときは、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

1 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける

バッテリーが入っていた場合は、取り出してください。

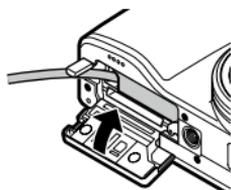
2 ACアダプター用バッテリーを挿入する

3 電源(DC入力)ケーブルカバーを開け、ケーブルを外に出す



4 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする

5 電源プラグをコンセントに差し込む



注意

- ・電源プラグやACコードは、しっかりと差し込んでください。
- ・カメラを使用しないときは、ACアダプターをカメラや電源コンセントから抜いてください。
- ・カメラの使用中にACアダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- ・ACアダプターの使用中は、ACアダプターのケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- ・国や地域によっては、使用できない場合があります。

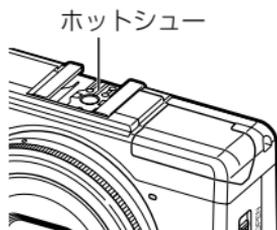
外部フラッシュ

カメラのホットシューに外部 TTL フラッシュ (GF-1) を接続し、TTL 自動調光フラッシュとして使用できます。

1 フラッシュカバーを閉じる

2 ホットシューに装着されているホットシューカバーを取り外す

3 カメラと外部フラッシュの電源がオフの状態、外部フラッシュをホットシューに取り付ける



4 外部フラッシュとカメラの電源をオンにする

注意

- ・ 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュをポップアップしないでください。傷や故障のおそれがあります。
- ・ 外部フラッシュをカメラから取り外すときは、外部フラッシュの電源を切ってから行ってください。
- ・ 内蔵フラッシュの光量だけでは不足する距離（遠距離側）のときに、外部フラッシュを使用してください。近距離側では露出オーバーになることがあります。
- ・ GF-1 以外のフラッシュでは、フラッシュモードは設定できません。常に [強制発光] で動作します。

メモ

- ・ 外部フラッシュが認識されないときは、外部フラッシュとカメラの電源をオフにして、外部フラッシュを接続し直してください。
- ・ フラッシュモードは  (▶) ボタンで切り替えます。(p.79) マニュアル発光は、GF-1 側で操作してください。フラッシュの発光量は [撮影設定] メニューの [フラッシュマニュアル発光量] で設定できます。(p.82)

GF-1 以外の外部フラッシュを使用する

- 1 外部フラッシュをホットシューに取り付ける
- 2 カメラの電源を入れ、モードダイヤルを Av / TAv / M に合わせて絞り値を設定する
- 3 カメラの ISO 感度を [AUTO] [AUTO-HI] 以外に設定する
- 4 外部フラッシュの電源を入れ、外部フラッシュを自動 (オート) に設定し、絞り値と ISO 感度をカメラに合わせる

注意 -----

- GF-1 以外の市販フラッシュをご使用になる場合は、信号端子は X 接点のみで極性が +、電圧が 20V 以下であることを確認してください。
- フラッシュの設定にかかわらず、ホットシューの X 接点にフラッシュ発光信号が出力されます。外部フラッシュのフラッシュ発光停止は、外部フラッシュ側で行ってください。
- 外部フラッシュの絞り値と ISO 感度をカメラと同じ条件にしても、適正露出にならない場合があります。そのときは外部フラッシュ側の絞り値や ISO 感度を変更してください。
- 撮影レンズの画角をカバーする照射角を持つ外部フラッシュを使用してください。

ワイヤレス発光で撮影する

PENTAX オートフラッシュ (AF540FGZ II / AF360FGZ II / AF540FGZ / AF360FGZ) を組み合わせると、フラッシュ同士をコードで接続せずに P-TTL 撮影を行う「ワイヤレスモード」が利用できます。

1 ㇓ OPEN スイッチを下にスライドする

フラッシュがポップアップします。

2 ㇓ (▶) ボタンを押す

フラッシュモードを設定する画面が表示されます。

3 ◀▶ ボタンで [ワイヤレス] を選択する

ワイヤレス発光モードになります。

4 オートフラッシュの電源を入れ、内蔵フラッシュと組み合わせてワイヤレスで P-TTL 撮影ができる状態に設定する

オートフラッシュのワイヤレスモードは、SLAVE に設定します。

オートフラッシュの設定方法は、フラッシュの使用説明書を参照してください。

5 カメラの [撮影設定] メニューで [ワイヤレス発光チャンネル] を選択し、▶ ボタンを押す

6 ▲▼ ボタンでチャンネルを選択する

使用するオートフラッシュのチャンネル設定に合わせて、[CH.1] [CH.2] [CH.3] [CH.4] から選択します。

7 撮影する

シャッターに同調してオートフラッシュが発光します。



メモ

- ・オートフラッシュとカメラが離れすぎていると発光しないことがあります。カメラの内蔵フラッシュとオートフラッシュ、オートフラッシュと被写体との距離は約 4m 以内にしてください。
- ・オートフラッシュの充電が完了していないときは、オートフラッシュは発光しません。

海外でお使いのときは

USB 電源アダプター (AC-U1) / AC アダプター (AC-5c) / バッテリーチャージャー (BJ-6) について

交流 100 ~ 240V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。

使用する国の電源コンセントに合った形状の変換アダプターを、あらかじめご用意ください。

電子式変圧器は使用しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

保証について

本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

現地のテレビで再生する場合

映像入力端子付きのテレビやモニターで再生できます。別売りの AV ケーブルをご使用ください。

本カメラでは、ビデオ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境に合わせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。(p.111)

海外へお出かけの際は、事前にビデオ方式をご確認ください。

使用上のご注意

カメラ本体

- ・本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- ・海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- ・カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- ・カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようにしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- ・フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- ・火傷や発火の原因になりますので、フラッシュ発光部に触れたり、物を密着させたままフラッシュを発光しないでください。
- ・視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- ・事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- ・カメラを長時間連続使用した後は、すぐにバッテリーを取り出さないでください。
- ・画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなる場合があります。
- ・画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・画像モニターを強く押さないでください。
- ・温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- ・故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針などを通さないでください。
- ・カメラを濡らさないでください。また、濡れた手でカメラを操作しないでください。故障や感電の原因となります。
- ・大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださいとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯などをお勧めいたします。



結露の発生しやすい状態

- ・急激な温度差のあるところに移動したとき
- ・湿気の多いとき
- ・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接当たるとき

USB 電源アダプター AC-U1

- ・ USB ケーブルは、同梱品をご使用ください
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは使用しないでください。
- ・ 直射日光の当たるところや、高温になるところで使用しないでください。
- ・ 充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- ・ 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ・ 使用温度範囲は 10 ~ 40℃ です。10℃ 以下でご使用になると、充電が長時間になる場合があります。

注意

- ・ 指定以外の電池を使用した場合、破裂のおそれがあります。
- ・ 使用済みのバッテリーは電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。

リチャージャブルバッテリー DB-65

- ・ このバッテリーはリチウムイオンタイプです。
- ・ 出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- ・ 火災および火傷の危険がありますので、バッテリーを開けたり、潰したりしないでください。また、60℃ を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。
- ・ 寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されているバッテリーを使用していても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- ・ 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、充電器から取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラからバッテリーを取り出して 5 日間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定してください。
- ・ 長期間保存する場合は、年に 1 回、15 分程度充電した後、保存してください。
- ・ 涼しいところで保存してください。周囲の温度が 15 ~ 25℃ の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。

- 充電が完了したバッテリーをすぐに再充電しないでください。
- 充電は周囲の温度が 10～40℃の温度範囲で行ってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させるおそれがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- 十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命ですので、新しいバッテリーをお求めください。交換バッテリーは、必ず弊社推奨のバッテリーをお使いください。
- 充電時間は AC-U1 使用時、約 3 時間（25℃）です。

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- レンズに指紋や汚れが付くと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- レンズにゴミや汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のプロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 海辺や薬品を使う場所で使用した後は、特に入念に拭いてください。
- 万一カメラの具合が悪いときは、修理受付センターにご相談ください。
- このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 画像モニターの表面は、傷つきやすいので、硬い物でこすったりしないでください。
- 画像モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていない物）を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

使用／保管場所について

- 以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
 - 高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 振動の激しいところ
 - 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
 - 強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- 長時間本カメラをご使用にならないときは、バッテリーを取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

- 必ず電源をオフにしてください。
- バッテリーや AC アダプターを取り外して、お手入れしてください。

アフターサービスについて

1. 本カメラが万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はおお客様にご負担願います。
2. 次の場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
 - ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
 - ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - ③ 火災、天災、地震、落雷、異常電圧などによる故障
 - ④ 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - ⑥ 保証書の添付のない場合
 - ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただけます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本カメラの補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われる物などは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。

修理にお出しになる前

- ・バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ・ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- ・故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- ・修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

索引

英数字

| | |
|--------------------------------|--------|
| AC アダプター | 167 |
| ADJ. ISO ダイレクト変更 | 50 |
| ADJ. モード | 121 |
| ADJ. レバー | 17 |
| ADJ. レバー設定 | 120 |
| AEL/AFL 設定 | 60 |
| AEL/AFL ロック維持設定 | 61 |
| AE ロック | 60 |
| AF ファンクション切り替えレバー | 60 |
| AF 補助光 | 15.153 |
| AF ボタン | 60 |
| AF モード | 57 |
| AV 機器 | 110 |
| Av モード | 42 |
| C-AF 連写設定 | 62 |
| CTE (ホワイトバランス) | 68 |
| Digital Camera Utility 5 | 130 |
| DISP. 表示設定 | 125 |
| DISP. ボタン | 21 |
| DNG | 54 |
| DPOF | 112 |
| Effect ボタン | 122 |
| Exif データ | 129 |
| FA・ターゲット移動 | 63 |
| Fn1/Fn2 ボタン | 122 |
| Fn ボタン設定表示 | 123 |
| HDMI 出力 | 111 |
| HDMI マイクロ出力端子 | 110 |
| HDR 調 (エフェクト) | 84 |
| Image Sync | 132 |
| ISO AUTO-HI 設定 | 49 |
| ISO 感度 | 49 |
| ISO 感度ステップ設定 | 49 |
| Language/ 言語 | 29 |
| Macintosh | 130 |
| MENU/OK ボタン | 39 |
| MF | 58 |
| M/TAv モードダイヤル設定 | 44 |

| | |
|----------------------|------------|
| MY1/MY2/MY3 | 114 |
| M モード | 42 |
| M モードワンタッチ動作 | 48 |
| ND フィルター | 53 |
| NFC マーク | 15.134 |
| NR | 50 |
| POWER (電源) ボタン | 27 |
| P-TTL 撮影 | 170 |
| P モード | 42 |
| P モード選択 | 44 |
| RAW | 54 |
| RAW 現像 | 108 |
| TAv モード | 42 |
| Tv モード | 42 |
| USB・AV OUT 兼用端子 ... | 25.110.131 |
| USB ケーブル | 25.131 |
| USB 電源アダプター | 25 |
| Wi-Fi | 132 |
| Wi-Fi 情報 | 133 |
| Wi-Fi 通信 | 20 |
| Windows | 130 |

あ

| | |
|---------------------|-----|
| アオリ | 36 |
| 赤目軽減 (フラッシュ) | 79 |
| 鮮やか (エフェクト) | 84 |
| アスペクト比 | 54 |
| アップダウンダイヤル | 17 |
| アップデート | 129 |
| 後幕 (フラッシュ) | 82 |
| アフターサービス | 176 |
| 一覧表示 | 95 |
| 色温度 | 70 |
| 色空間設定 | 153 |
| 色モアレ補正 | 107 |
| インターバル合成 | 77 |
| インターバル撮影 | 76 |
| エフェクト | 83 |
| エフェクトブラケット | 73 |
| エフェクトボタン | 123 |
| エフェクトボタン長押し設定 | 47 |
| エラーメッセージ | 155 |
| オート撮影モード | 32 |

| | |
|----------------------------|-------|
| オートパワーオフ..... | 28 |
| オートフォーカス/フラッシュランブ | 25.33 |
| オートブラケット..... | 73 |
| オートフラッシュ..... | 170 |
| 屋外 (ホワイトバランス)..... | 67 |
| お手入れ..... | 175 |
| オプション..... | 166 |

か

| | |
|----------------------|--------|
| カード連続 No. | 128 |
| 解除レバー..... | 23 |
| 外部フラッシュ..... | 168 |
| 拡大表示..... | 96 |
| 各部の名称..... | 14 |
| 加工..... | 102 |
| かすか (エフェクト)..... | 84 |
| カスタマイズ..... | 114 |
| カスタムセルフ..... | 35 |
| 画像確認時間..... | 34 |
| 画像サイズ変更..... | 102 |
| 画像設定..... | 88 |
| 画像モニター..... | 18 |
| 画像モニター輝度調節..... | 124 |
| 画像モニター節電..... | 28 |
| 感度..... | 49 |
| キーカスタム設定メニュー..... | 150 |
| キーカスタム設定初期化..... | 154 |
| 強制発光 (フラッシュ)..... | 79 |
| 記録可能枚数..... | 26.164 |
| 記録サイズ..... | 91 |
| グラフィック表示..... | 21.125 |
| グリッドガイド..... | 21.125 |
| グリッドガイド表示設定..... | 125 |
| クロスポセス (エフェクト)..... | 83 |
| クロップ..... | 55 |
| 蛍光灯 (ホワイトバランス)..... | 67 |
| 蛍光灯ちらつき低減..... | 92 |
| 言語..... | 29 |
| 光沢コントロール (エフェクト).... | 84 |
| コンティニユアス AF..... | 62 |
| コントラスト..... | 83.104 |
| コントラストブラケット..... | 73 |

| | |
|-----------------|-----|
| コンバージョンレンズ..... | 166 |
|-----------------|-----|

さ

| | |
|----------------------|-----------|
| 再生..... | 38.95 |
| 再生アニメーション..... | 38 |
| 再生順序設定..... | 38 |
| 再生設定メニュー..... | 149 |
| 再生モード..... | 38 |
| 再生モードダイヤル設定..... | 96 |
| 彩度..... | 83 |
| 先幕 (フラッシュ)..... | 82 |
| 削除..... | 97 |
| 撮影画像フォーマット..... | 54 |
| 撮影設定初期化..... | 154 |
| 撮影設定メニュー..... | 145 |
| 撮影モード..... | 16.42 |
| 撮影モード切替..... | 117 |
| 三脚ネジ穴..... | 15 |
| シフトクロップ (エフェクト)..... | 84 |
| 絞り自動シフト..... | 44 |
| 絞り値..... | 42 |
| 絞りプレビュー..... | 47 |
| 絞り優先モード..... | 42 |
| シャープネス..... | 83 |
| シャッター & 絞り自動シフト..... | 44 |
| シャッター & 絞り優先モード..... | 42 |
| シャッタースピード..... | 42 |
| シャッタースピード自動シフト..... | 44 |
| シャッターボタン確定..... | 48.121 |
| シャッター優先モード..... | 42 |
| 充電..... | 25 |
| 周辺減光..... | 83 |
| 周辺光量..... | 89 |
| 仕様..... | 161 |
| 詳細情報表示..... | 22 |
| 情報表示..... | 21.125 |
| 情報表示モード..... | 21 |
| 初期化..... | 24 |
| 初期設定..... | 145 |
| 白黒 (エフェクト)..... | 83 |
| 白とび警告表示..... | 22 |
| 人物 (エフェクト)..... | 84 |
| 水準器..... | 21.36.125 |

| | |
|-----------------------|-----|
| 水準器設定 | 37 |
| 水準器 (アオリ方向) キャリブレーション | 37 |
| ストラップ取り付け部 | 15 |
| スナップ (フォーカス) | 58 |
| スナップ時フォーカス距離 | 58 |
| スピーカー | 15 |
| スポット AF (フォーカス) | 56 |
| スライドショー | 95 |
| スリーブ | 28 |
| スローシンクロ (フラッシュ) | 79 |
| 接写 | 59 |
| セットアップメニュー | 152 |
| セルフタイマー | 34 |
| 操作音 | 126 |
| 操作音音量設定 | 126 |
| 測光 | 52 |
| ソフトウェア | 130 |

た

| | |
|--------------------|--------|
| ターゲット位置拡大再生 | 96 |
| ターゲット移動 | 63 |
| ダイナミックレンジブラケット | 73 |
| ダイナミックレンジ補正 | 51 |
| タイム | 46 |
| 多重露光撮影 | 74 |
| 縦横自動回転再生 | 38 |
| 端子カバー | 25 |
| 調色 | 83 |
| 長秒時ノイズ低減 | 47 |
| 著作権情報 | 129 |
| 追尾 AF (フォーカス) | 56 |
| テレビ | 110 |
| 電源 | 27 |
| 電源 (DC 入力) ケーブルカバー | 15.167 |
| 電源プラグ | 25 |
| 電源ボタンランプ | 28 |
| 電池 | 23 |
| 電池残量 | 20 |
| 動画 | 91 |
| 動画ファイル部分切り出し | 94 |
| トリミング | 102 |

| | |
|---------------|----|
| 曇天 (ホワイトバランス) | 67 |
|---------------|----|

な

| | |
|-----------|--------|
| 内蔵メモリー | 24.101 |
| 斜め補正 | 103 |
| 日時設定 | 29 |
| 認証マーク | 133 |
| ノイズリダクション | 50 |

は

| | |
|--------------------|------------|
| バージョンアップ | 129 |
| ハイキー (エフェクト) | 84 |
| ハイコントラスト白黒 (エフェクト) | 83 |
| 白熱灯 (ホワイトバランス) | 67 |
| パソコンと接続 | 131 |
| バッテリー | 23.25 |
| バッテリー/カードカバー | 23 |
| バルブ | 46 |
| 日陰 (ホワイトバランス) | 67 |
| ピクセルマッピング | 160 |
| 被写界深度 | 58 |
| 被写体追尾 AF (フォーカス) | 56 |
| ヒストグラム | 21.104.125 |
| 日付入れ撮影 | 90 |
| ビデオ方式 | 111 |
| ビビッド (画像設定) | 88 |
| ピント合わせ | 33 |
| ピンポイント AF (フォーカス) | 56 |
| ファームウェアバージョン確認 | 129 |
| ファイル番号リセット | 128 |
| ファイル名 | 126 |
| ファイル名変更 | 127 |
| フォーカス | 56 |
| フォーカスアシスト | 63 |
| フォーカスパー | 58 |
| フォーマット | 24 |
| フォーマット・サイズ | 54 |
| フォルダ名 | 126 |
| フォルダ名設定 | 127 |
| フラッシュ | 32.79 |
| フラッシュシンクロ設定 | 82 |
| フラッシュ調光補正 | 81 |

| | | | |
|----------------------|--------|----------------------|--------|
| フラッシュマニュアル発光量..... | 82 | 明瞭コントロール (エフェクト).... | 84 |
| ブリーチバイパス (エフェクト).... | 83 | メニュー..... | 39.145 |
| フルプレススナップ..... | 66 | メニューカーソル位置保持..... | 154 |
| フレームレート..... | 91 | メモリーカード..... | 23 |
| プレビュー..... | 47 | モードダイヤル..... | 16 |
| プログラムシフトモード..... | 42 | | |
| プログラム線図..... | 44 | | |
| プロテクト..... | 99 | | |
| 別売り品..... | 166 | | |
| 保管..... | 175 | | |
| 保護..... | 99 | | |
| ポジフィルム調 (エフェクト)..... | 83 | | |
| 保証..... | 183 | | |
| 補正..... | 102 | | |
| ホットシュー..... | 15.168 | | |
| ホワイトバランス..... | 67 | | |
| ホワイトバランスブラケット..... | 73 | | |
| ホワイトバランス補正..... | 106 | | |

ま

| | |
|------------------------------------|-------|
| マーク表示..... | 22 |
| マイク..... | 15 |
| マイセッティング..... | 114 |
| マイセッティング削除..... | 120 |
| マイセッティング登録..... | 115 |
| マイセッティング編集..... | 118 |
| マイセッティング名称..... | 119 |
| マイセッティングモード (MY1/MY2 /MY3)..... | 117 |
| マイセッティング呼び出し..... | 116 |
| マクロ..... | 59 |
| マニュアル発光 (フラッシュ).... | 79.82 |
| マニュアルフォーカス..... | 58 |
| マニュアルホワイトバランス..... | 70 |
| マニュアル露光モード..... | 42 |
| マルチ AF (フォーカス)..... | 56 |
| マルチパターン AUTO (ホワイトバ ランス)..... | 67 |
| ミニチュアライズ (エフェクト).... | 87 |
| 雅 (MIYABI) (エフェクト)..... | 84 |
| 無限遠 (フォーカス)..... | 56 |
| 無線 LAN..... | 132 |
| 明度..... | 104 |

ら

| | |
|--------------------|-------|
| リチャージャブルバッテリー..... | 23.25 |
| リングキャップ..... | 166 |
| レトロ (エフェクト)..... | 83 |
| レベル補正..... | 104 |
| 連写..... | 72 |
| 露出..... | 42 |
| 露出ブラケット..... | 74 |
| ロックボタン..... | 16 |
| 露出補正..... | 48 |

わ

| | |
|--------------------|-----|
| ワイヤレス発光..... | 170 |
| ワイヤレス (フラッシュ)..... | 79 |

ギャラリー・ショールーム

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可）

〒163-0690 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下1階）

TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

営業時間 10:30～18:30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア銀座

東京都中央区銀座 5-7-2 三愛ドリームセンター 9階

TEL 03-3289-1521

営業時間 11:00～19:00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア大阪

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2階

TEL 06-6271-7996（代）

営業時間 9:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

フотスクール・写真クラブ

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌

Pentax Ricoh Family Club

や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フотスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフオトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-35-7

TEL 03-6327-3700 FAX 03-6327-3701

営業時間 9:00～17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

保証規定

1. 本製品が万一故障した場合はご購入日から満1年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か当社修理受付窓口にお申し出ください。なお、お買い上げ店または当社修理受付窓口にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。
2. 以下の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
 - (1) 使用上の誤り（使用説明書以外の誤操作など）により生じた故障
 - (2) 当社の指定する修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - (3) 火災、天災、地震、落雷、異常電圧などによる故障
 - (4) 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - (5) 保管上の不備（使用説明書に記載）や、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - (6) 裏面の保証書（以下、本保証書と記す）の添付のない場合
 - (7) 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証の対象となる部分は本体のみでストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象とはなりません。
4. 本カメラの故障に起因する付随的損害（記録・再生に要した諸費用および、記録・再生により得べかりし利益の損失など）については補償しかねます。
5. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
6. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
7. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan)
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
8. 本保証書は再発行いたしません。

ご注意

- * 当製品の修理に関するお問い合わせは、販売店または当社修理受付窓口までご連絡ください。
- * 本保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入漏れがあった場合は、直ちにお買い上げ店へお申し出ください。
- * 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、「アフターサービスについて」をご覧ください。
- * 保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、当社修理受付窓口をご利用ください。
- * 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
- * 販売店が独自に設けている延長保証は、当保証規定には適用されません。
- * 本保証書は上記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お困りのときは

本書の「お困りのときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にご確認ください。

■お客様相談センター <http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

ナビダイヤル 0570-001313（市内通話料金でご利用いただけます）
・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-4330-0008（代）
におかけください。

営業時間 9：00～17：30（平日） 10：00～17：00（土・日・祝日）
休業日 年末年始およびビル点検日

修理受付

■ホームページ／電話による修理受付

＜修理受付センター／ピックアップリペアサービス＞

ナビダイヤル 0570-001301（市内通話料金でご利用いただけます）
・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-4330-0014（代）
におかけください。

営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※ピックアップリペアサービスは、全国（離島など一部地域を除く）どこでも修理品梱包
資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサー
ビスです。インターネットからもお申し込みいただけます。

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

※弊社修理受付後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

■持ち込みによる修理受付（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

＜東京サービスセンター＞

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 1-12-11 ヘリオスIIビル3階
営業時間 9：00～17：00 TEL 03-3960-5140

＜大阪サービスセンター＞

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル2F
営業時間 9：00～17：00 TEL 06-6271-7996 FAX 06-6271-3612

リコーイメージング株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-35-7
2015年4月

Jp

JA Printed in China



* L 7 6 7 1 9 7 1 A *